

紀の川市
高齢者実態調査
結果報告書

令和5年3月
紀の川市

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	2
II アンケート調査の結果.....	3
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	3
2. 生活機能評価項目別の分析結果.....	65
3. 在宅介護実態調査.....	73

I アンケート調査の概要

I 調査の目的

本調査は、「第9期紀の川市介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の策定のための基礎資料とすることを目的とし、市内にお住まいの高齢者や要介護認定を受けている方々の生活状況や介護・福祉に関する率直なご意見やご要望などを把握するために実施しました。

2 調査概要

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者：市内在住の要介護認定を受けていない65歳以上の方（要支援認定者を含む）

配布数：1,500人（無作為抽出）

調査期間：令和4年12月30日（金）～1月19日（木）

調査方法：郵送配布・郵送回収による本人記入方式

②在宅介護実態調査

調査対象者：市内在住の要介護認定を受けている65歳以上の方

配布数：1,188人

調査期間：令和4年12月30日（金）～1月19日（木）

調査方法：郵送配布・郵送回収による本人記入方式、及び認定調査員による聞き取り調査方式

3 回収結果

種別	配布数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,500件	686件	45.7%
在宅介護実態調査	1,188件	626件	52.7%

4 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

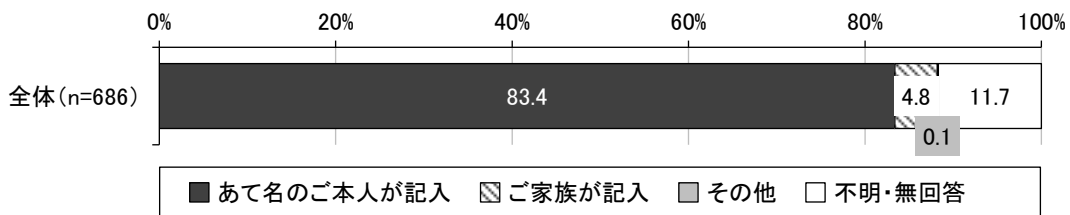
Ⅱ アンケート調査の結果

Ⅰ. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

回答者について

調査票を記入されたのはどなたですか（○は1つ）

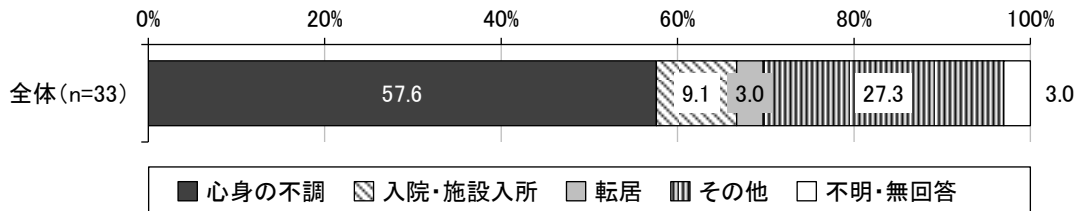
調査票の記入者についてみると、「あて名のご本人が記入」が83.4%と最も高く、次いで「ご家族が記入」が4.8%となっています。



【「調査票を記入されたのはどなたですか」で「ご家族が記入」と回答した方への質問】

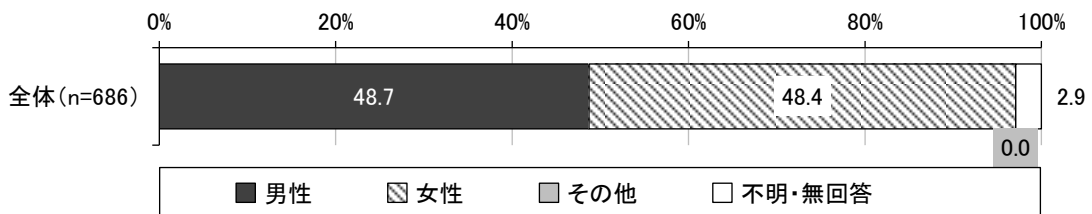
あて名のご本人が回答できない理由を記入してください（○は1つ）

あて名の本人が回答できない理由についてみると、「心身の不調」が57.6%と最も高く、次いで「その他」が27.3%、「入院・施設入所」が9.1%となっています。



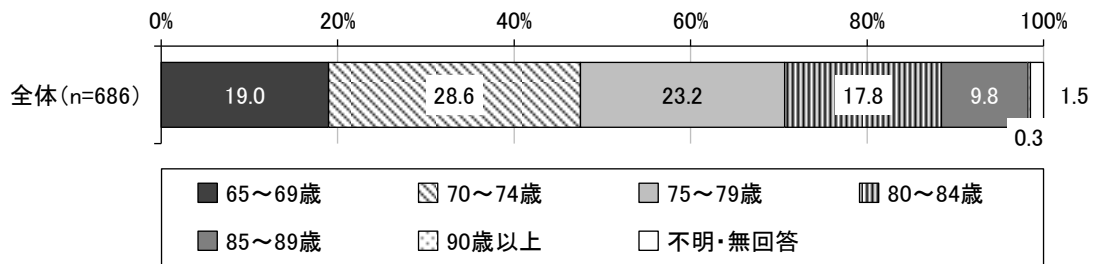
性別

性別についてみると、「男性」が48.7%、「女性」が48.4%となっています。



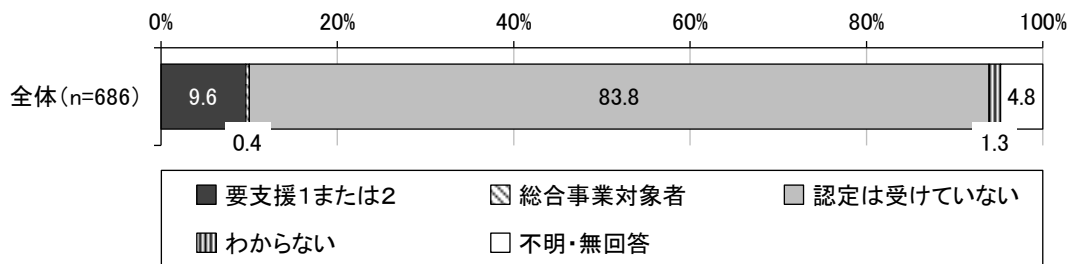
年齢

年齢についてみると、「70～74歳」が28.6%と最も高く、次いで「75～79歳」が23.2%、「65～69歳」が19.0%となっています。



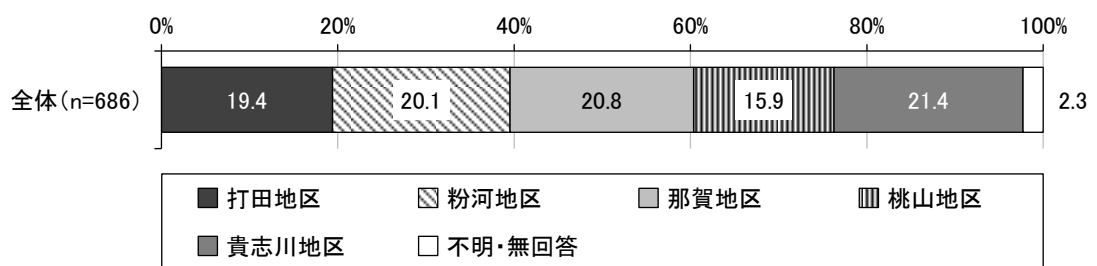
受けている認定

受けている認定についてみると、「認定は受けていない」が83.8%と最も高く、次いで「要支援1または2」が9.6%、「わからない」が1.3%となっています。



お住まい

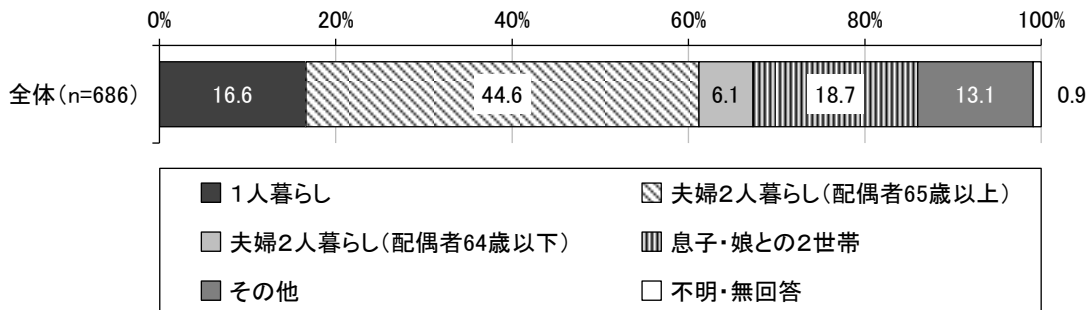
居住地区についてみると、「貴志川地区」が21.4%と最も高く、次いで「那賀地区」が20.8%、「粉河地区」が20.1%となっています。



問1 あなたのご家族や生活状況について

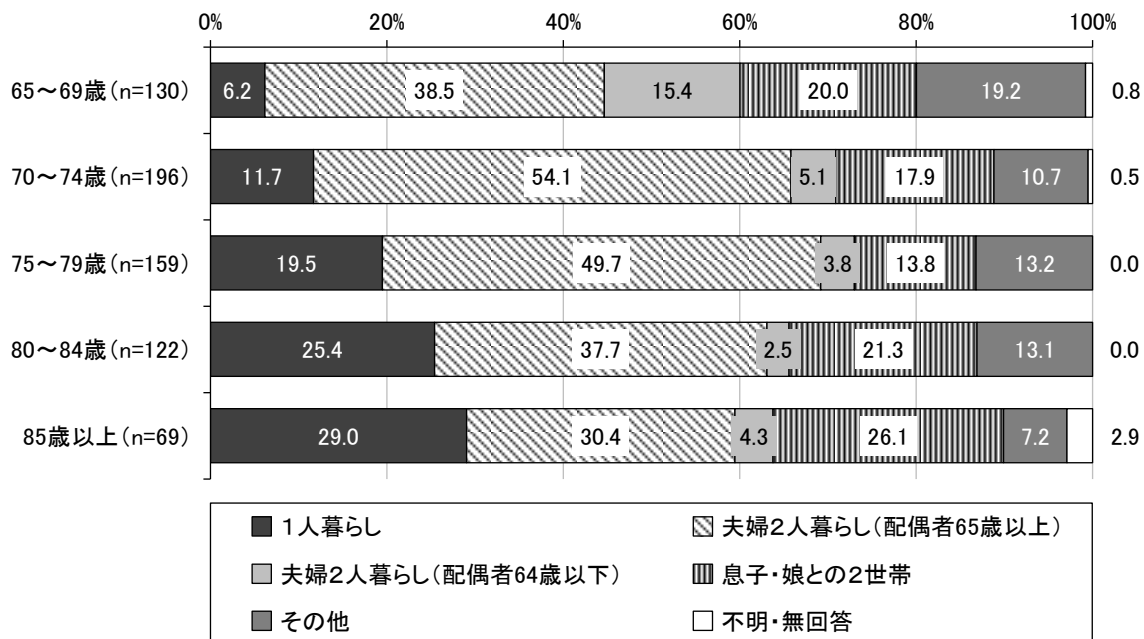
(1) 家族構成をお教えてください (〇は1つ)

家族構成についてみると、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が44.6%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.7%、「1人暮らし」が16.6%となっています。



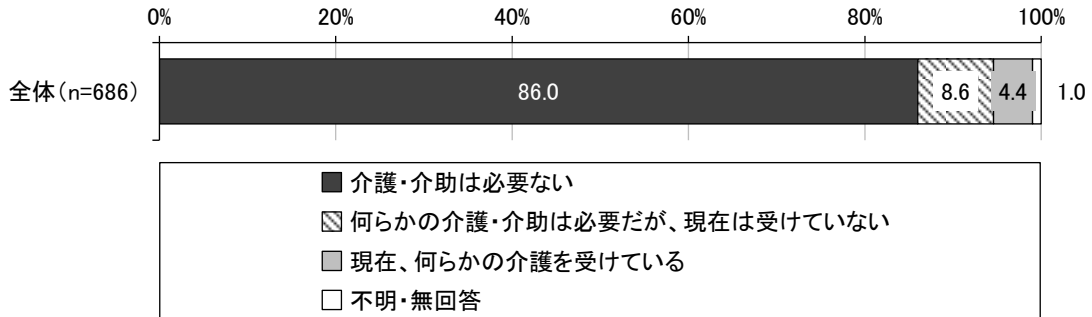
■ 年齢クロス

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」が高くなっており、85歳以上で29.0%となっています。また、65～69歳では「夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)」が15.4%と他の年齢と比べて高くなっています。



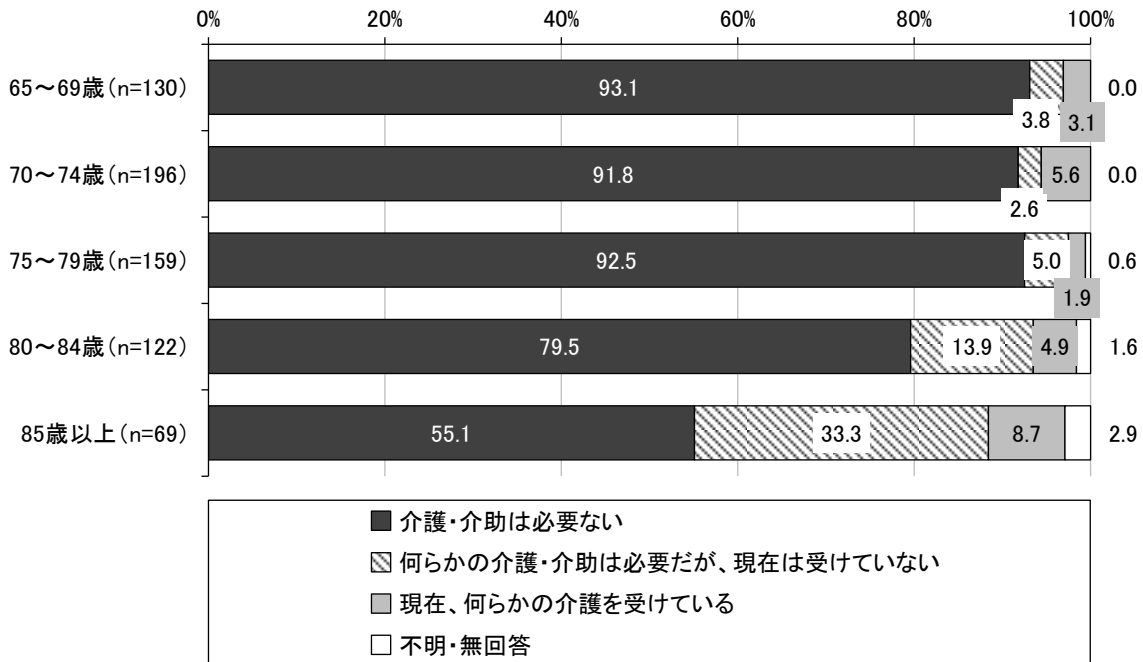
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

普段の生活での介護・介助の必要性についてみると、「介護・介助は必要ない」が86.0%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.4%となっています。



■ 年齢クロス

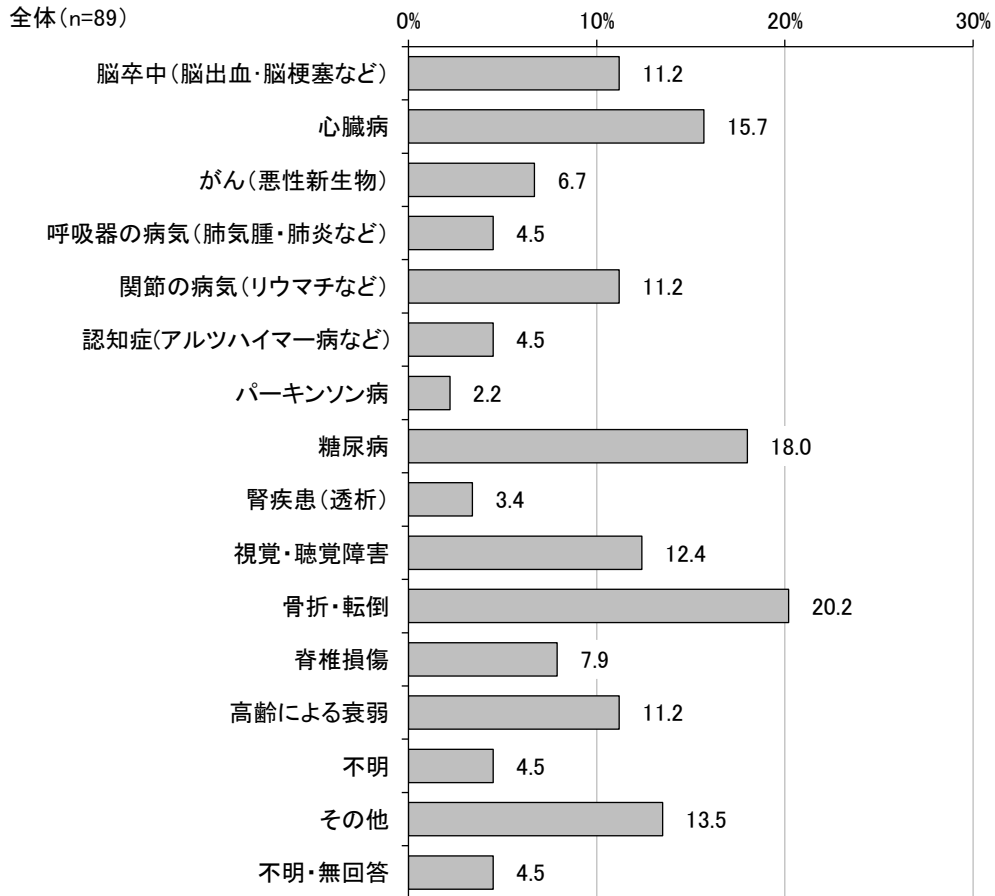
年齢別にみると、「介護・介助は必要ない」は65～79歳では9割台となっていますが、80～84歳で約8割、85歳以上で5割台半ばとなっています。また、85歳以上では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が33.3%となっています。



【問1(2)で「介護・介助は必要ない」以外に回答した方への質問】

(2) ①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(いくつでも)

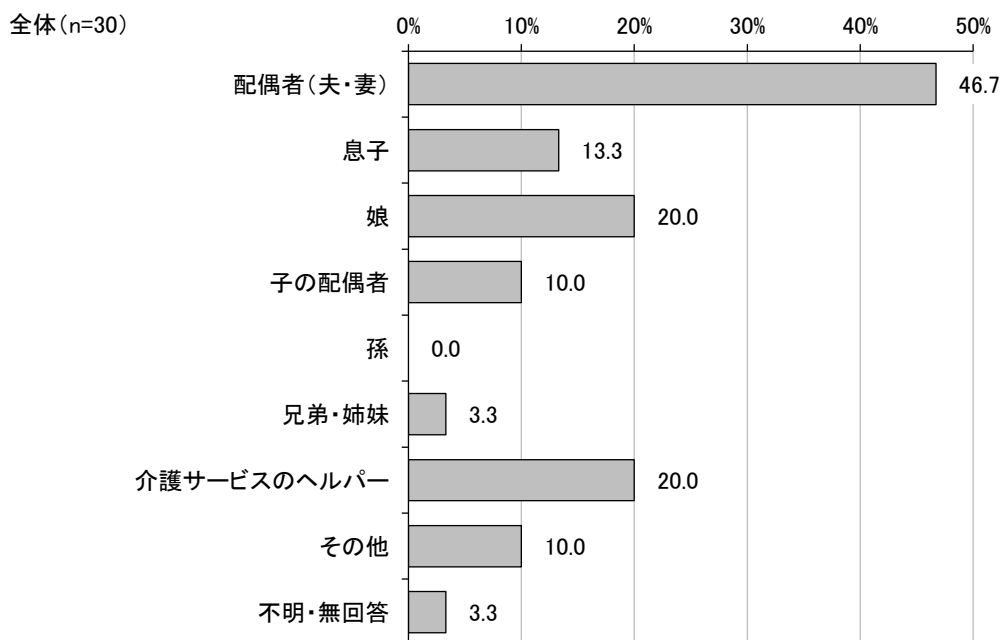
介護・介助が必要になった主な原因についてみると、「骨折・転倒」が20.2%と最も高く、次いで「糖尿病」が18.0%、「心臓病」が15.7%となっています。



【問1(2)で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方への質問】

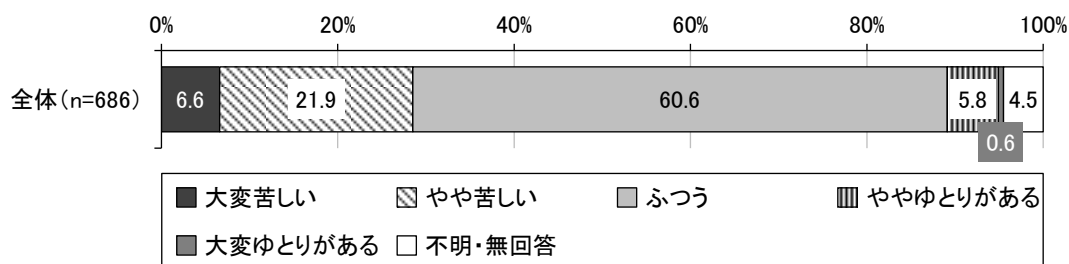
(2) ②主にどなたの介護・介助を受けていますか(いくつでも)

主に誰の介護・介助を受けているかについてみると、「配偶者(夫・妻)」が46.7%と最も高く、次いで「娘」「介護サービスのヘルパー」がともに20.0%、「息子」が13.3%となっています。



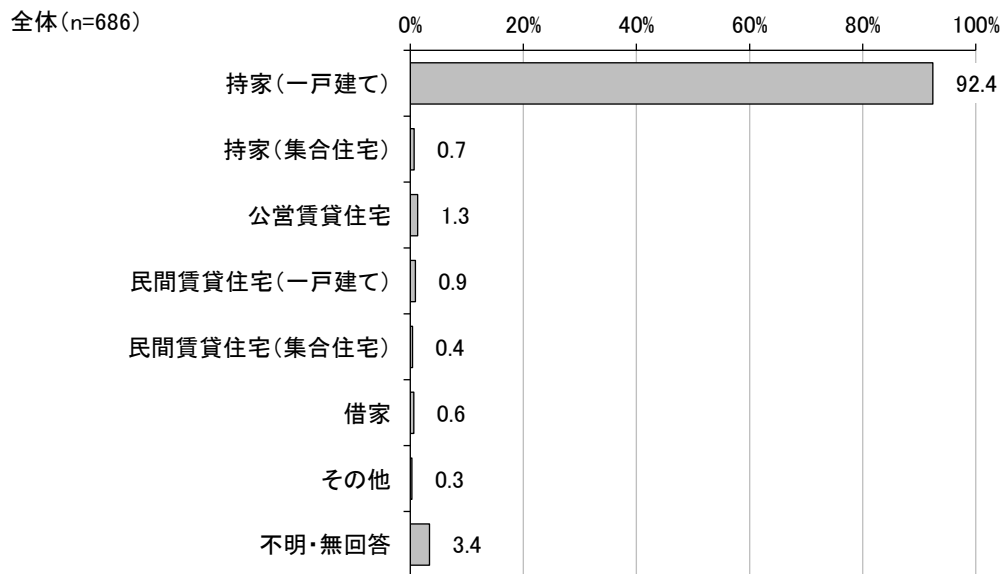
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(○は1つ)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについてみると、「ふつう」が60.6%と最も高く、次いで「やや苦しい」が21.9%、「大変苦しい」が6.6%となっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇は1つ)

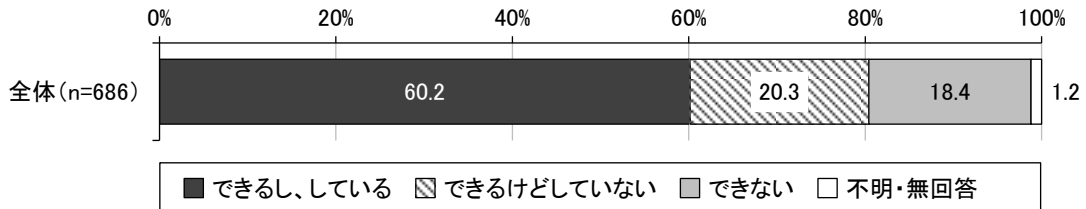
住まいについてみると、「持家(一戸建て)」が92.4%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が1.3%、「民間賃貸住宅(一戸建て)」が0.9%となっています。



問2 からだを動かすことについて

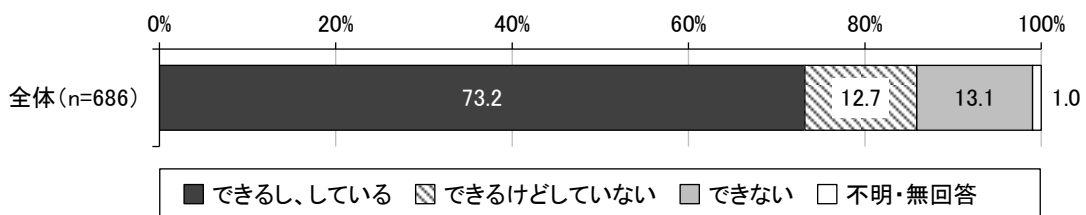
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに上っていますか (○は1つ)

階段を手すりや壁をつたわずに上っているかについてみると、「できるし、している」が60.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.3%、「できない」が18.4%となっています。



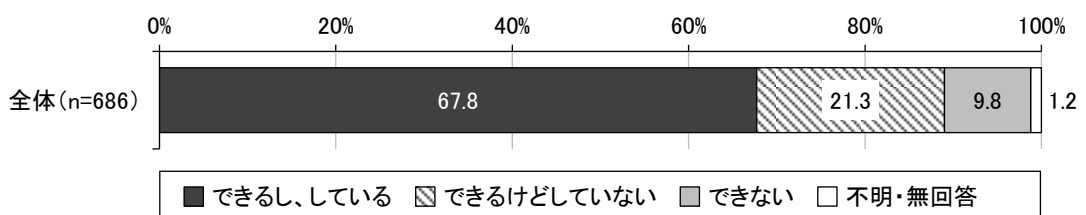
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が73.2%と最も高く、次いで「できない」が13.1%、「できるけどしていない」が12.7%となっています。



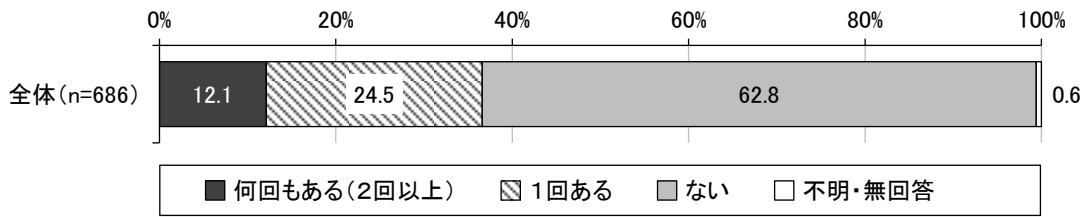
(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が67.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.3%、「できない」が9.8%となっています。



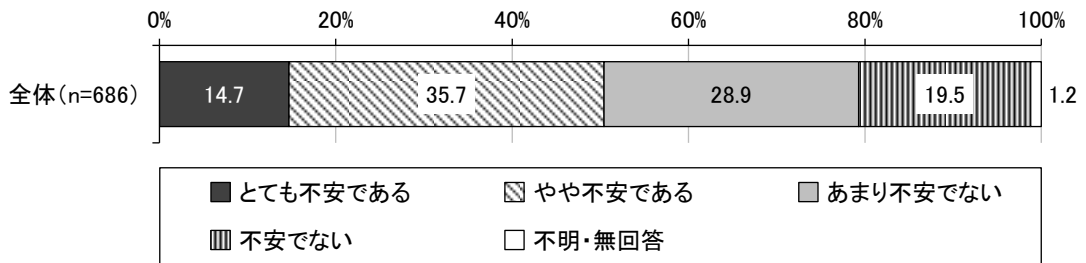
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

過去1年間に転んだ経験があるかについてみると、「ない」が62.8%と最も高く、次いで「1回ある」が24.5%、「何回もある(2回以上)」が12.1%となっています。



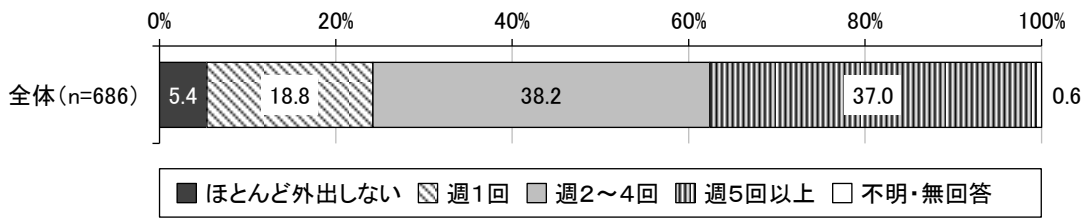
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

転倒に対する不安は大きいかについてみると、「やや不安である」が35.7%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が28.9%、「不安でない」が19.5%となっています。



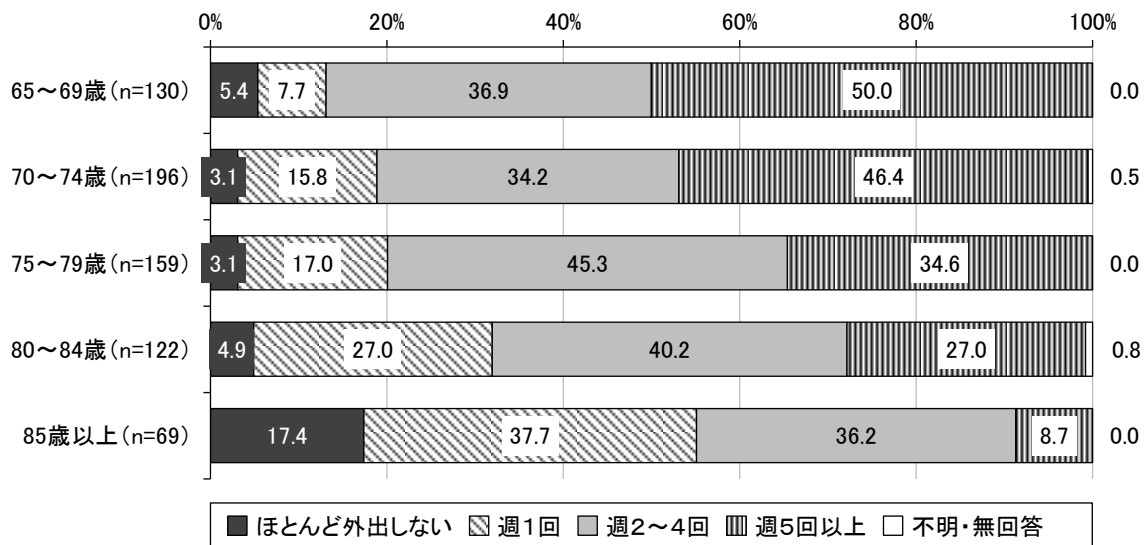
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

週に1回以上は外出しているかについてみると、「週2～4回」が38.2%と最も高く、次いで「週5回以上」が37.0%、「週1回」が18.8%となっています。



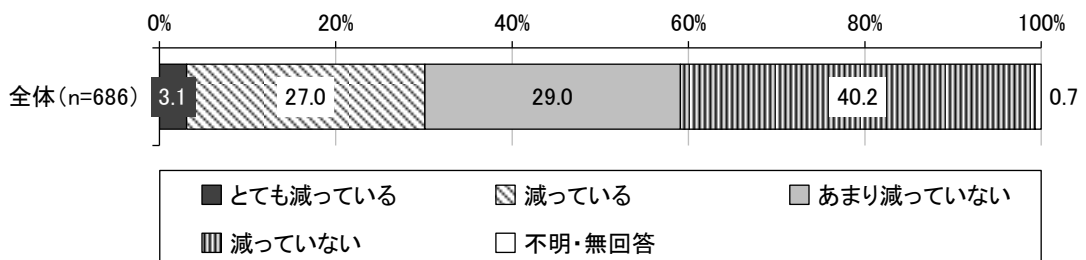
■ 年齢クロス

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「週1回」が高く、「週5回以上」が低くなっています。また、85歳以上では「ほとんど外出しない」が17.4%と他の年齢と比べて高くなっています。



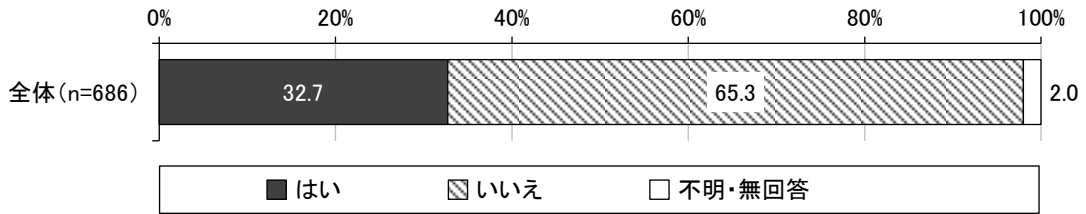
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについてみると、「減っていない」が40.2%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が29.0%、「減っている」が27.0%となっています。



(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

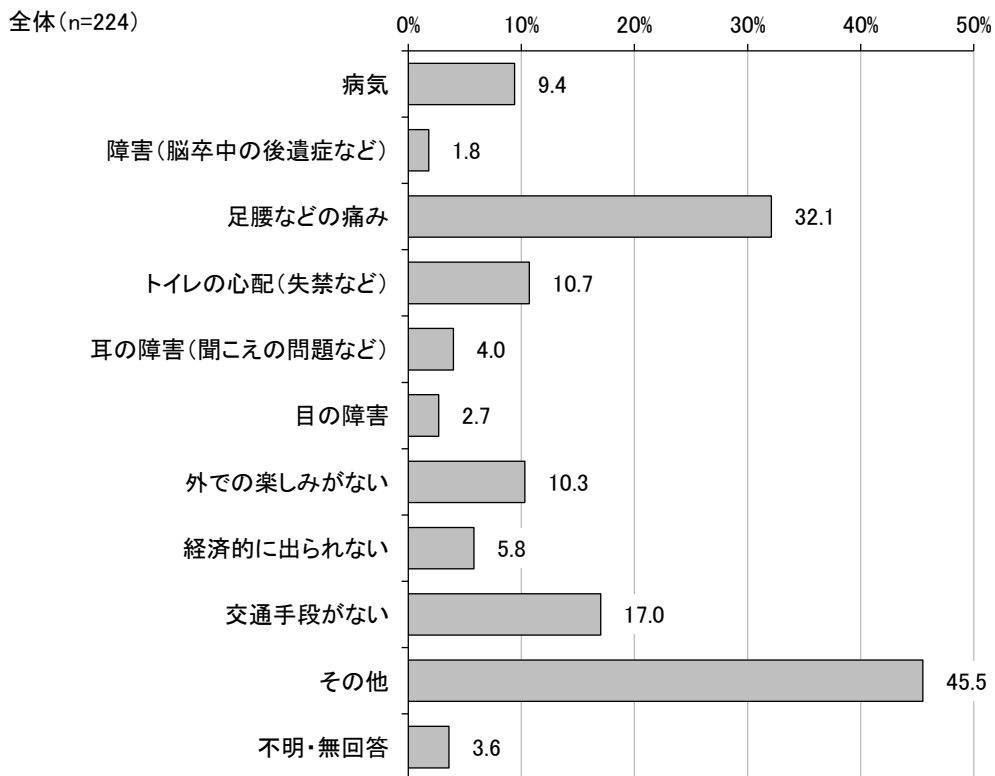
外出を控えているかについてみると、「はい」が32.7%、「いいえ」が65.3%となっています。



【問2(8)で「はい」(外出を控えている)と回答した方への質問】

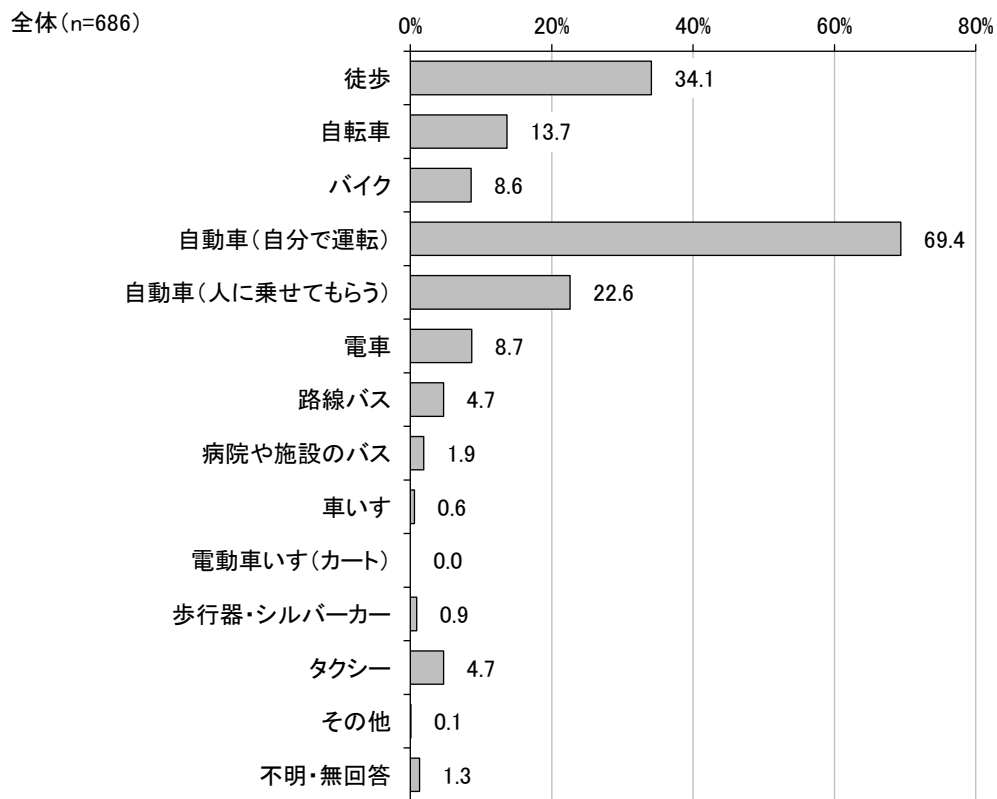
(8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

外出を控えている理由についてみると、「その他」が45.5%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が32.1%、「交通手段がない」が17.0%となっています。



(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

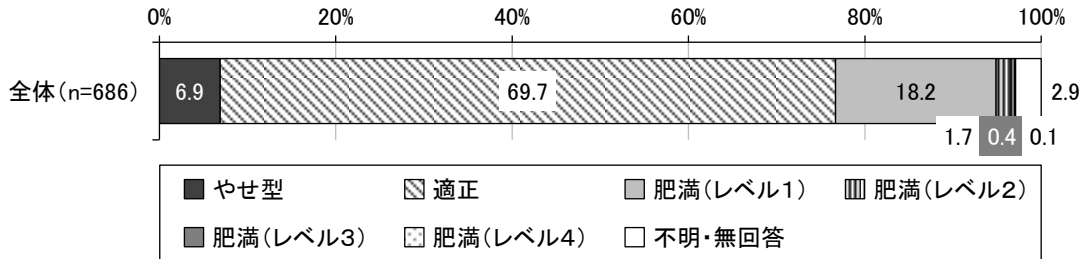
外出する際の移動手段についてみると、「自動車(自分で運転)」が69.4%と最も高く、次いで「徒歩」が34.1%、「自動車(人に乗せてもらう)」が22.6%となっています。



問3 食べることについて

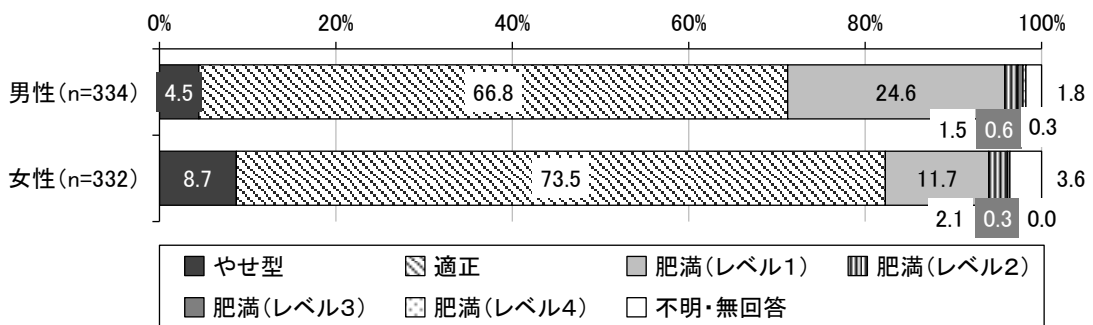
(1) BMI (身長・体重(数量)より算出)

BMIについてみると、「適正」が69.7%と最も高く、次いで「肥満(レベル1)」が18.2%、「やせ型」が6.9%となっています。



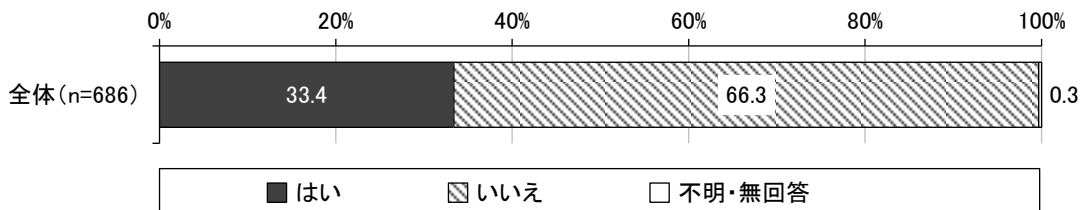
■ 性別クロス

性別にみると、男女ともに「適正」が最も高くなっています。また、「肥満(レベル1)」は男性が24.6%と女性を12.9ポイント上回っています。



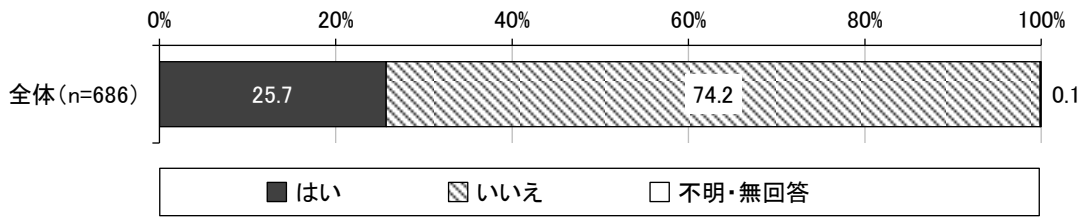
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (〇は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、「はい」が33.4%、「いいえ」が66.3%となっています。



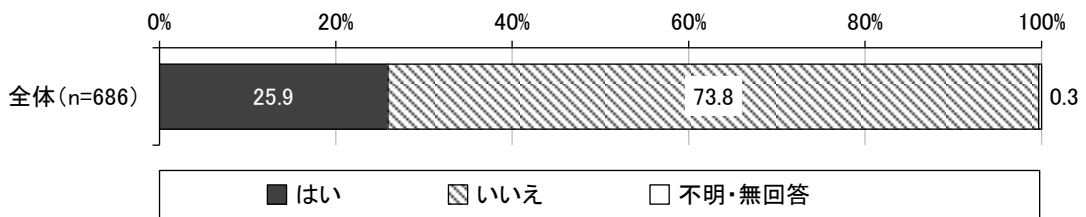
(3) お茶や汁物などでむせることがありますか (○は1つ)

お茶や汁物などでむせることがあるかについてみると、「はい」が25.7%、「いいえ」が74.2%となっています。



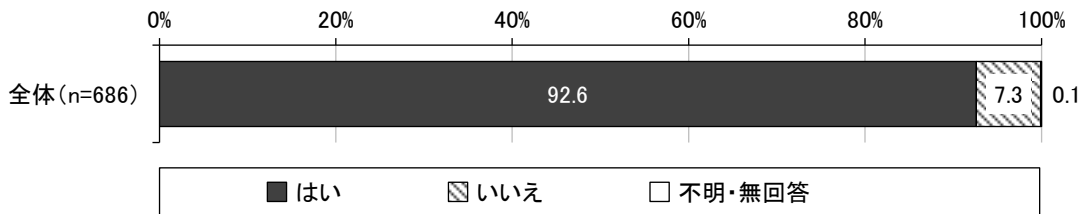
(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

口の渇きが気になるかについてみると、「はい」が25.9%、「いいえ」が73.8%となっています。



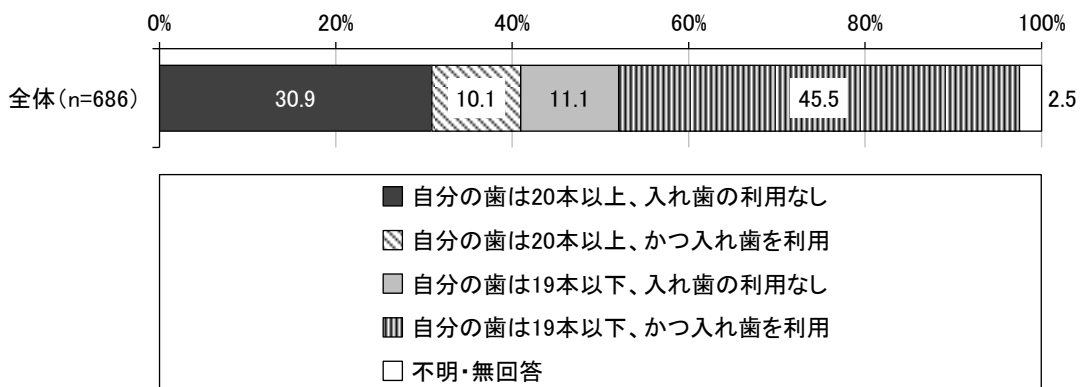
(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

歯磨きを毎日しているかについてみると、「はい」が92.6%、「いいえ」が7.3%となっています。



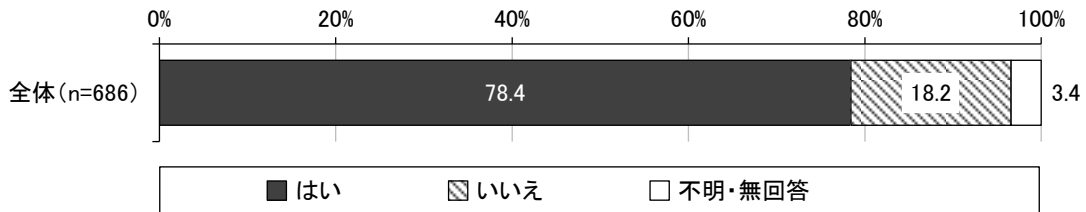
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が45.5%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.9%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.1%となっています。



(6) ①噛み合わせはよいですか (○は1つ)

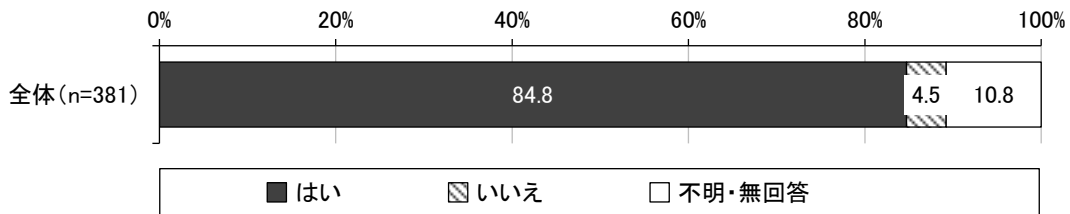
噛み合わせはよいかについてみると、「はい」が78.4%、「いいえ」が18.2%となっています。



【問(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方への質問】

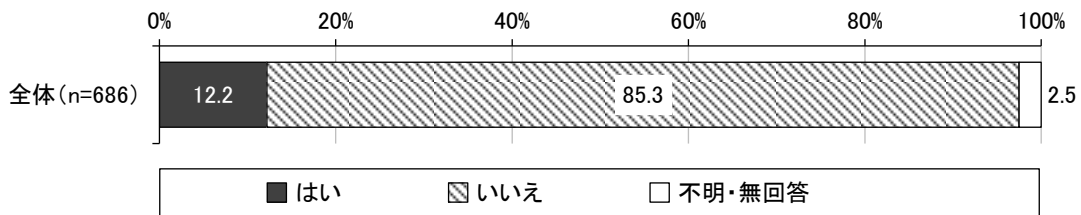
(6) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は1つ)

毎日入れ歯の手入れをしているかについてみると、「はい」が84.8%、「いいえ」が4.5%となっています。



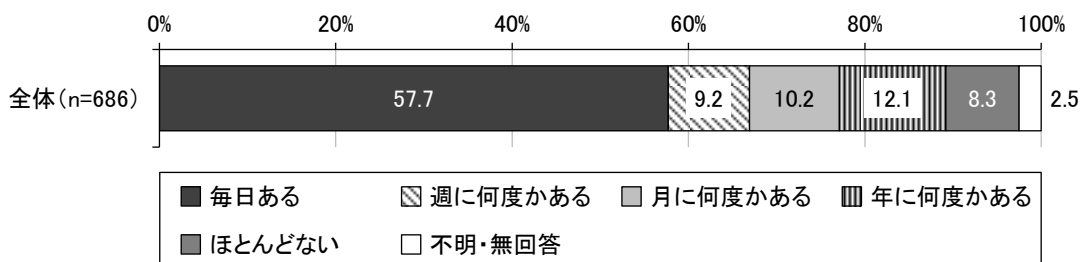
(7) この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

この6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについてみると、「はい」が12.2%、「いいえ」が85.3%となっています。



(8) どなたかと食事をとる機会がありますか (○は1つ)

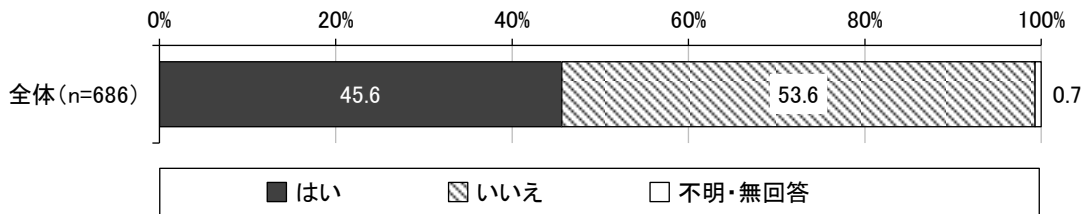
誰かと食事をとる機会はあるかについてみると、「毎日ある」が57.7%と最も高く、次いで「年に何度かある」が12.1%、「月に何度かある」が10.2%となっています。



問4 毎日の生活について

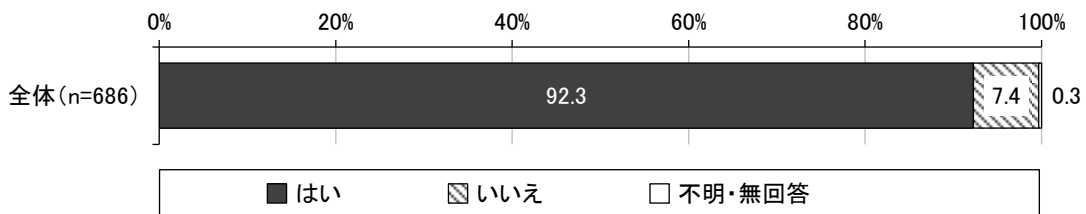
(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

物忘れが多いと感じるかについてみると、「はい」が45.6%、「いいえ」が53.6%となっています。



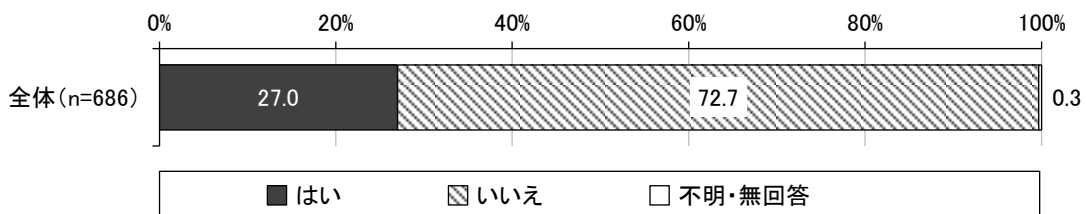
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについてみると、「はい」が92.3%、「いいえ」が7.4%となっています。



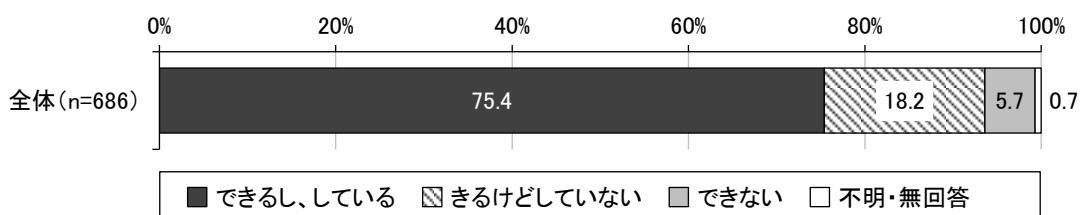
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

今日が何月何日かわからない時があるかについてみると、「はい」が27.0%、「いいえ」が72.7%となっています。



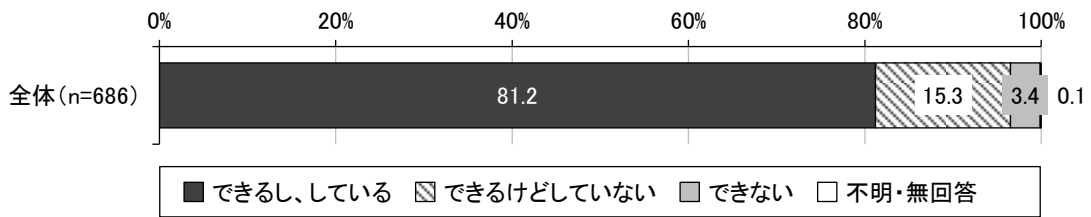
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか ※自家用車でも可 (○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについてみると、「できるし、している」が75.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が18.2%、「できない」が5.7%となっています。



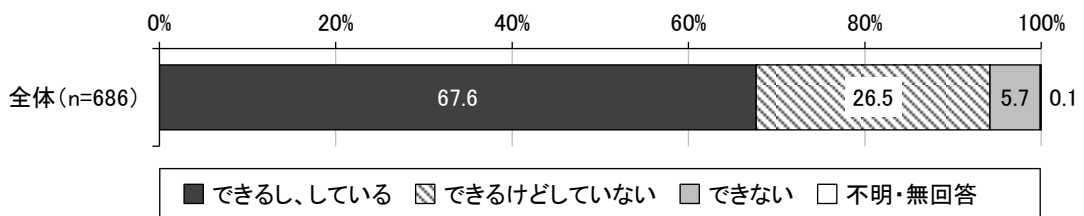
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

自分で食品・日用品の買物をしているかについてみると、「できるし、している」が81.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.3%、「できない」が3.4%となっています。



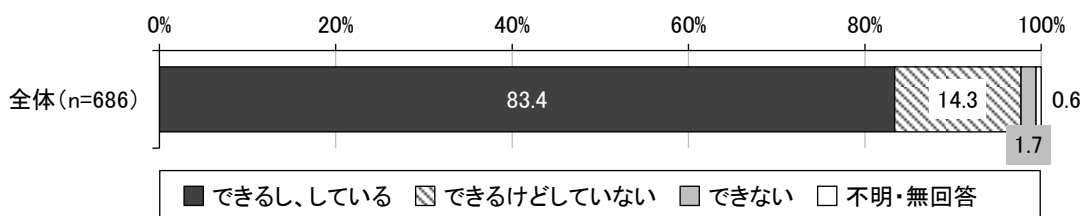
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

自分で食事の用意をしているかについてみると、「できるし、している」が67.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が26.5%、「できない」が5.7%となっています。



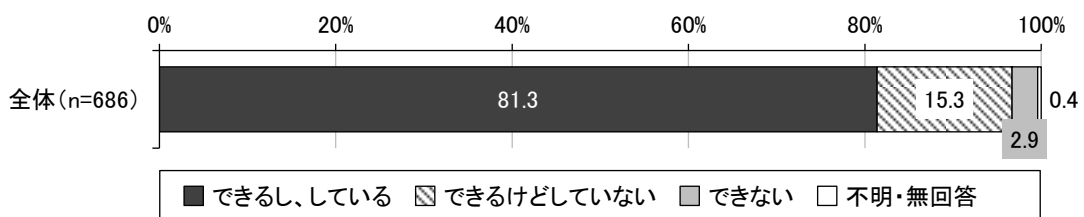
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、「できるし、している」が83.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が1.7%となっています。



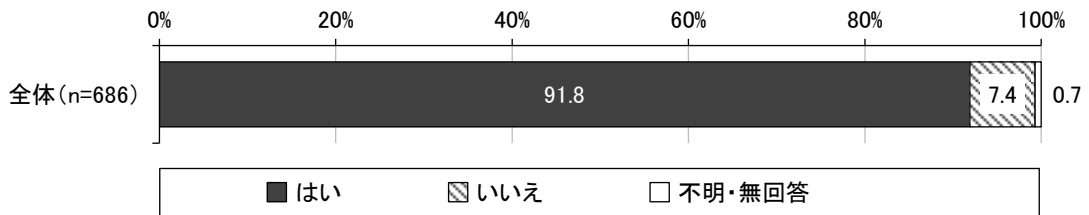
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、「できるし、している」が81.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.3%、「できない」が2.9%となっています。



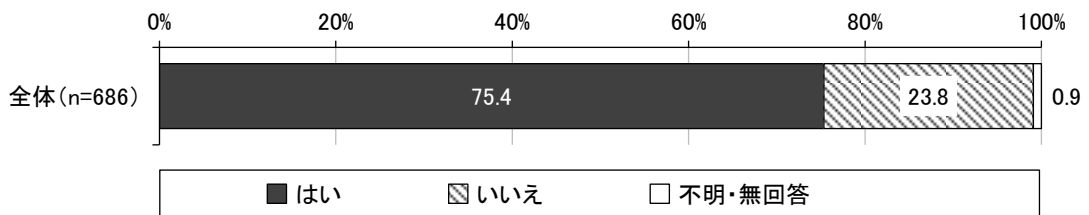
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（○は1つ）

年金などの書類が書けるかについてみると、「はい」が91.8%、「いいえ」が7.4%となっています。



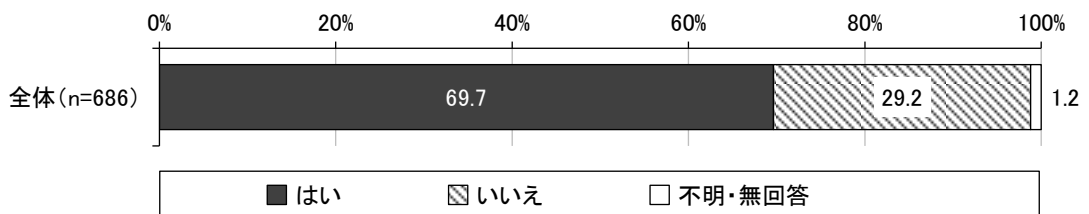
(10) 新聞を読んでいますか（○は1つ）

新聞を読んでいるかについてみると、「はい」が75.4%、「いいえ」が23.8%となっています。



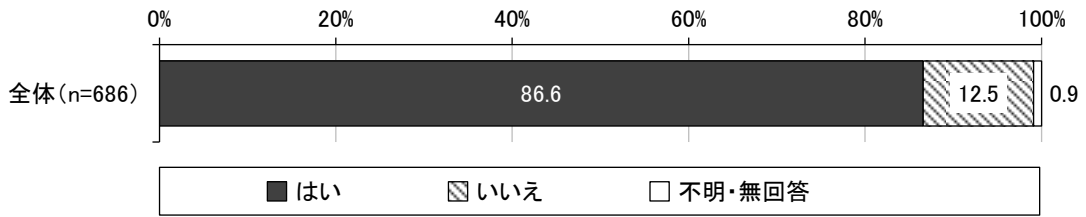
(11) 本や雑誌を読んでいますか（○は1つ）

本や雑誌を読んでいるかについてみると、「はい」が69.7%、「いいえ」が29.2%となっています。



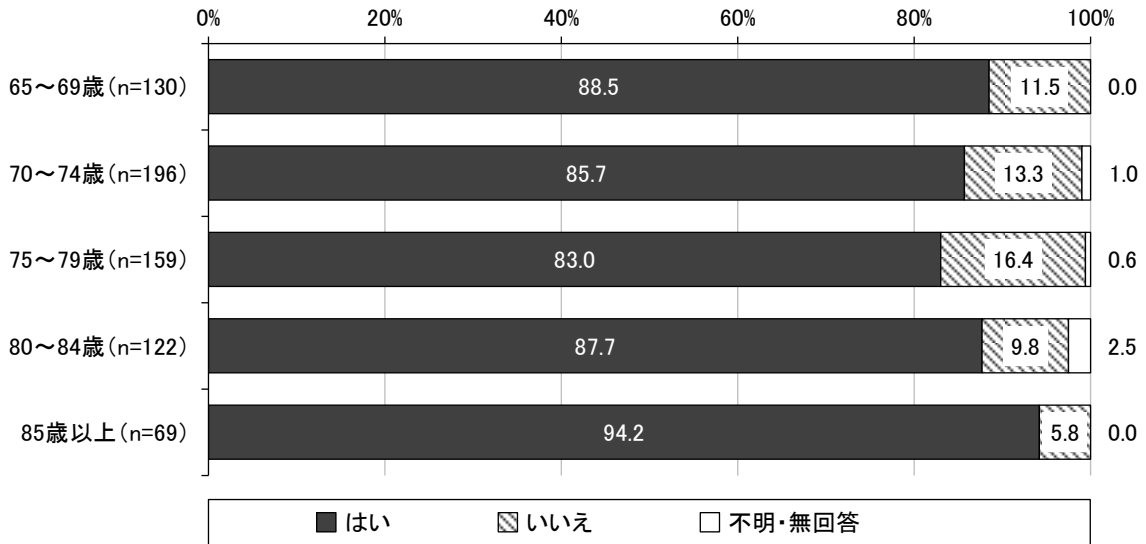
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (〇は1つ)

健康についての記事や番組にの関心があるかについてみると、「はい」が86.6%、「いいえ」が12.5%となっています。



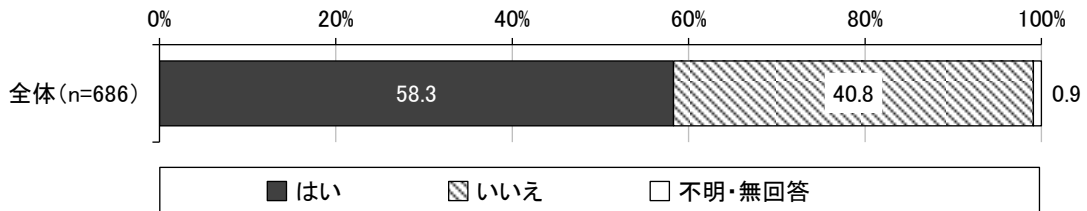
■ 年齢クロス

年齢別にみると、85歳以上では「はい」が94.2%と他の年齢と比べて高くなっています。



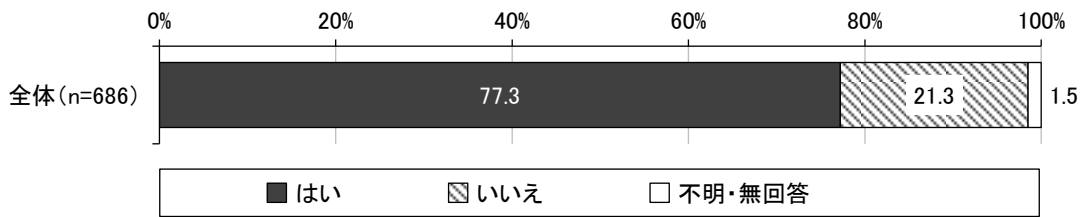
(13) 友人の家を訪ねていますか (〇は1つ)

友人の家を訪ねているかについてみると、「はい」が58.3%、「いいえ」が40.8%となっています。



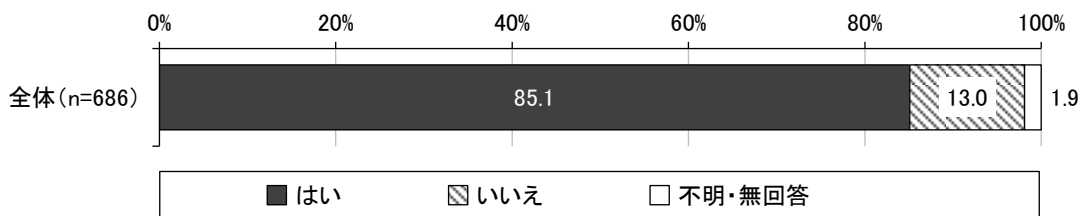
(14) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)

家族や友人の相談にのっているかについてみると、「はい」が77.3%、「いいえ」が21.3%となっています。



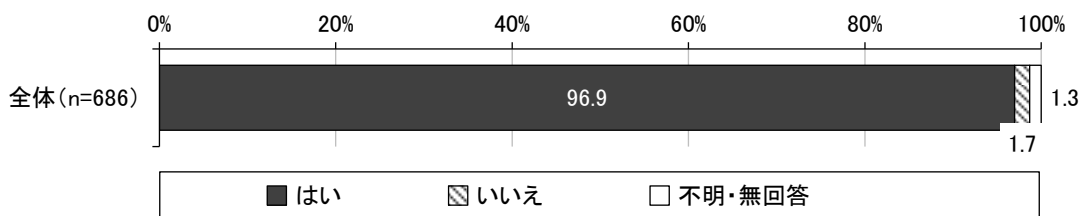
(15) 病人を見舞うことができますか (○は1つ)

病人を見舞うことができるかについてみると、「はい」が85.1%、「いいえ」が13.0%となっています。



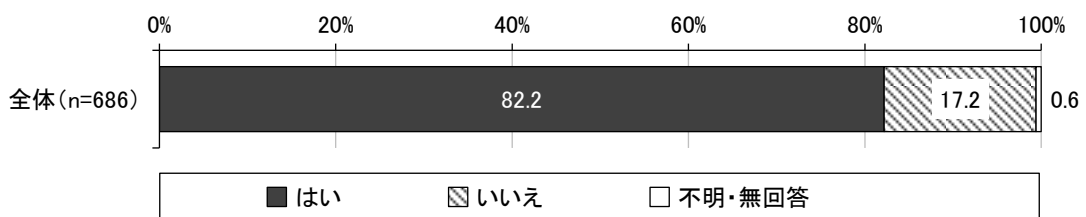
(16) 服用している薬を管理することはできますか (○は1つ)

服用している薬を管理することはできるかについてみると、「はい」が96.9%、「いいえ」が1.7%となっています。



(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)

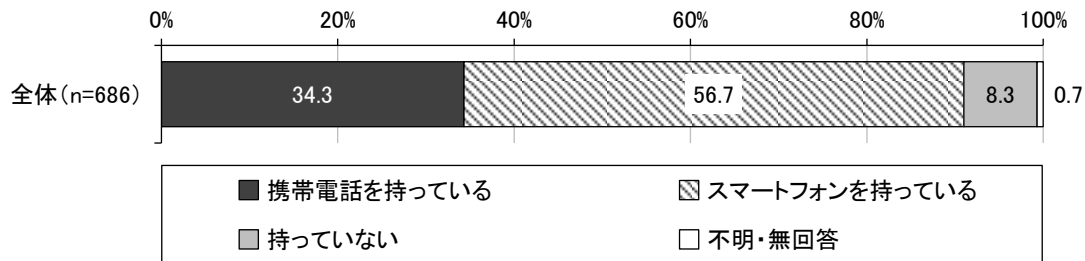
若い人に自分から話しかけることがあるかについてみると、「はい」が82.2%、「いいえ」が17.2%となっています。



(18) 携帯電話やスマートフォンを持っていますか（○は1つ）

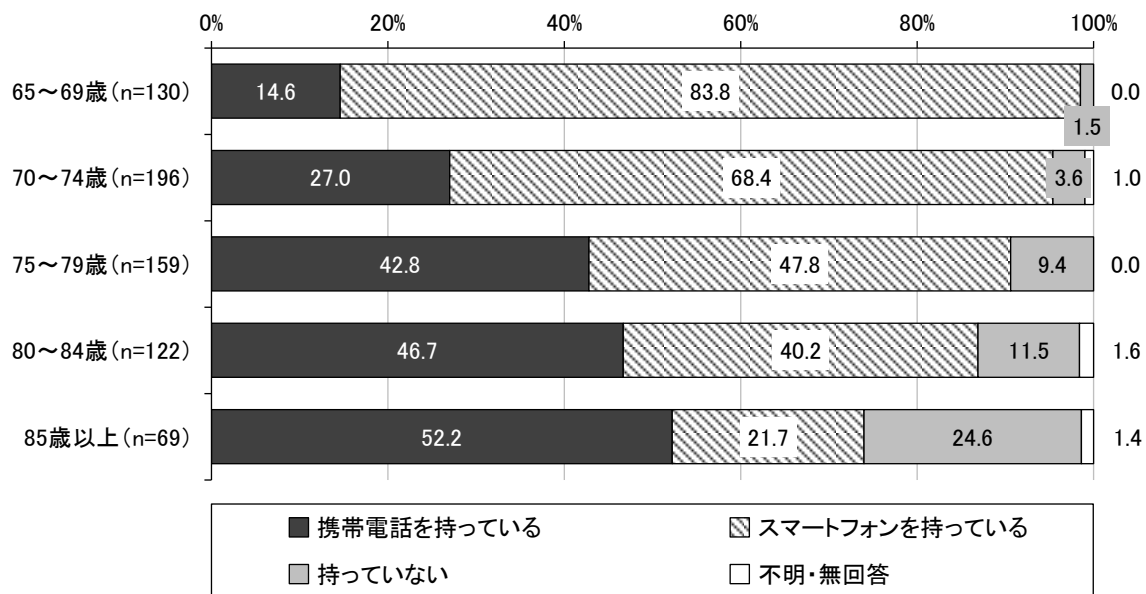
※電話やメールの送受信ができるかどうかで判断してください

携帯電話やスマートフォンを持っているかについてみると、「スマートフォンを持っている」が56.7%と最も高く、次いで「携帯電話を持っている」が34.3%、「持っていない」が8.3%となっています。



■ 年齢クロス

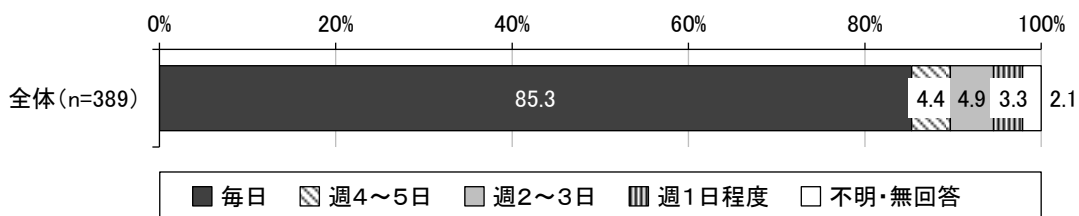
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「携帯電話を持っている」「持っていない」が高く、「スマートフォンを持っている」が低くなっており、85歳以上では「携帯電話を持っている」が52.2%、「スマートフォンを持っている」が21.7%、「持っていない」が24.6%となっています。



【問4（18）で「スマートフォンを持っている」と回答した方への質問】

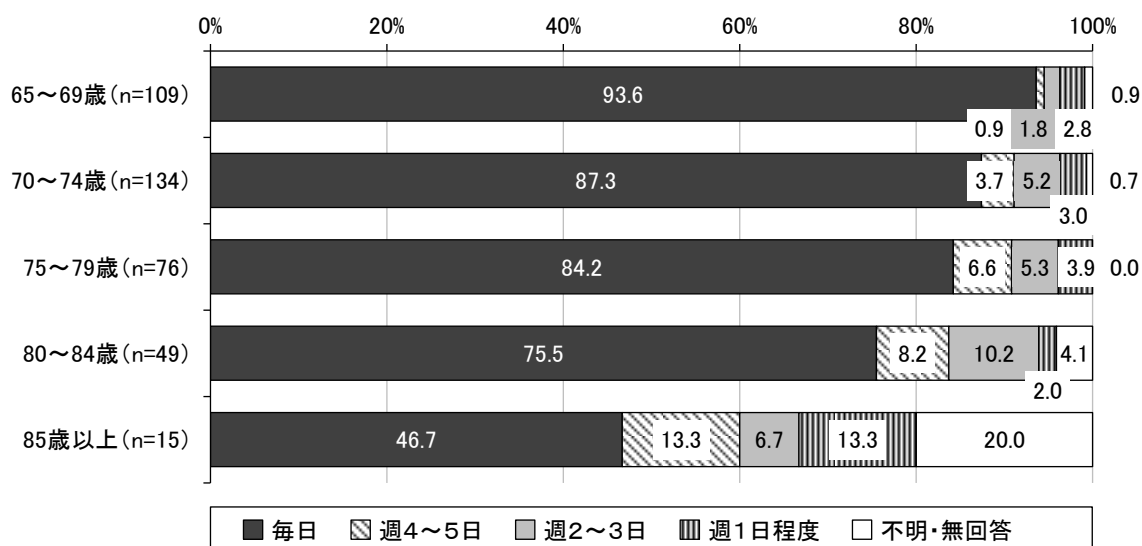
(18) ①スマートフォンをどのくらいの頻度で使用していますか（○は1つ）

スマートフォンの使用頻度についてみると、「毎日」が85.3%と最も高く、次いで「週2～3日」が4.9%、「週4～5日」が4.4%となっています。



■ 年齢クロス

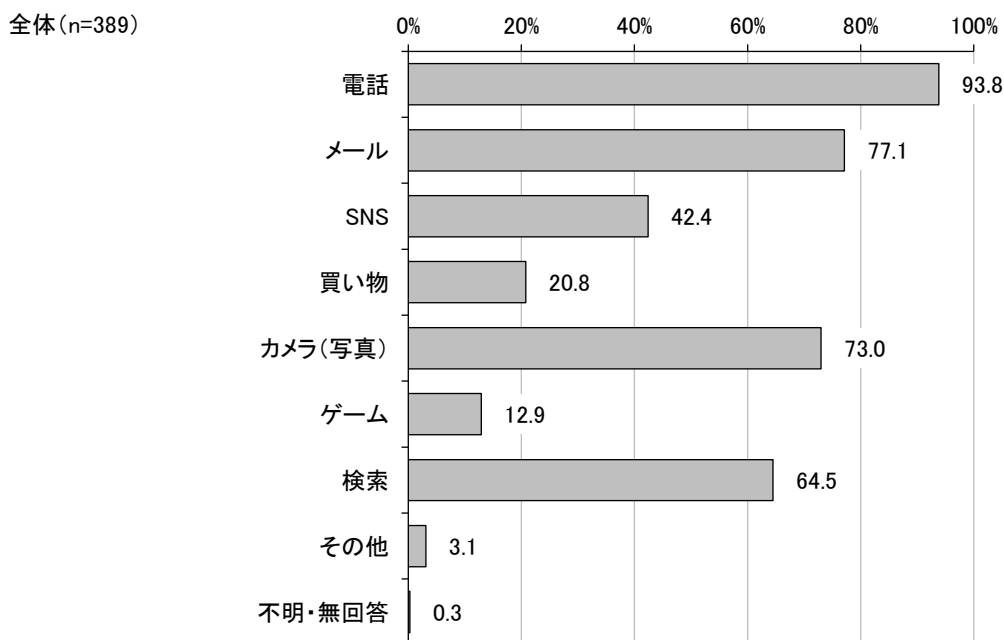
年齢別にみると、「毎日」は65～69歳では93.6%となっていますが、年齢が上がるにつれてが低くなっており、85歳以上では46.7%となっています。



【問4 (18) で「スマートフォンを持っている」と回答した方への質問】

(18) ②スマートフォンのどのような機能を使用しますか (いくつでも)

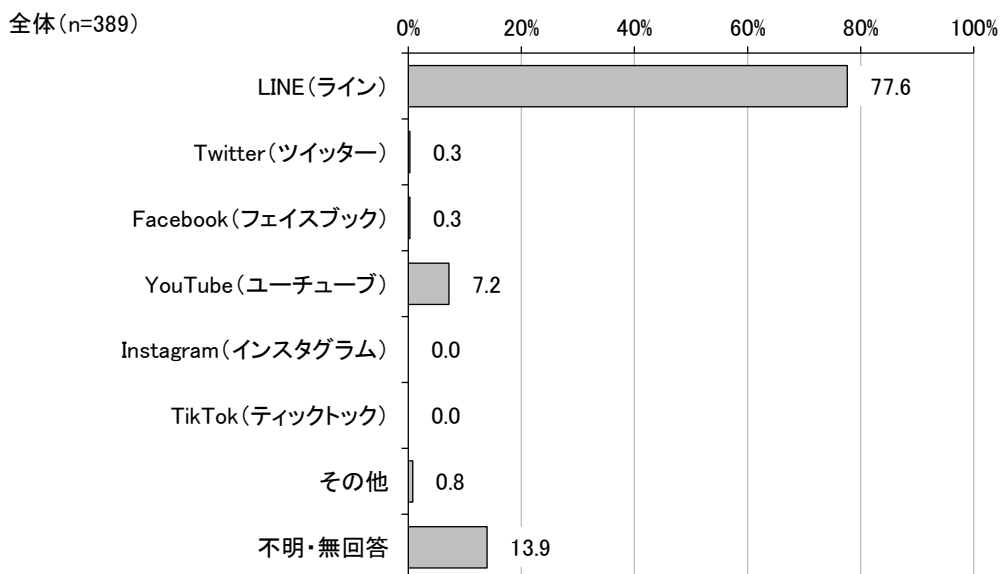
スマートフォンのどのような機能を使用するかについてみると、「電話」が 93.8%と最も高く、次いで「メール」が 77.1%、「カメラ (写真)」が 73.0%となっています。



【問4 (18) で「スマートフォンを持っている」と回答した方への質問】

(18) ③最も使用頻度の高い SNS は何ですか (○は 1 つ)

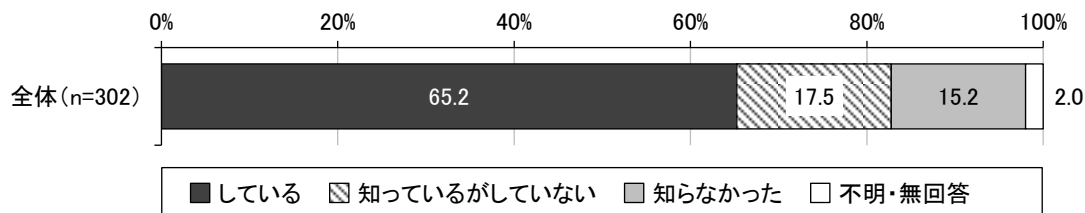
最も使用頻度の高い SNS についてみると、「LINE (ライン)」が 77.6%と最も高く、次いで「YouTube (ユーチューブ)」が 7.2%、「その他」が 0.8%となっています。



【問4 (18) ③で「LINE」と回答した方への質問】

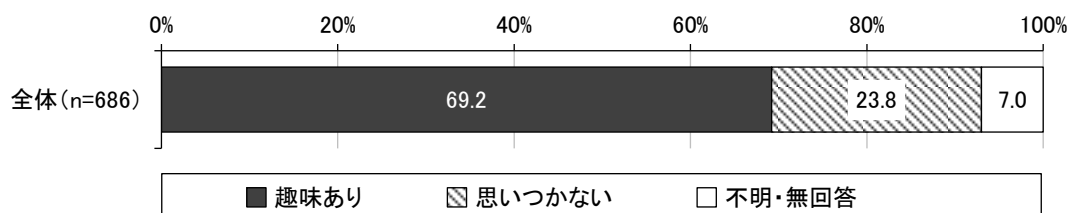
(18) ④紀の川市のLINE公式アカウントを登録していますか (〇は1つ)

紀の川市のLINE公式アカウントを登録しているかについてみると、「している」が65.2%と最も高く、次いで「知っているがしていない」が17.5%、「知らなかった」が15.2%となっています。



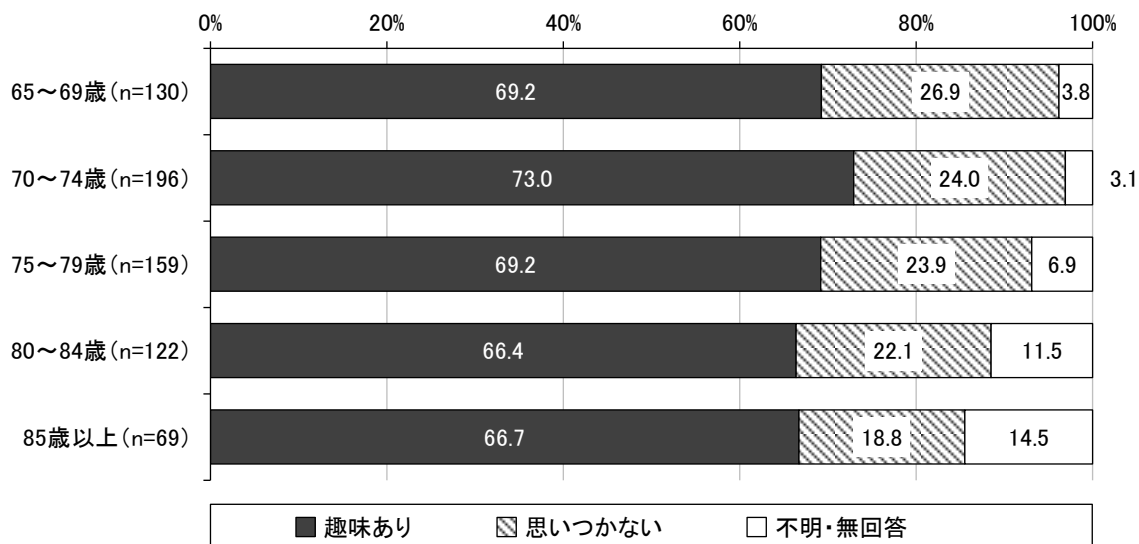
(19) 趣味はありますか (〇は1つ)

趣味はあるかについてみると、「趣味あり」が69.2%、「思いつかない」が23.8%となっています。



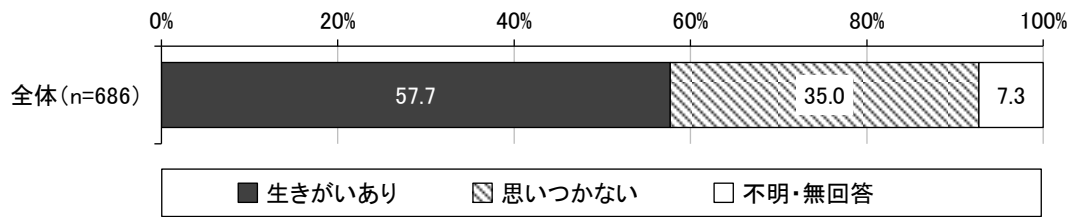
■ 年齢クロス

年齢別にみると、いずれの年齢も「趣味あり」が6～7割台となっています。



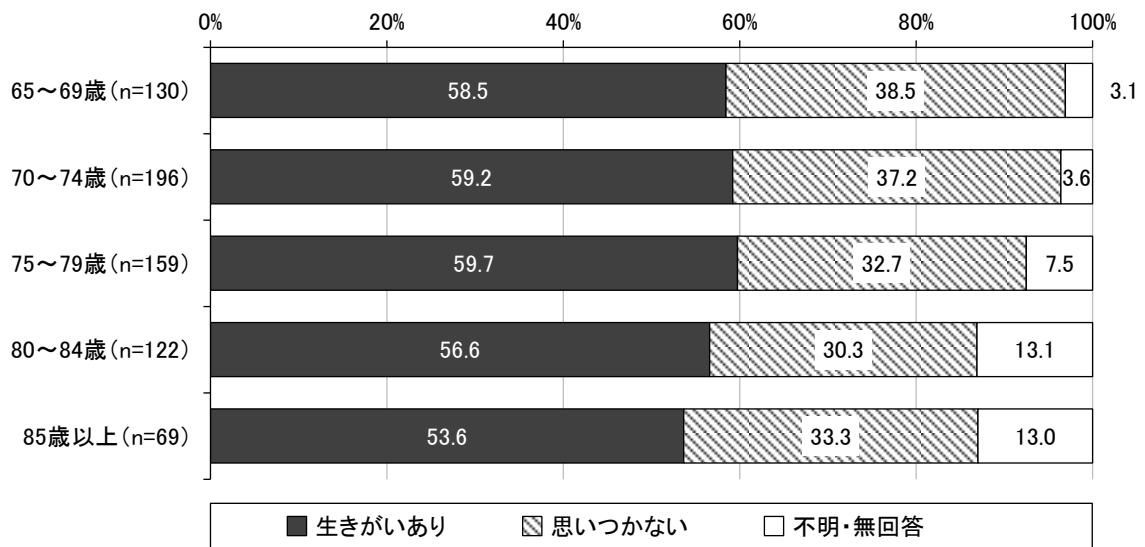
(20) 生きがいがありますか (○は1つ)

生きがいがあるかについてみると、「生きがいあり」が57.7%、「思いつかない」が35.0%となっています。



■ 年齢クロス

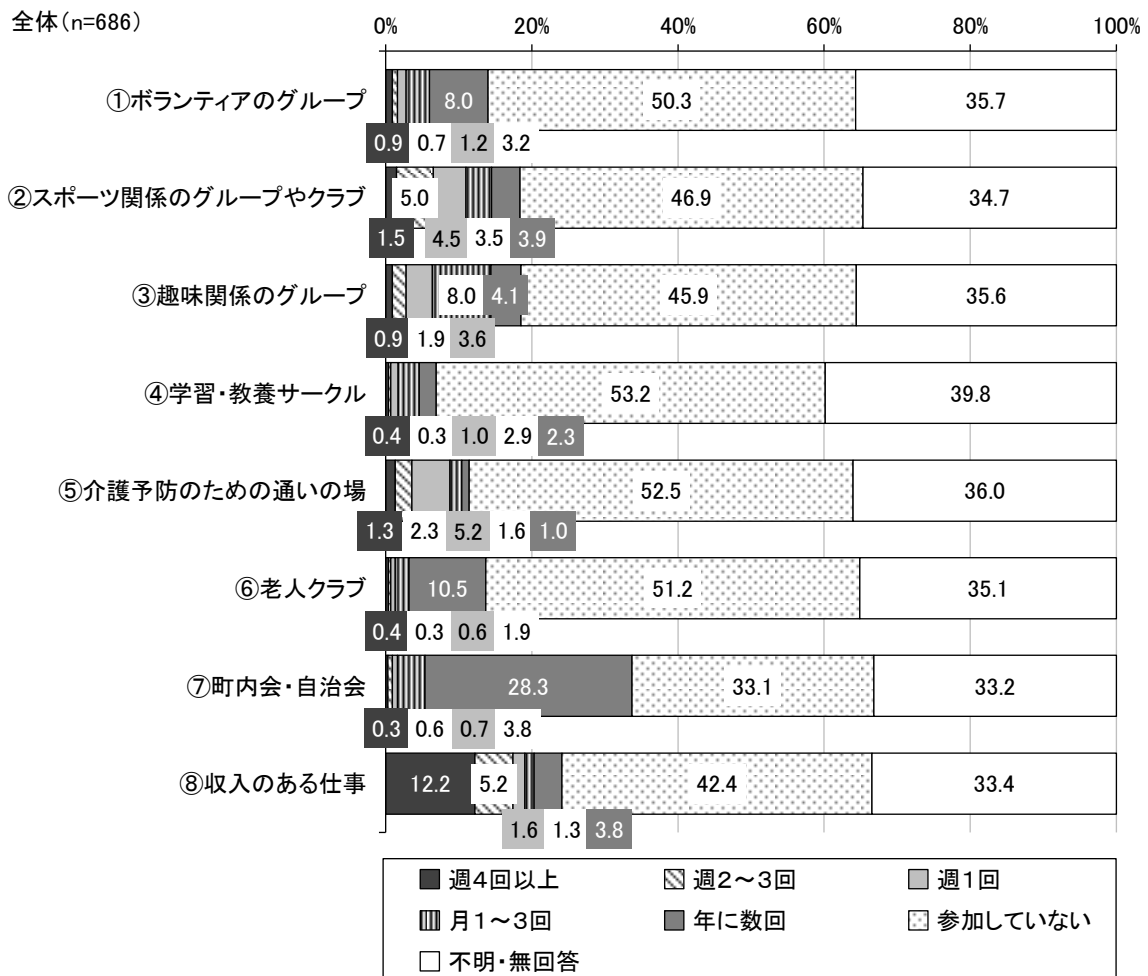
年齢別にみると、いずれの年齢も「生きがいあり」が5割台となっています。



問5 地域での活動について

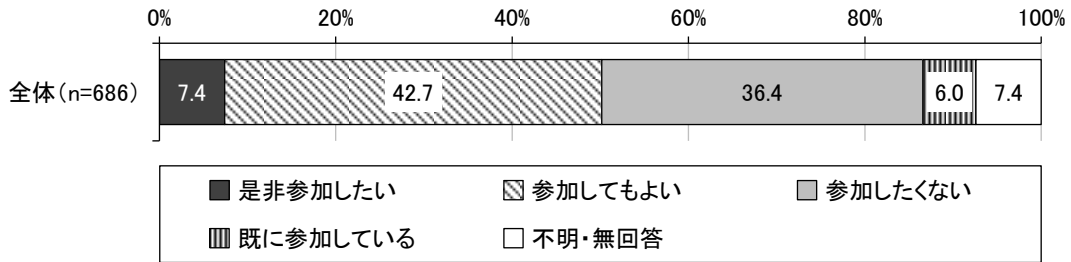
(1) 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか (①~⑧のそれぞれについて、〇は1つ)

会・グループ等への参加頻度についてみると、すべての項目で「参加していない」が最も高くなっています。また、参加している場合の参加頻度についてみると、〔①ボランティアのグループ〕〔⑥老人クラブ〕〔⑦町内会・自治会〕では「年に数回」、〔②スポーツ関係のグループやクラブ〕では「週2~3回」、〔③趣味関係のグループ〕〔④学習・教養サークル〕では「月1~3回」、〔⑤介護予防のための通いの場〕では「週1回」、〔⑧収入のある仕事〕では「週4回以上」がそれぞれ最も高くなっています。



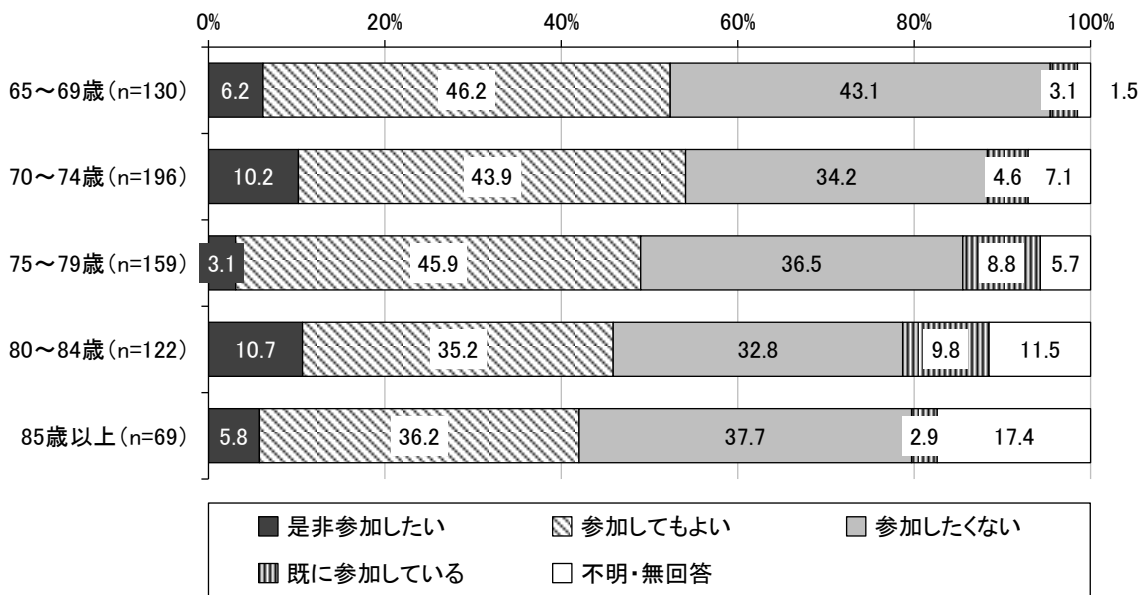
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいかについてみると、「参加してもよい」が42.7%と最も高く、次いで「参加したくない」が36.4%、「是非参加したい」が7.4%となっています。



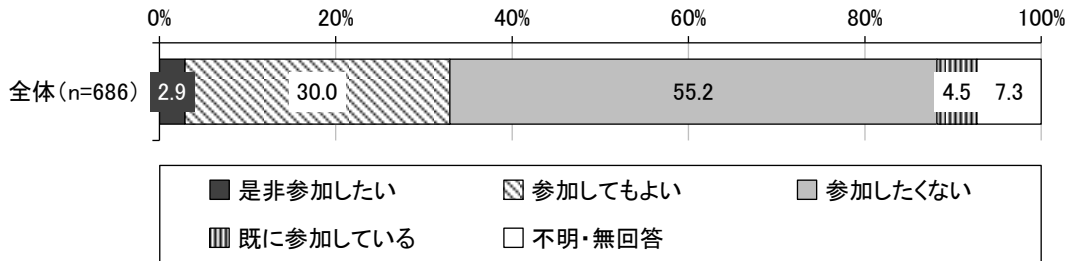
■ 年齢クロス

年齢別にみると、65～84歳では「参加してもよい」、85歳以上では「参加したくない」が最も高くなっています。



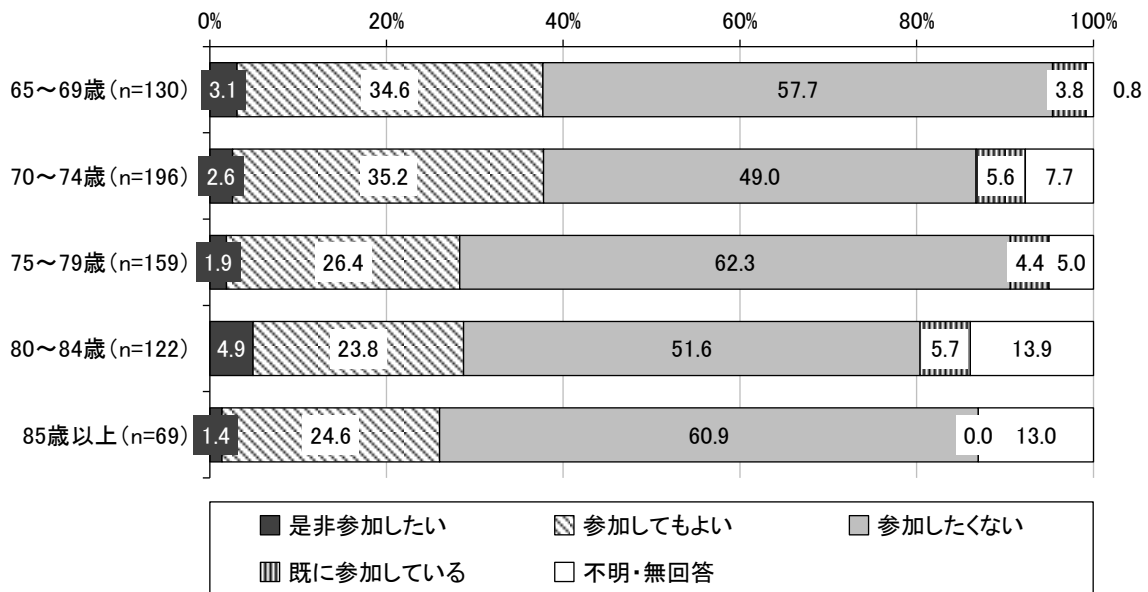
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいかについてみると、「参加したくない」が55.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」が30.0%、「既に参加している」が4.5%となっています。



■ 年齢クロス

年齢別にみると、65～84歳では「参加してもよい」、85歳以上では「参加したくない」が最も高くなっています。



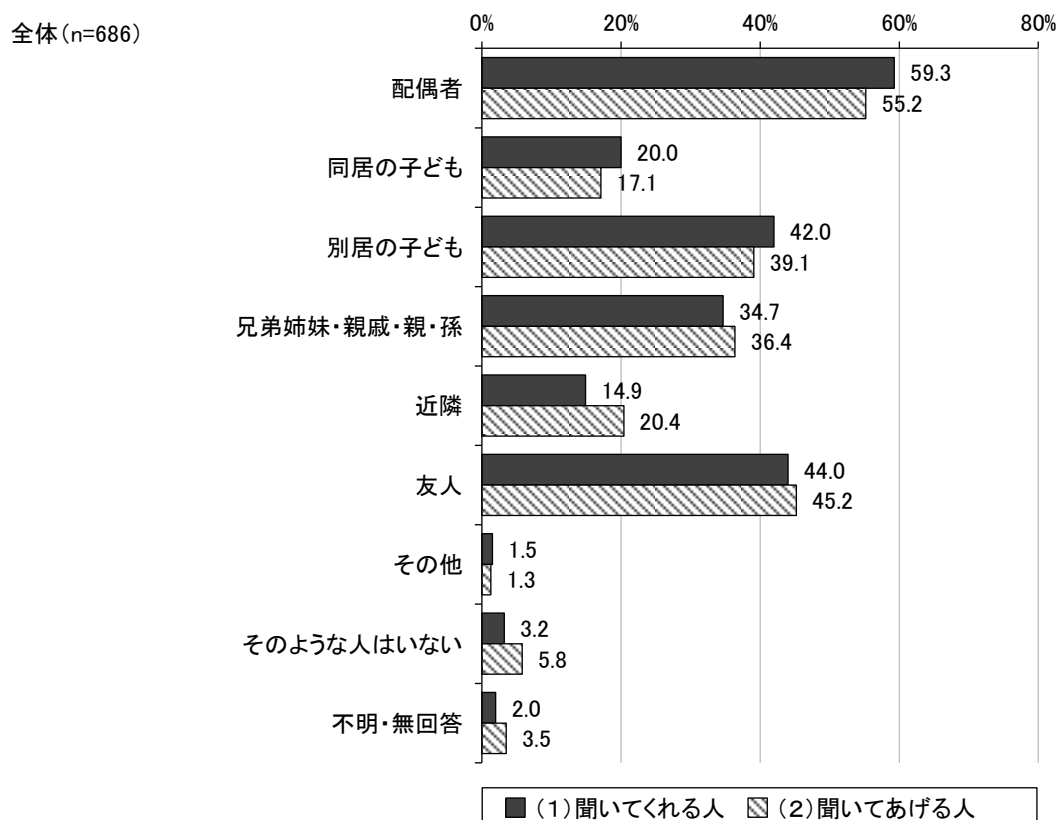
問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(いくつでも)

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が59.3%と最も高く、次いで「友人」が44.0%、「別居の子ども」が42.0%となっています。

反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人についてみると、「配偶者」が55.2%と最も高く、次いで「友人」が45.2%、「別居の子ども」が39.1%となっています。

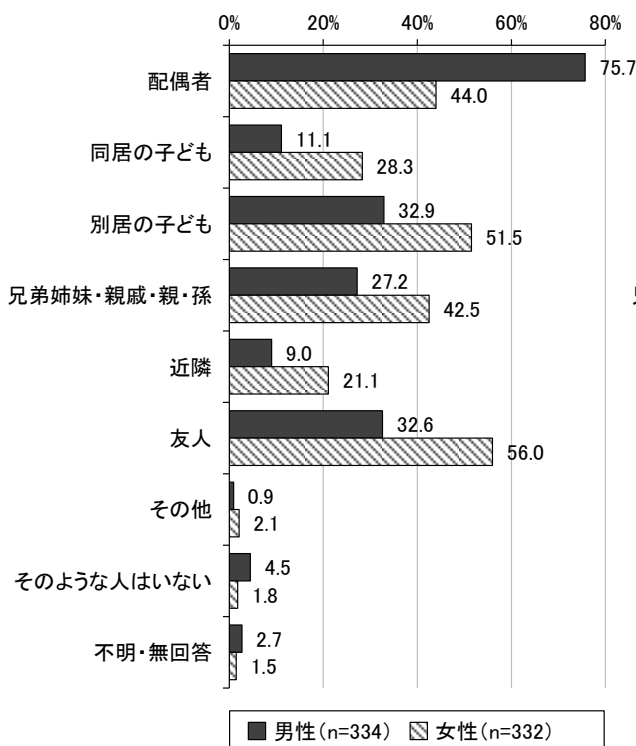


■ 性別クロス

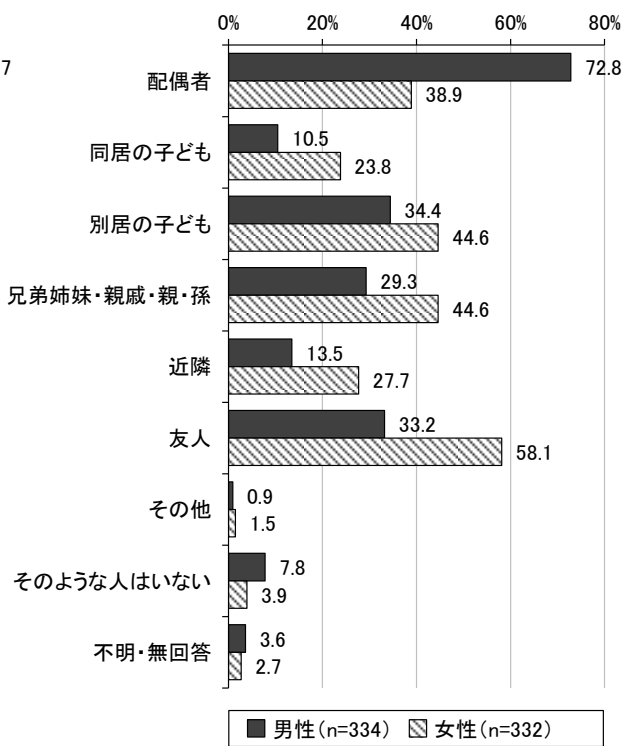
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人について性別にみると、男性では「配偶者」が75.7%と最も高くなっており、女性を31.7ポイント上回っています。女性では「友人」が56.0%と最も高く、男性を23.4ポイント上回っています。

(2) 反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人について性別にみると、男性では「配偶者」が72.8%と最も高くなっており、女性を33.9ポイント上回っています。女性では「友人」が58.1%と最も高くなっており、男性を24.9ポイント上回っています。

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

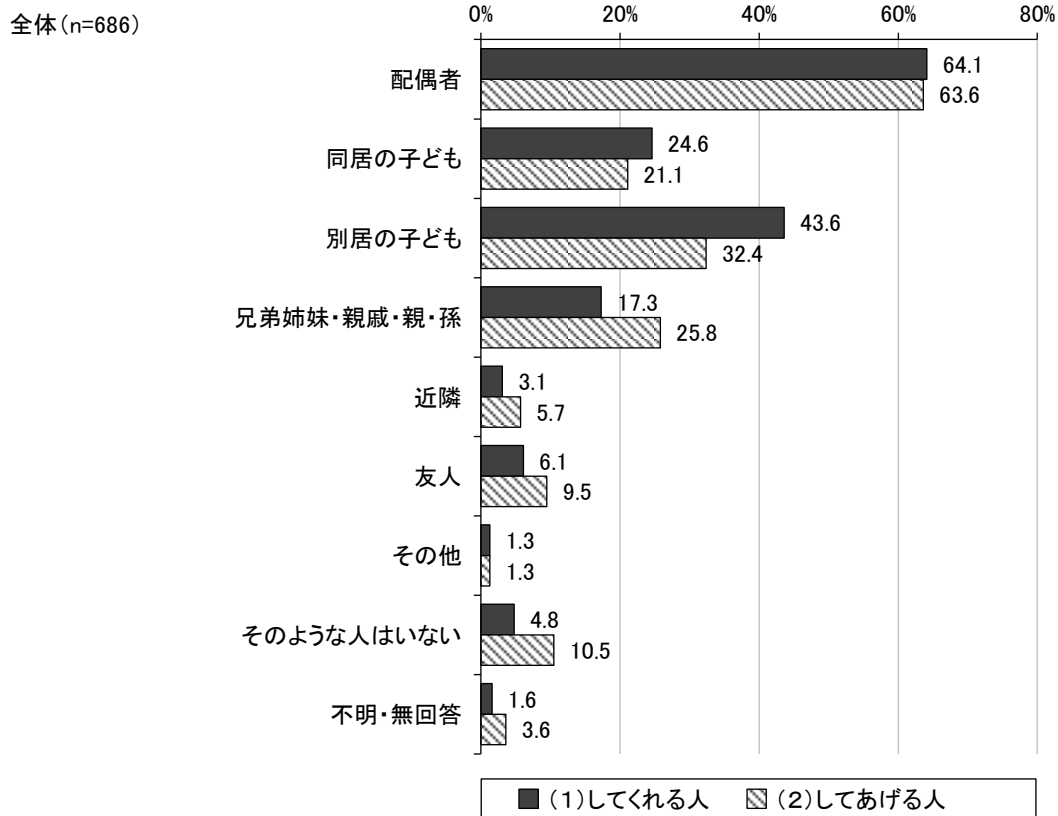


(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

(4) 反対に、看病や世話をしあげる人（いくつでも）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人についてみると、「配偶者」が64.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」が43.6%、「同居の子ども」が24.6%となっています。

反対に、看病や世話をしあげる人についてみると、「配偶者」が63.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」が32.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.8%となっています。

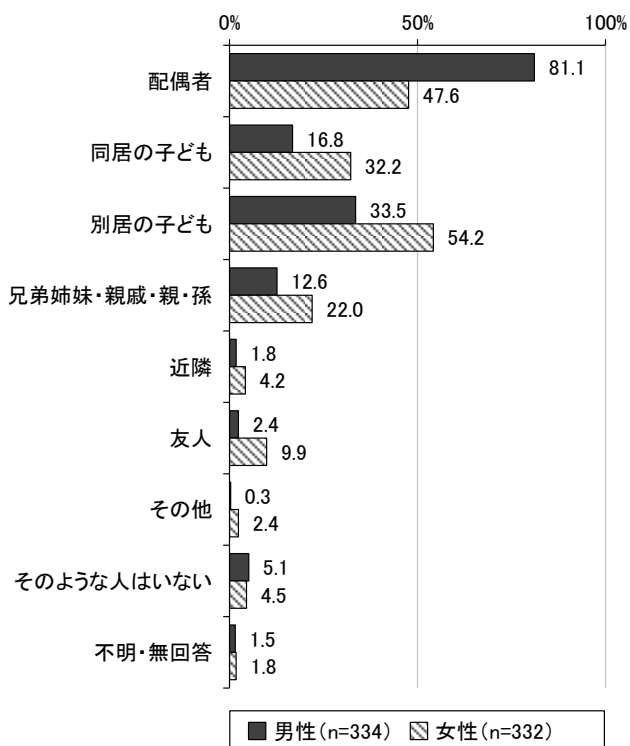


■ 性別クロス

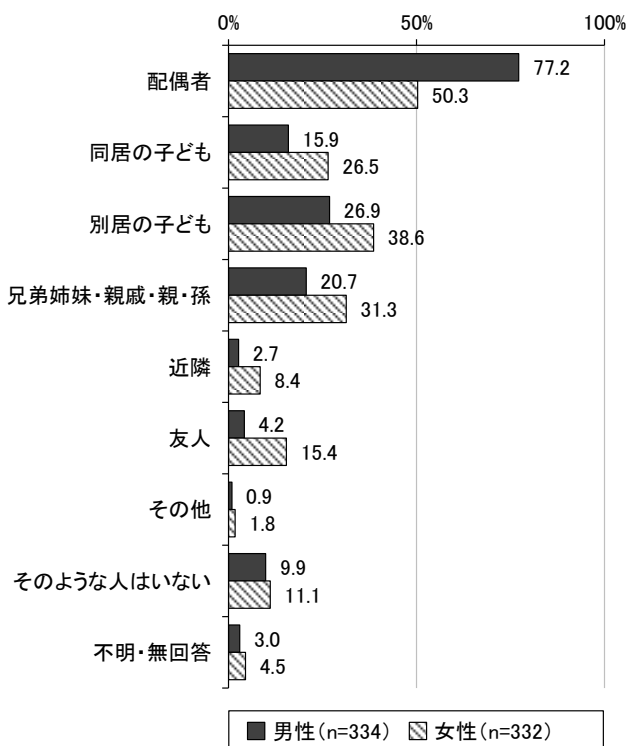
(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について性別にみると、男性では「配偶者」が81.1%と最も高くなっており、女性を33.5ポイント上回っています。女性では「別居の子ども」が54.2%と最も高く、男性を20.7ポイント上回っています。

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人について性別にみると、男女ともに「配偶者」が最も高くなっており、男性が77.2%と女性を26.9ポイント上回っています。

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、
看病や世話をしてくれる人

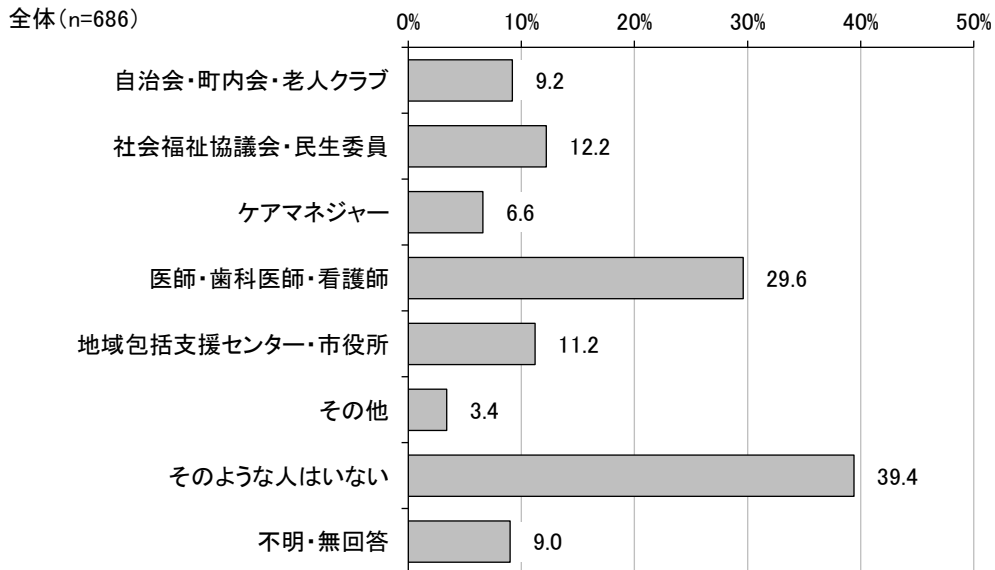


(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が39.4%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が29.6%、「社会福祉協議会・民生委員」が12.2%となっています。



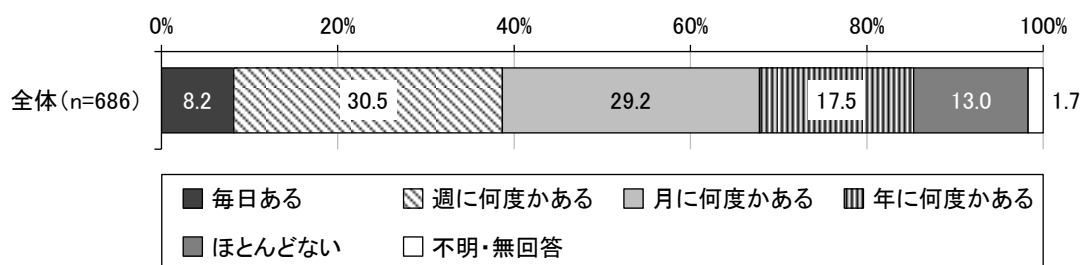
■ 年齢クロス

年齢別にみると、65～79歳では「そのような人はいない」、80歳以上では「医師・歯科医師・看護師」が最も高くなっています。

単位: %		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	不明・無回答
年齢別	65～69歳 (n=130)	6.9	5.4	3.8	25.4	13.1	4.6	50.8	3.8
	70～74歳 (n=196)	10.2	11.2	5.6	29.1	10.2	5.1	40.8	8.7
	75～79歳 (n=159)	10.7	17.0	3.8	29.6	10.7	1.3	39.6	8.2
	80～84歳 (n=122)	8.2	13.1	7.4	35.2	11.5	0.8	30.3	14.8
	85歳以上 (n=69)	10.1	15.9	18.8	30.4	11.6	5.8	27.5	11.6

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

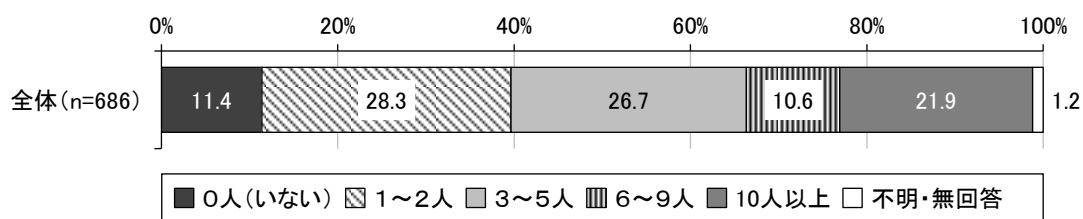
友人・知人と会う頻度についてみると、「週に何度かある」が30.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が29.2%、「年に何度かある」が17.5%となっています。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)

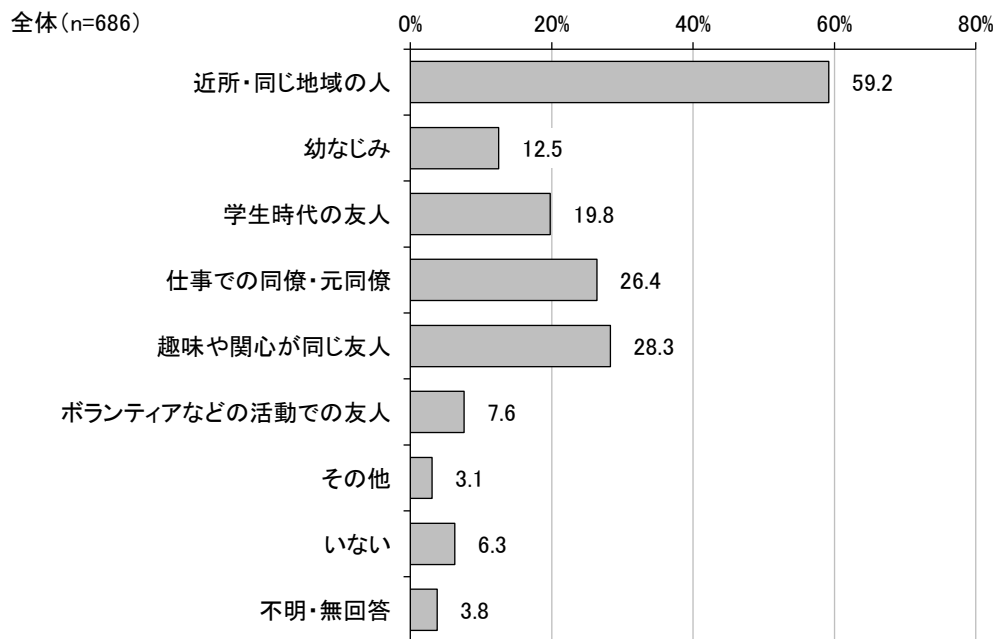
※同じ人には何度会っても1人と数えることとします

この1か月間に会った友人・知人の人数についてみると、「1～2人」が28.3%と最も高く、次いで「3～5人」が26.7%、「10人以上」が21.9%となっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

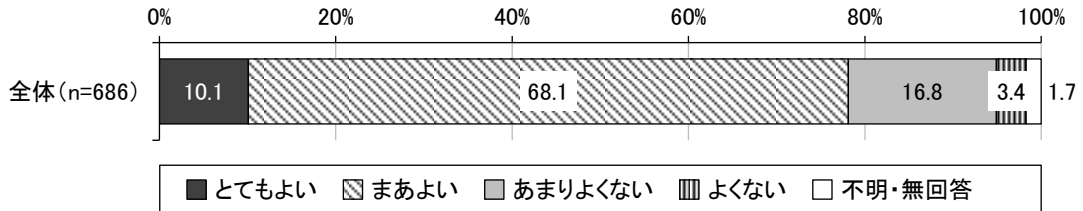
よく会う友人・知人との関係についてみると、「近所・同じ地域の人」が 59.2%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 28.3%、「仕事での同僚・元同僚」が 26.4%となっています。



問7 健康について

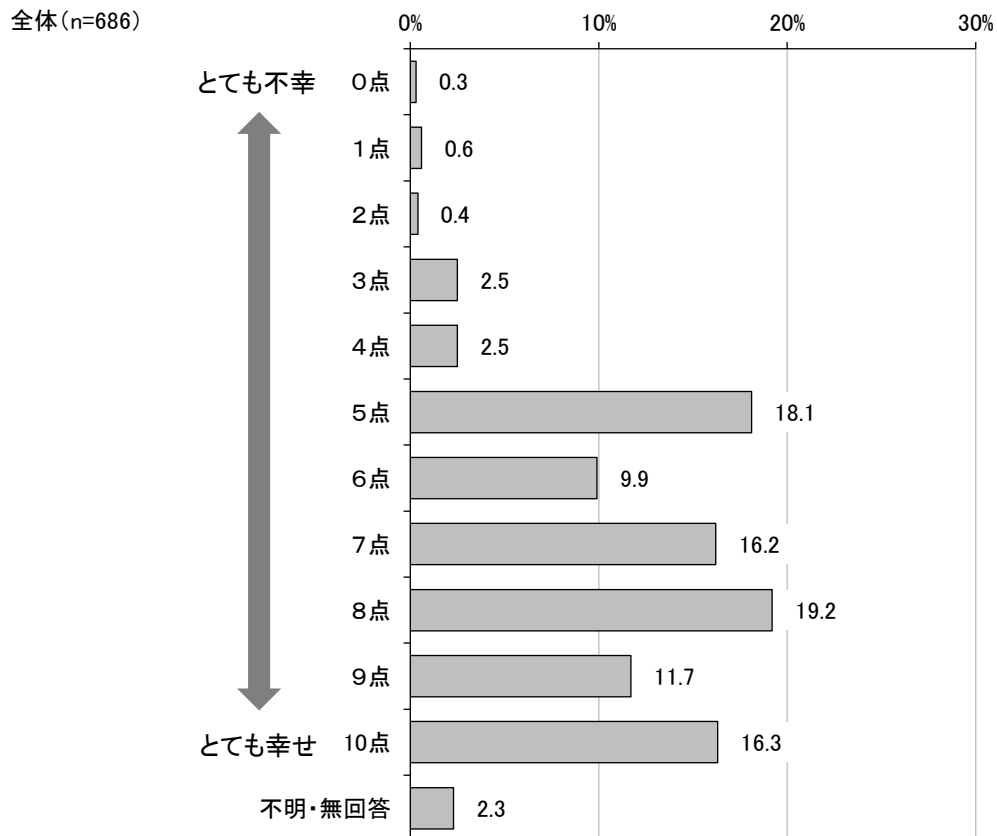
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

現在の健康状態についてみると、「まあよい」が68.1%と最も高く、次いで「あまりよくない」が16.8%、「とてもよい」が10.1%となっています。



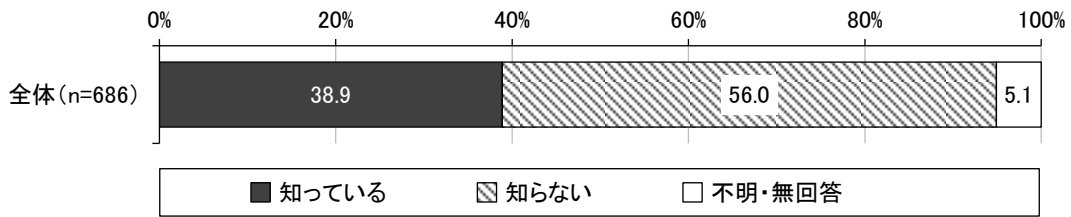
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○は1つ)

幸福度についてみると、「8点」が19.2%と最も高く、次いで「5点」が18.1%、「10点」が16.3%となっています。不明・無回答を除く平均点は「7.2点」となっています。



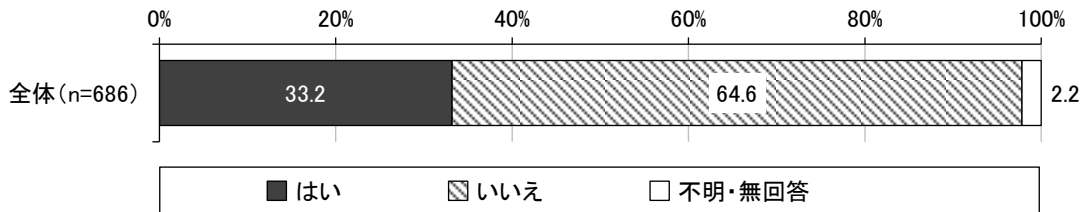
(3) 「フレイル」を知っていますか (○は1つ)

「フレイル」を知っているかについてみると、「知っている」が38.9%、「知らない」が56.0%となっています。



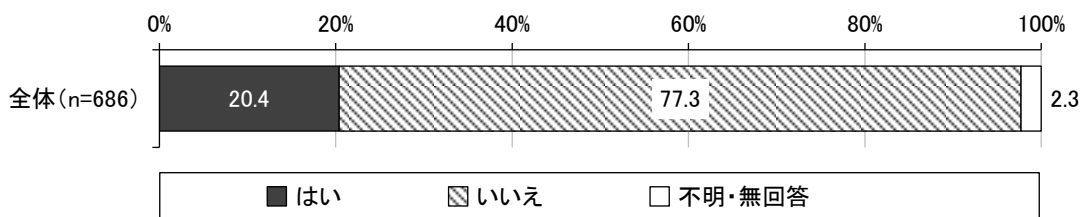
(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについてみると、「はい」が33.2%、「いいえ」が64.6%となっています。



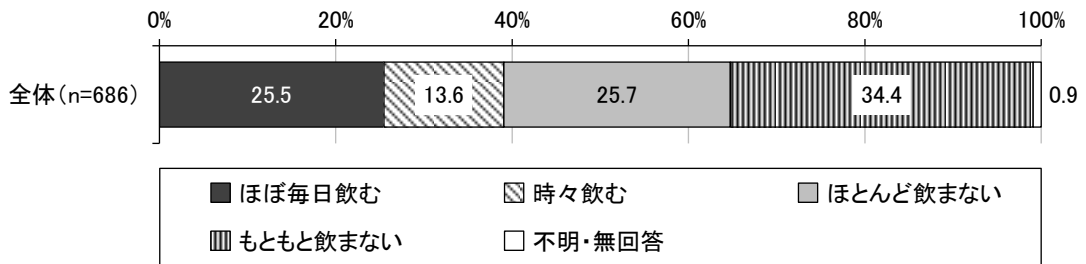
(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについてみると、「はい」が20.4%、「いいえ」が77.3%となっています。



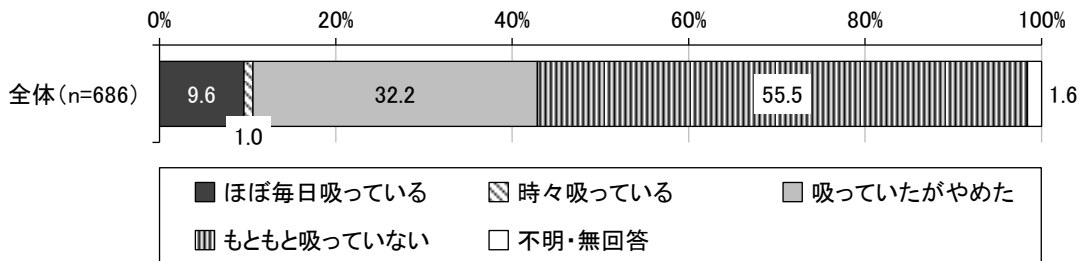
(6) お酒は飲みますか (○は1つ)

飲酒についてみると、「もともと飲まない」が34.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が25.7%、「ほぼ毎日飲む」が25.5%となっています。



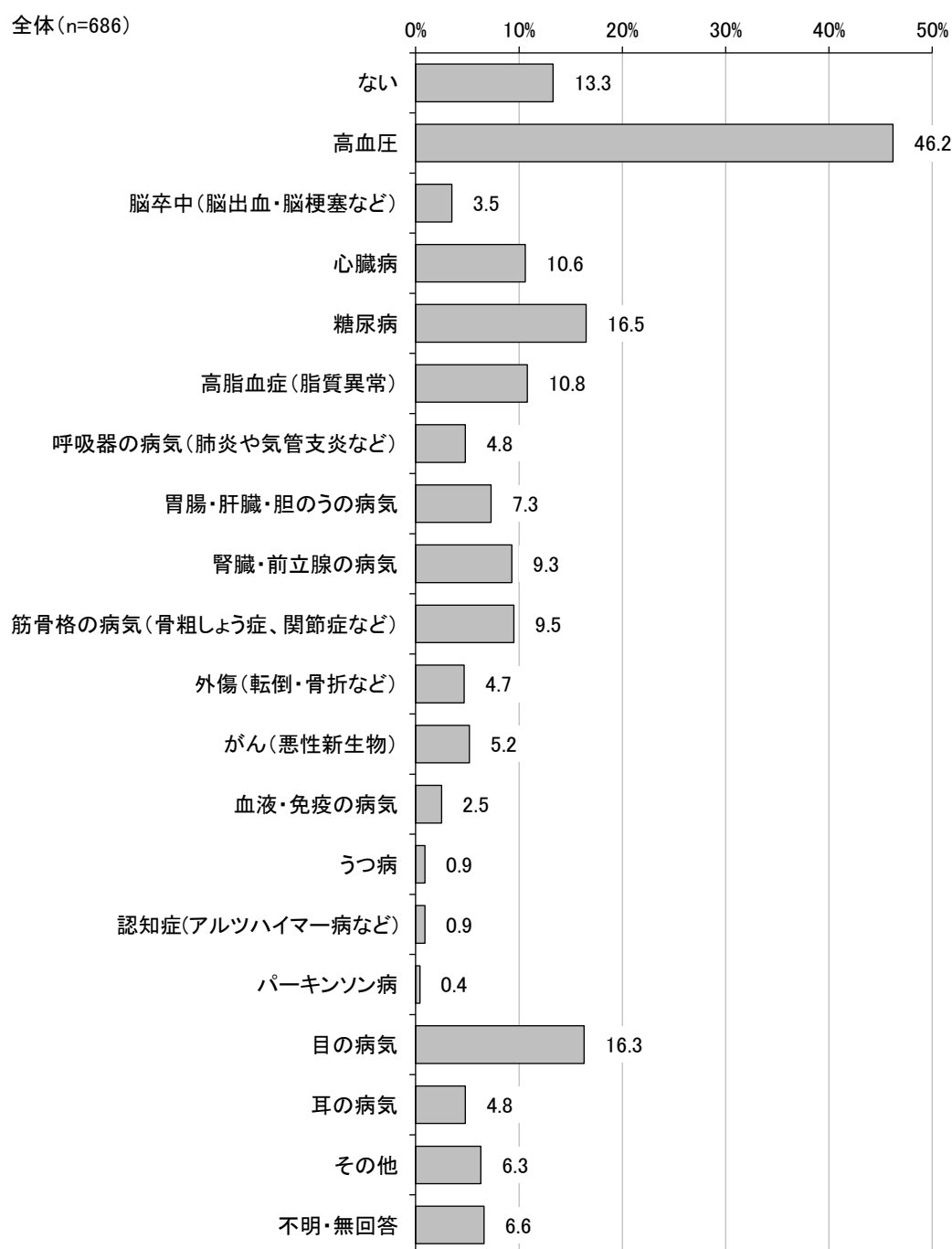
(7) タバコは吸っていますか (○は1つ)

喫煙についてみると、「もともと吸っていない」が55.5%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が32.2%、「ほぼ毎日吸っている」が9.6%となっています。



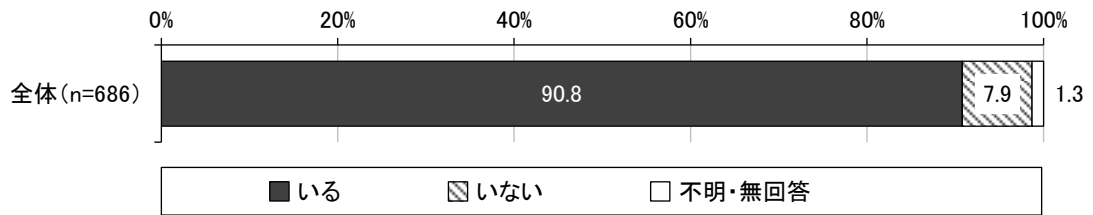
(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、「高血圧」が 46.2%と最も高く、次いで「糖尿病」が 16.5%、「目の病気」が 16.3%となっています。



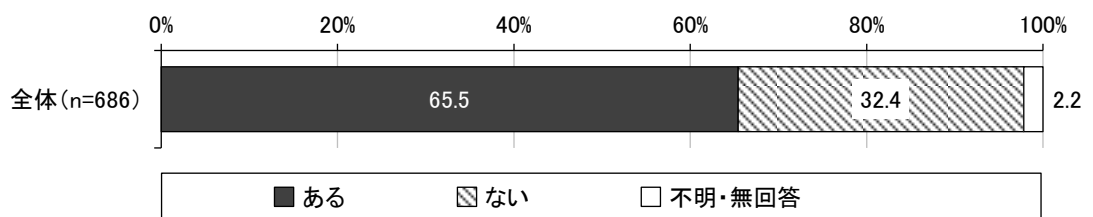
(9) かかりつけ医はいますか (○は1つ)

かかりつけ医はいるかについてみると、「いる」が90.8%、「いない」が7.9%となっています。



(10) かかりつけ薬局はありますか (○は1つ)

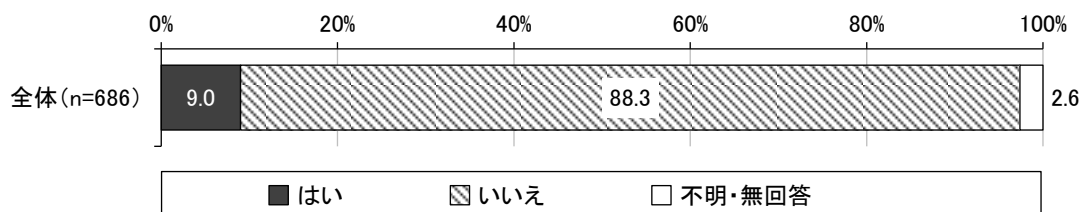
かかりつけ薬局はあるかについてみると、「ある」が65.5%、「ない」が32.4%となっています。



問8 認知症に関すること

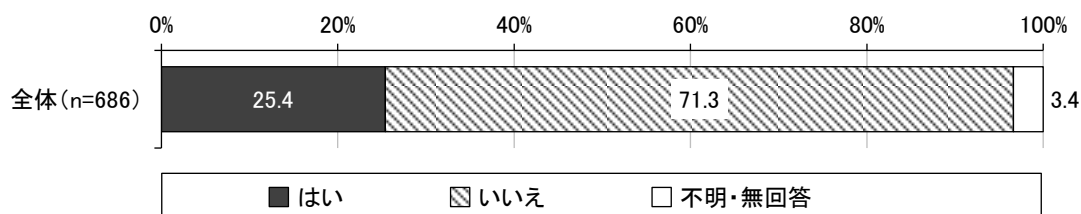
(1) 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかについてみると、「はい」が9.0%、「いいえ」が88.3%となっています。



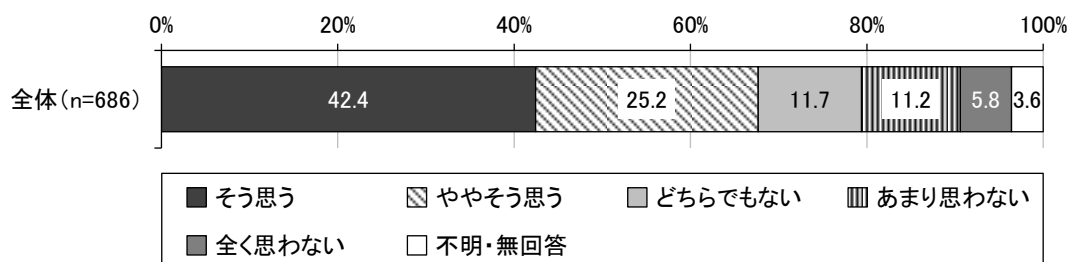
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

認知症に関する相談窓口を知っているかについてみると、「はい」が25.4%、「いいえ」が71.3%となっています。



(3) ご自身が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか (○は1つ)

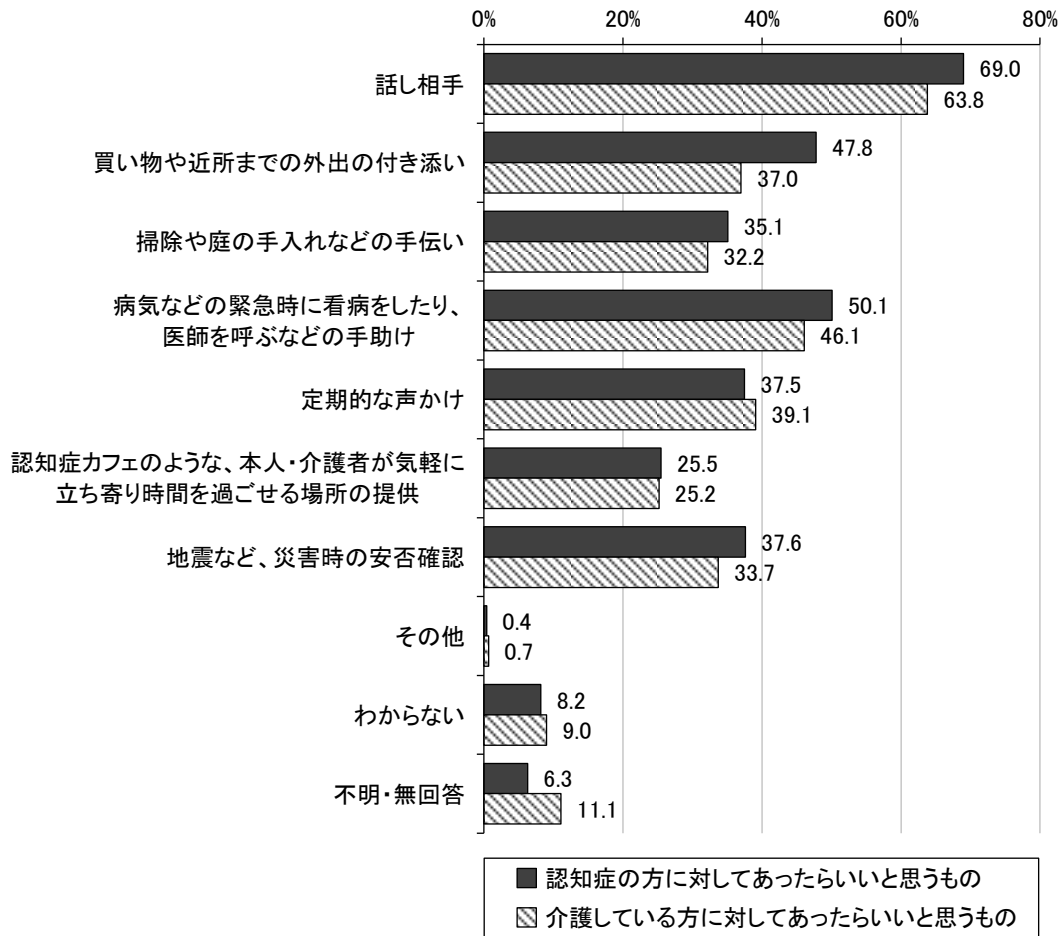
自身が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思うかについてみると、「そう思う」が42.4%と最も高く、次いで「ややそう思う」が25.2%、「どちらでもない」が11.7%となっています。



(4) ご自身やご家族が認知症になったとき、身近にあったらいいと思うものはありますか
(いくつでも)

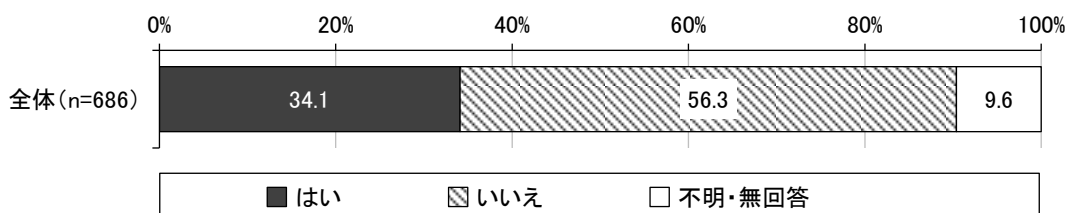
認知症の方に対してあったらいいと思うものについてみると、「話し相手」が69.0%と最も高く、次いで「病気などの緊急時に看病をしたり、医師を呼ぶなどの手助け」が50.1%、「買い物や近所までの外出の付き添い」が47.8%となっています。

介護している方に対してあったらいいと思うものについてみると、「話し相手」が63.8%と最も高く、次いで「病気などの緊急時に看病をしたり、医師を呼ぶなどの手助け」が46.1%、「定期的な声かけ」が39.1%となっています。



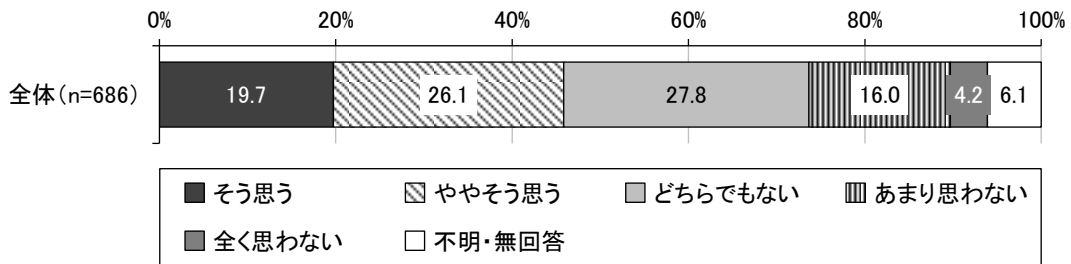
(5) 認知症の人とその家族等が気軽に交流できる「つどい場事業（認知症カフェ）」に参加したいと思いませんか (○は1つ)

認知症の人とその家族等が気軽に交流できる「つどい場事業（認知症カフェ）」に参加したいと思うかについてみると、「はい」が34.1%、「いいえ」が56.3%となっています。



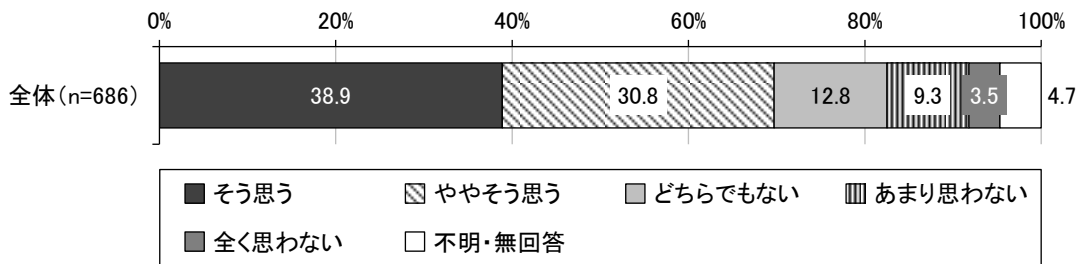
(6) 認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方がよいと思いますか (○は1つ)

認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方がよいと思うかについてみると、「どちらでもない」が27.8%と最も高く、次いで「ややそう思う」が26.1%、「そう思う」が19.7%となっています。



(7) ご自身や家族が認知症になったとき、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか (○は1つ)

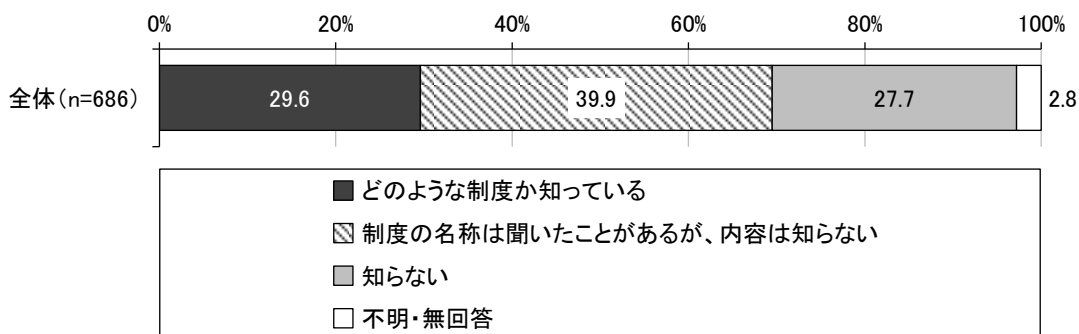
自身や家族が認知症になったとき、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思うかについてみると、「そう思う」が38.9%と最も高く、次いで「ややそう思う」が30.8%、「どちらでもない」が12.8%となっています。



問9 成年後見制度について

(1) 成年後見制度を知っていますか (〇は1つ)

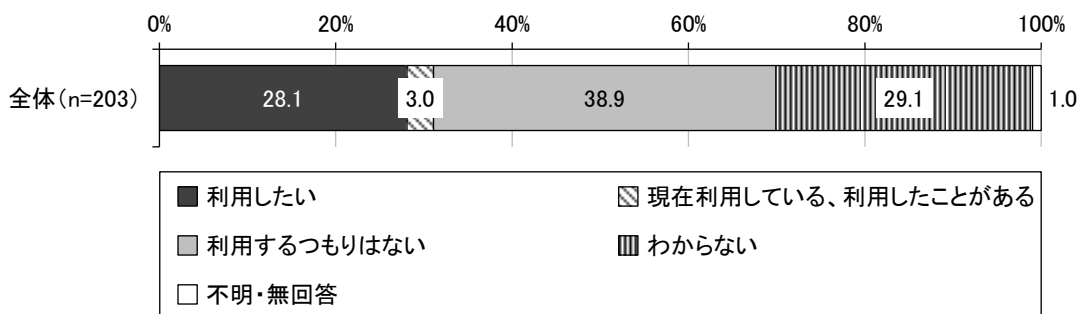
成年後見制度を知っているかについてみると、「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が39.9%と最も高く、次いで「どのような制度か知っている」が29.6%、「知らない」が27.7%となっています。



【問9(1)で「どのような制度か知っている」と回答した方への質問】

(1) ① 今後あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思いませんか (〇は1つ)

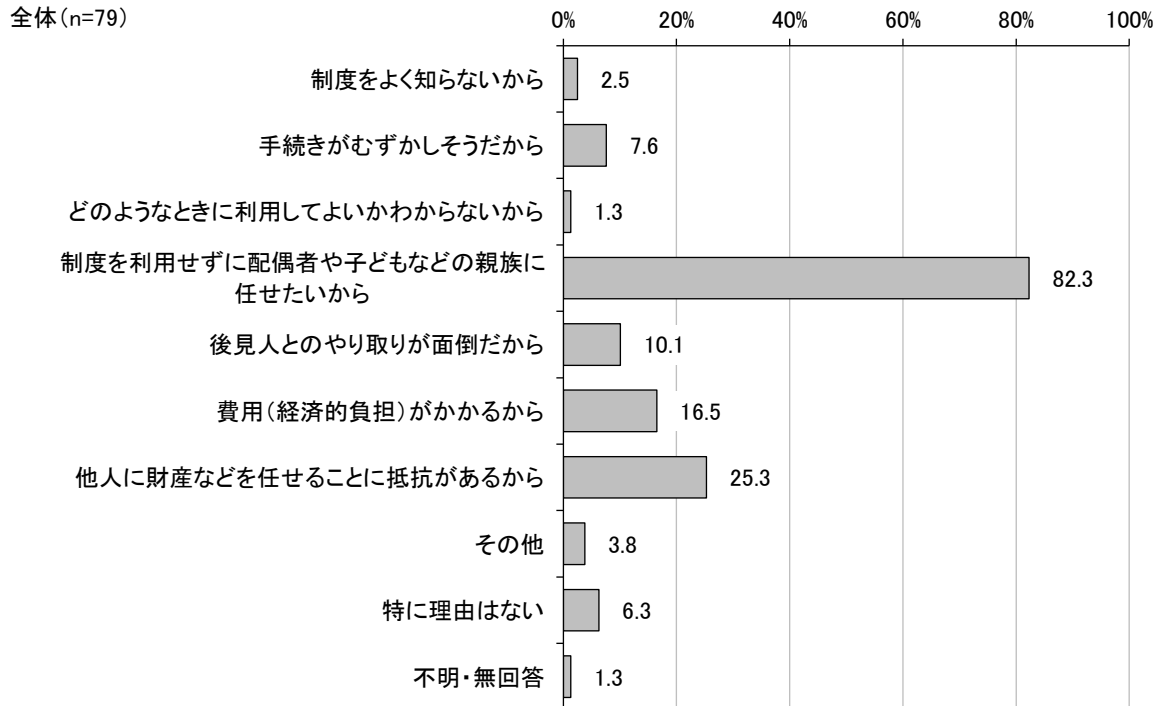
今後自身や家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思うかについてみると、「利用するつもりはない」が38.9%と最も高く、次いで「わからない」が29.1%、「利用したい」が28.1%となっています。



【問9（1）①で「利用するつもりはない」と回答した方への質問】

（1）②成年後見制度の利用を考えていない理由は何ですか（いくつでも）

成年後見制度の利用を考えていない理由についてみると、「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたいから」が82.3%と最も高く、次いで「他人に財産などを任せることに抵抗があるから」が25.3%、「費用（経済的負担）がかかるから」が16.5%となっています。



問 10 高齢者福祉について

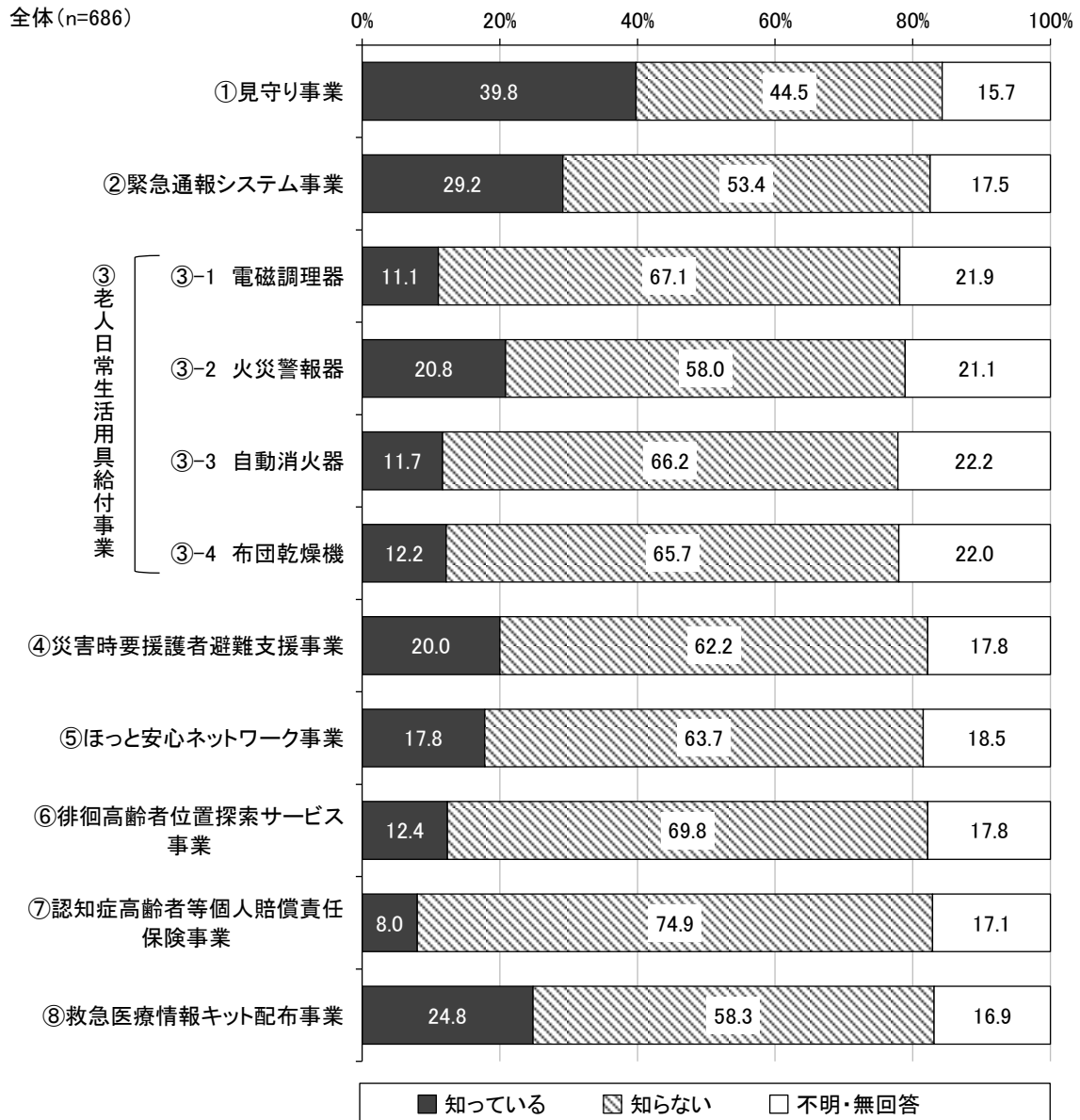
(1) 次の福祉サービスを知っていますか、また、今後利用したいと思いますか

(①～⑦)について、「知っているか」、「利用したいか」のそれぞれで○は1つずつ

※「利用したいか」については、「現在サービスの利用の」対象者かどうかにかかわらずお答えください

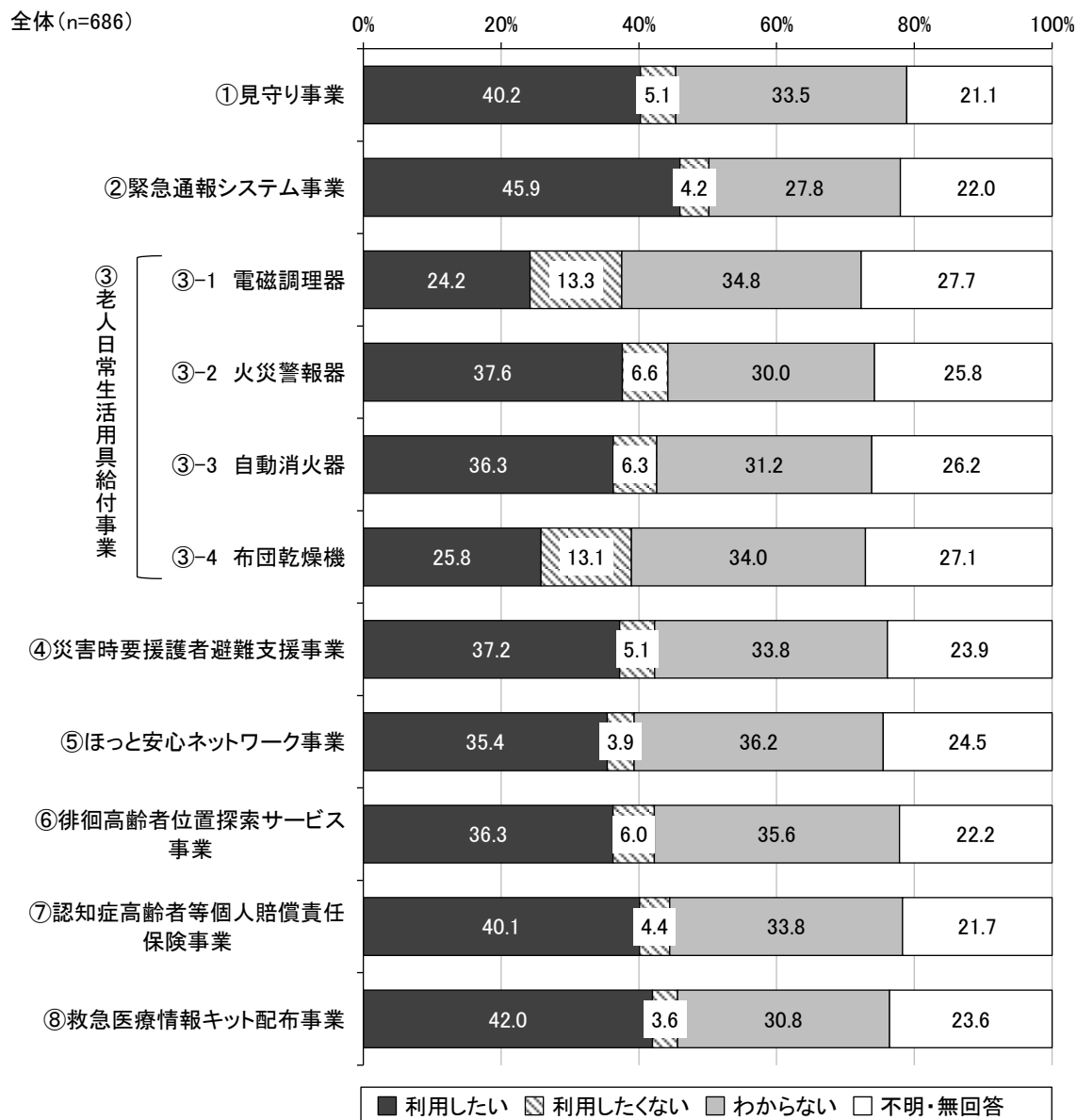
福祉サービスを知っているかについてみると、「知っている」では〔①見守り事業〕が39.8%と最も高く、次いで〔②緊急通報システム事業〕が29.2%、〔⑦救急医療情報キット配布事業〕が24.8%となっています。

【認知度】



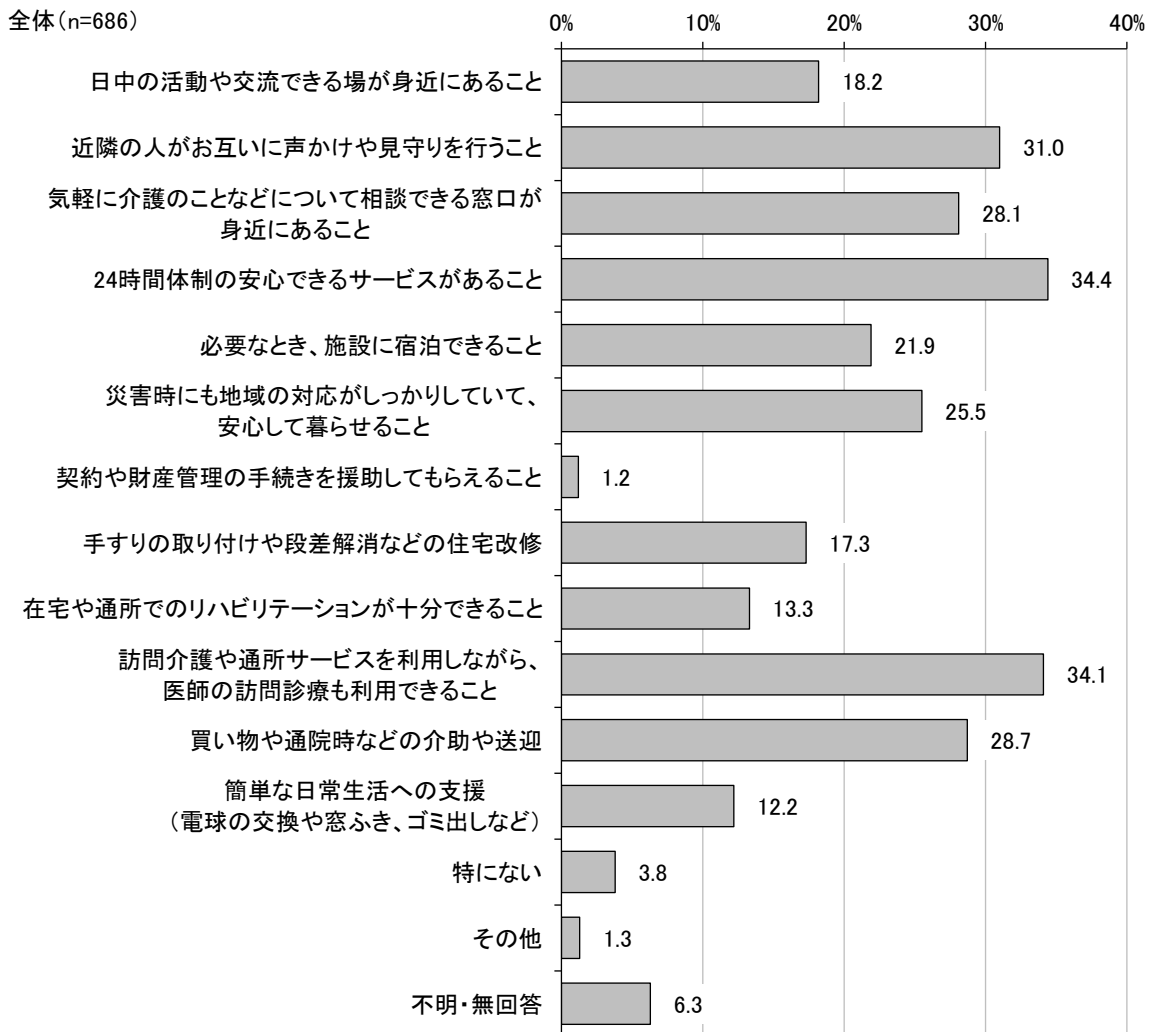
福祉サービスを今後利用したいと思うかについてみると、「利用したい」では〔②緊急通報システム事業〕が45.9%と最も高く、次いで〔⑦救急医療情報キット配布事業〕が42.0%、〔①見守り事業〕が40.2%となっています。

【利用意向】



(2) 高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか (〇は3つまで)

高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができるかについてみると、「24時間体制の安心できるサービスがあること」が34.4%と最も高く、次いで「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が34.1%、「近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」が31.0%となっています。



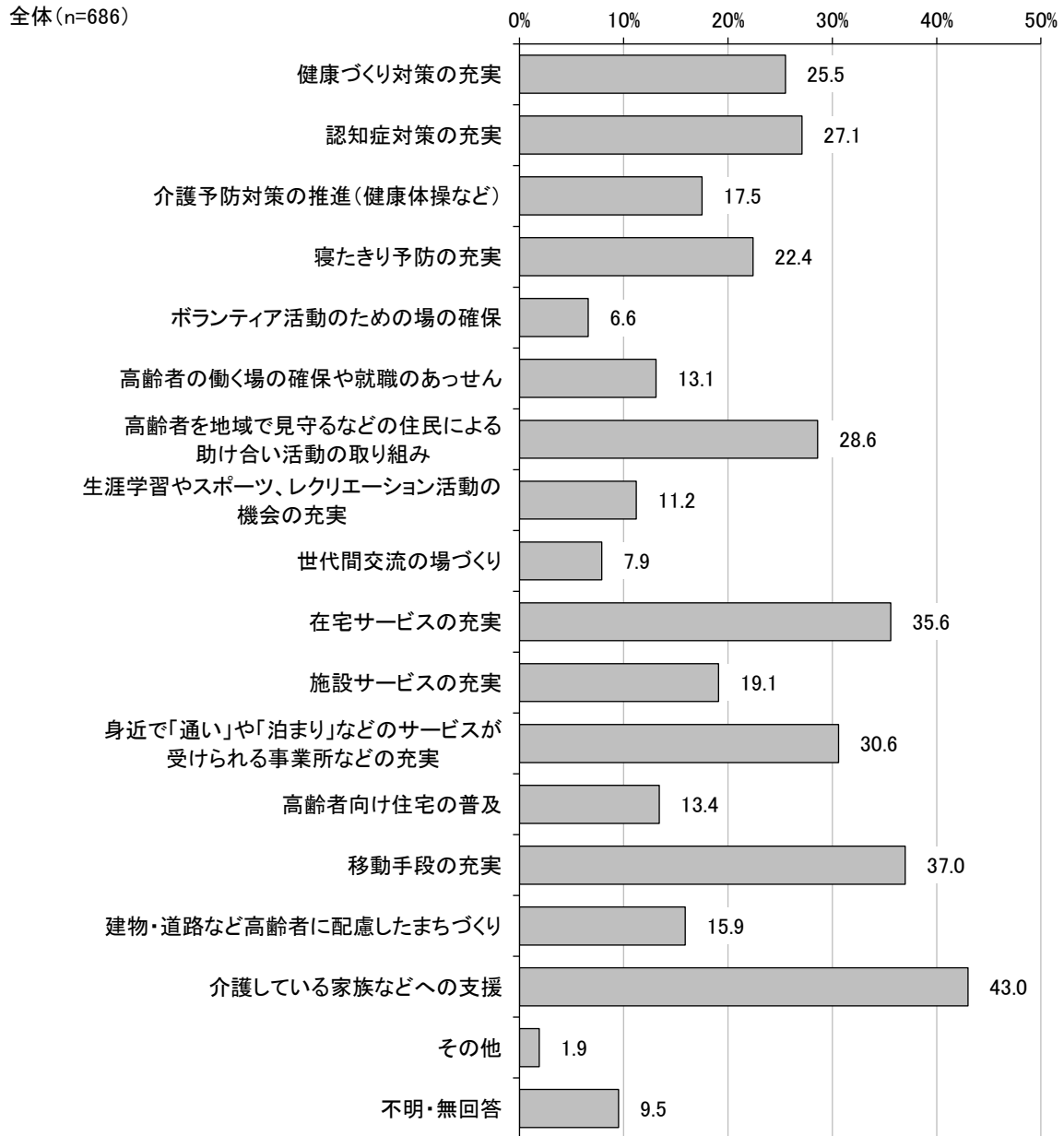
■ 年齢クロス

年齢別にみると、65～74歳では「24時間体制の安心できるサービスがあること」、75～79歳では「近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」、80歳以上では「訪問介護や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が最も高くなっています。

単位：%		に日中の活動や交流できる場が身近にあること	近隣の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	気軽な介護のことなどについて相談できる窓口が身近にあること	24時間体制の安心できるサービスがあること	必要なとき、施設に宿泊できること	災害時にも地域の対応がしつかりしていること、安心して暮らせること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修
年齢別	65～69歳 (n=130)	19.2	29.2	33.1	40.0	30.8	23.1	1.5	19.2
	70～74歳 (n=196)	15.8	28.6	26.0	41.3	20.4	25.0	1.0	15.8
	75～79歳 (n=159)	18.2	38.4	23.9	26.4	20.8	26.4	0.6	13.8
	80～84歳 (n=122)	20.5	26.2	31.1	25.4	16.4	24.6	0.8	16.4
	85歳以上 (n=69)	17.4	33.3	31.9	37.7	20.3	26.1	2.9	26.1
単位：%		在宅や通所でのリハビリテーションが十分できること	訪問介護や通所サービスも利用できること	買い物や通院などの介助や送迎	簡単な日常生活への支援（電球の交換や窓ふき、ゴミ出しなど）	特になし	その他	不明・無回答	
年齢別	65～69歳 (n=130)	10.8	36.9	26.2	11.5	3.1	0.8	3.1	
	70～74歳 (n=196)	17.3	32.7	33.2	16.8	3.1	2.0	5.6	
	75～79歳 (n=159)	12.6	32.7	22.6	7.5	5.7	0.0	6.3	
	80～84歳 (n=122)	9.0	32.8	26.2	6.6	4.1	3.3	11.5	
	85歳以上 (n=69)	17.4	40.6	37.7	21.7	1.4	0.0	5.8	

(3) 高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか（いくつでも）

高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要かについてみると、「介護している家族などへの支援」が43.0%と最も高く、次いで「移動手段の充実」が37.0%、「在宅サービスの充実」が35.6%となっています。



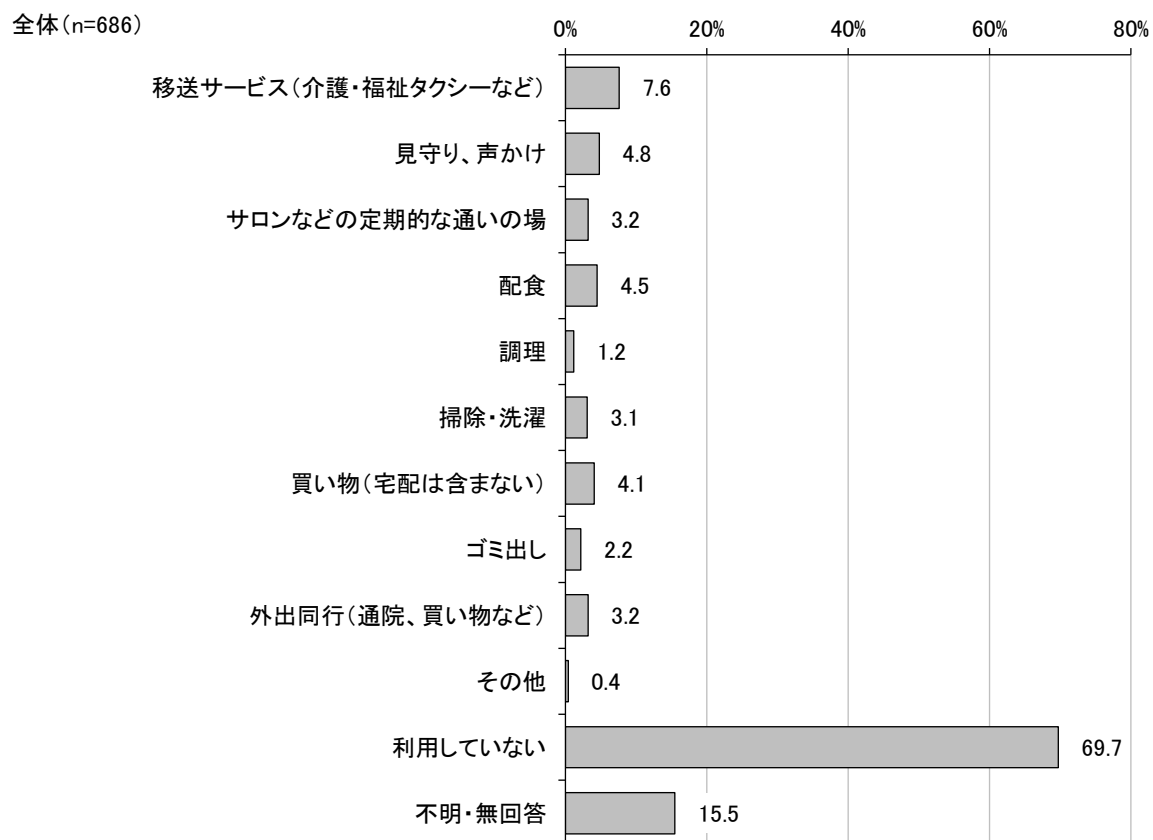
■ 年齢クロス

年齢別にみると、75～79歳では「移動手段の充実」、他の年齢では「介護している家族などへの支援」が最も高くなっています。

単位：%		健康づくり対策の充実	認知症対策の充実	介護予防対策の推進（健康体操など）	寝たきり予防の充実	ボランティア活動のための場の確保	高齢者の働く場の確保や就職のあっせん	高齢者を地域で見守るなどの住民による助け合い活動の取り組み	生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実	世代間交流の場づくり
年齢別	65～69歳 (n=130)	25.4	34.6	15.4	26.9	6.2	20.0	26.9	13.8	8.5
	70～74歳 (n=196)	23.5	22.4	17.9	19.4	5.1	15.3	29.1	13.3	6.6
	75～79歳 (n=159)	30.2	28.3	18.9	20.1	6.3	13.8	29.6	10.1	9.4
	80～84歳 (n=122)	24.6	25.4	19.7	26.2	6.6	5.7	27.0	7.4	7.4
	85歳以上 (n=69)	21.7	24.6	14.5	18.8	11.6	4.3	30.4	8.7	8.7
単位：%		在宅サービスの充実	施設サービスの充実	身近で「通い」や「泊まり」などのサービスが受けられる事業所などの充実	高齢者向け住宅の普及	移動手段の充実	建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり	介護している家族などへの支援	その他	不明・無回答
年齢別	65～69歳 (n=130)	42.3	29.2	34.6	18.5	46.9	14.6	53.1	0.8	4.6
	70～74歳 (n=196)	38.3	20.9	29.6	14.8	36.7	14.3	48.0	1.5	7.1
	75～79歳 (n=159)	30.2	17.0	31.4	11.3	34.6	13.2	32.7	2.5	11.9
	80～84歳 (n=122)	30.3	11.5	25.4	7.4	28.7	20.5	38.5	2.5	14.8
	85歳以上 (n=69)	37.7	13.0	31.9	14.5	39.1	20.3	40.6	2.9	10.1

(4) 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてご回答ください
(いくつでも)

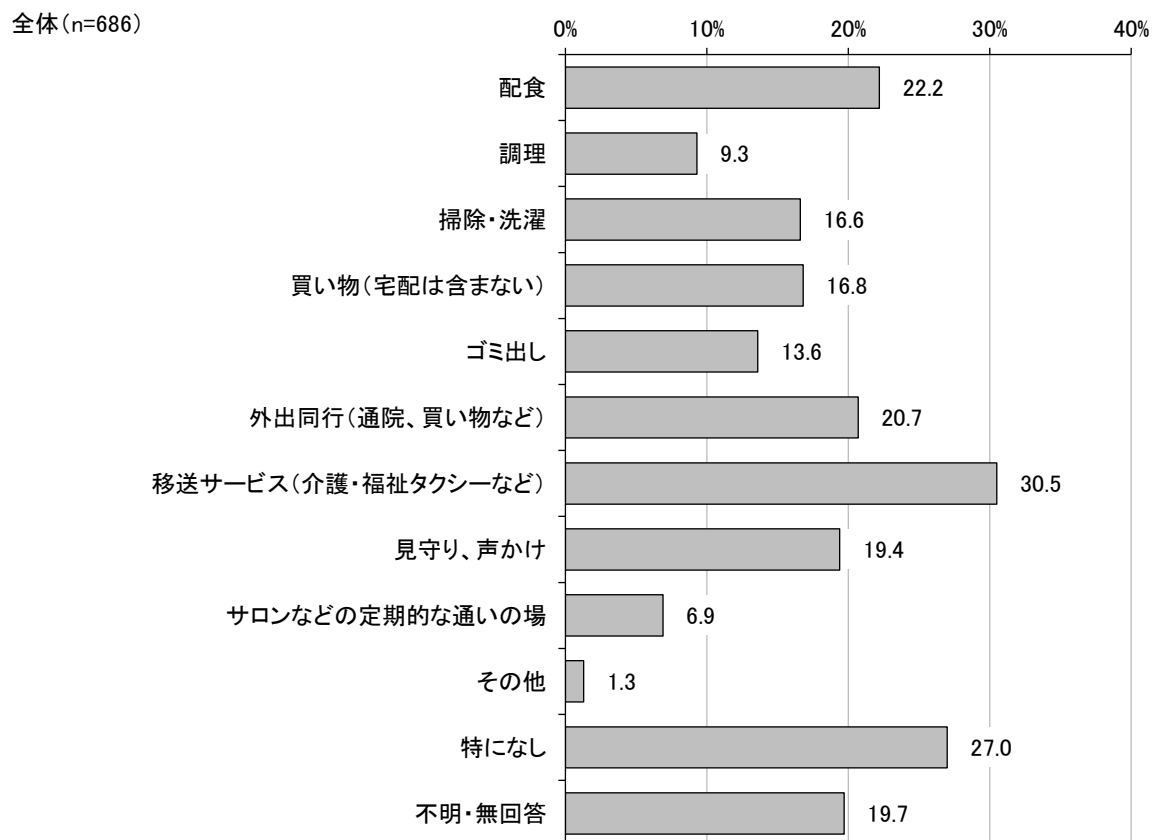
現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「利用していない」が69.7%と最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が7.6%、「見守り、声かけ」が4.8%となっています。



(5) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます

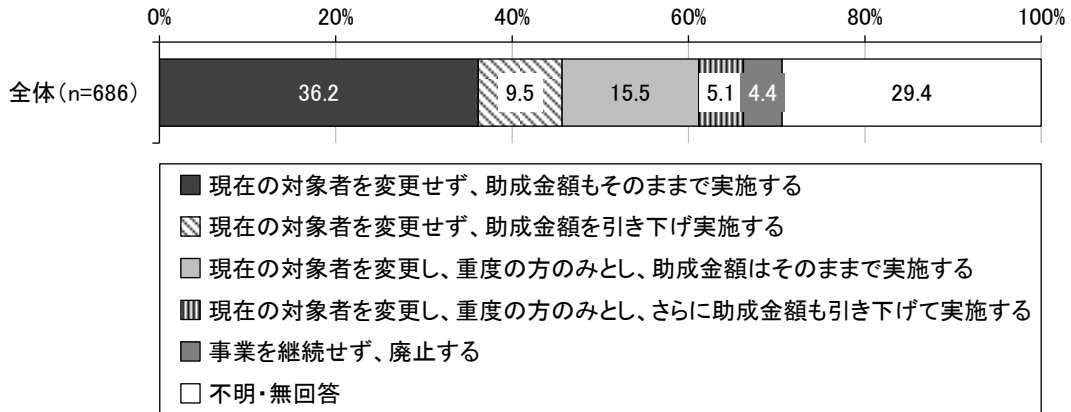
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が30.5%と最も高く、次いで「特になし」が27.0%、「配食」が22.2%となっています。



(6) 現在、対象者に紙おむつ購入費用の助成を行っていますが、令和5年度でその財源が廃止となります。令和6年度以降の事業のあり方についてどのように思われますか（○は1つ）

※「現在の対象者を変更せず、助成金額もそのまま実施する」場合、所得段階第5段階（基準額）の方で介護保険料が年間1,000円程度上昇します。それ以外の場合、介護保険料の上昇はやや抑えられます。

令和6年度以降の紙おむつ購入費用の助成事業のあり方についてどのように思うかについてみると、「現在の対象者を変更せず、助成金額もそのまま実施する」が36.2%と最も高く、次いで「現在の対象者を変更し、重度の方のみとし、助成金額はそのまま実施する」が15.5%、「現在の対象者を変更せず、助成金額を引き下げ実施する」が9.5%となっています。

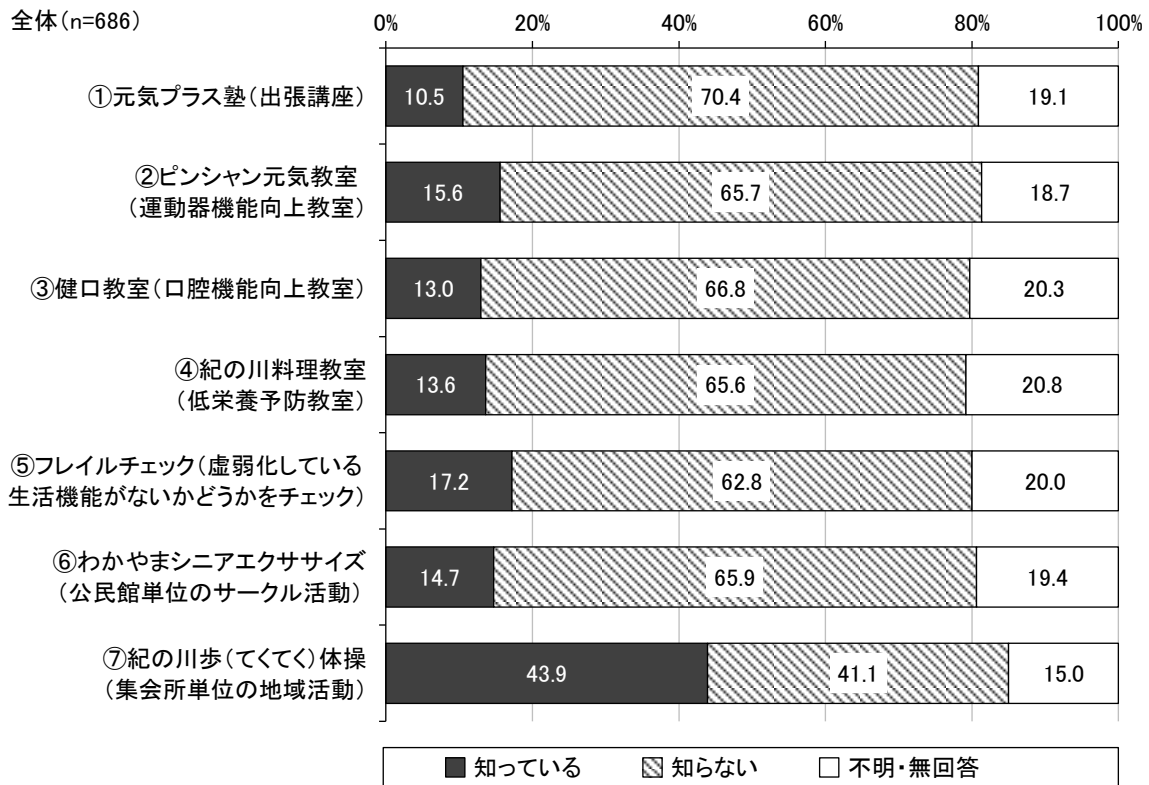


※現在の対象者：要介護1から5、重度の方：要介護3から5

問 11 紀の川市の介護予防事業について

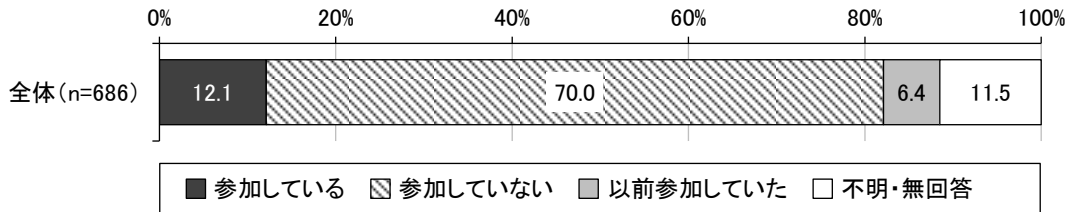
(1) 紀の川市で実施している下記介護予防事業を知っていますか (①～⑦のそれぞれについて、○は1つ)

紀の川市の介護予防事業の認知度についてみると、「知っている」では〔⑦紀の川歩(てくてく)体操(集会所単位の地域活動)〕が 43.9%と最も高く、次いで〔⑤フレイルチェック(虚弱化している生活機能がないかどうかをチェック)〕が 17.2%、〔②ピンシヤン元気教室(運動器機能向上教室)〕が 15.6%となっています。



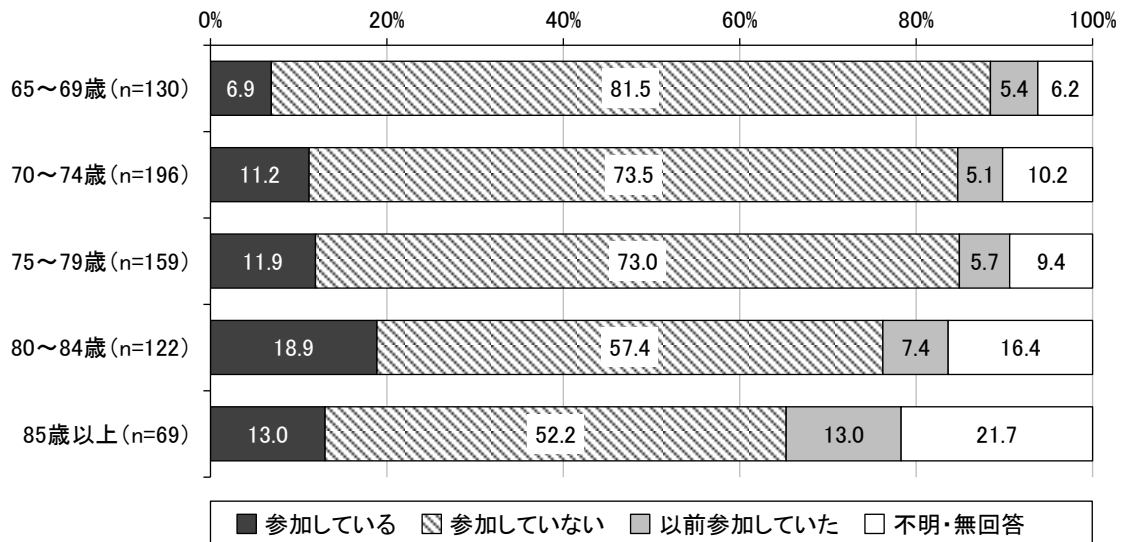
(2) (1) に記載している介護予防事業に1つでも参加していますか (〇は1つ)

紀の川市で実施している介護予防事業に1つでも参加しているかについてみると、「参加していない」が70.0%と最も高く、次いで「参加している」が12.1%、「以前参加していた」が6.4%となっています。



■ 年齢クロス

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「参加していない」が低くなっています。80～84歳では「参加している」、85歳以上では「以前参加していた」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

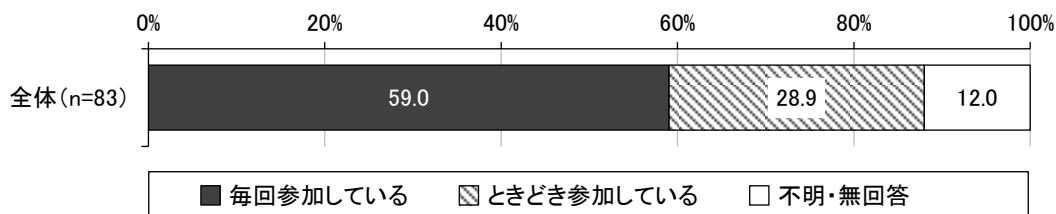


【問 11（2）で「参加している」と回答した方への質問】

（2）①参加している頻度を教えてください（〇は1つ）

※複数の事業に参加している場合は平均で回答してください

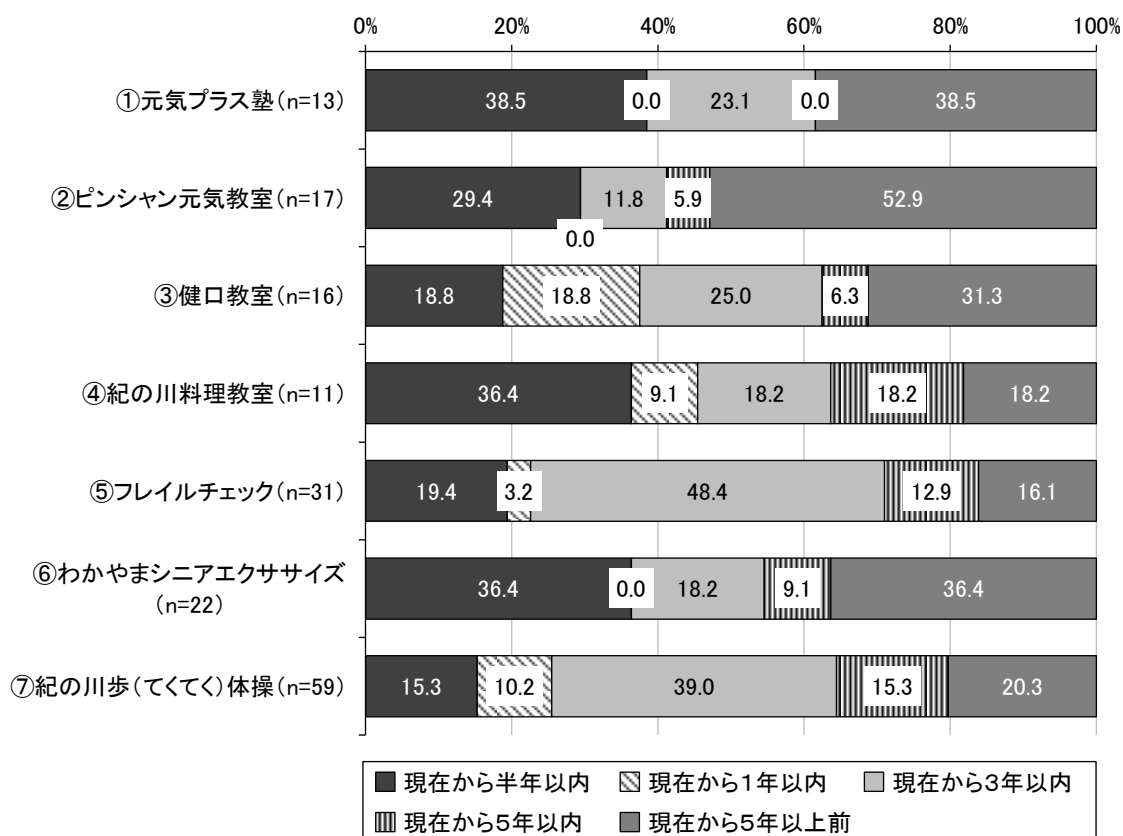
参加している頻度についてみると、「毎回参加している」が 59.0%、「ときどき参加している」が 28.9% となっています。



【問 11（2）で「参加している」と回答した方への質問】

（2）②各事業への参加時期を教えてください（①～⑦のそれぞれについて、〇は1つ）

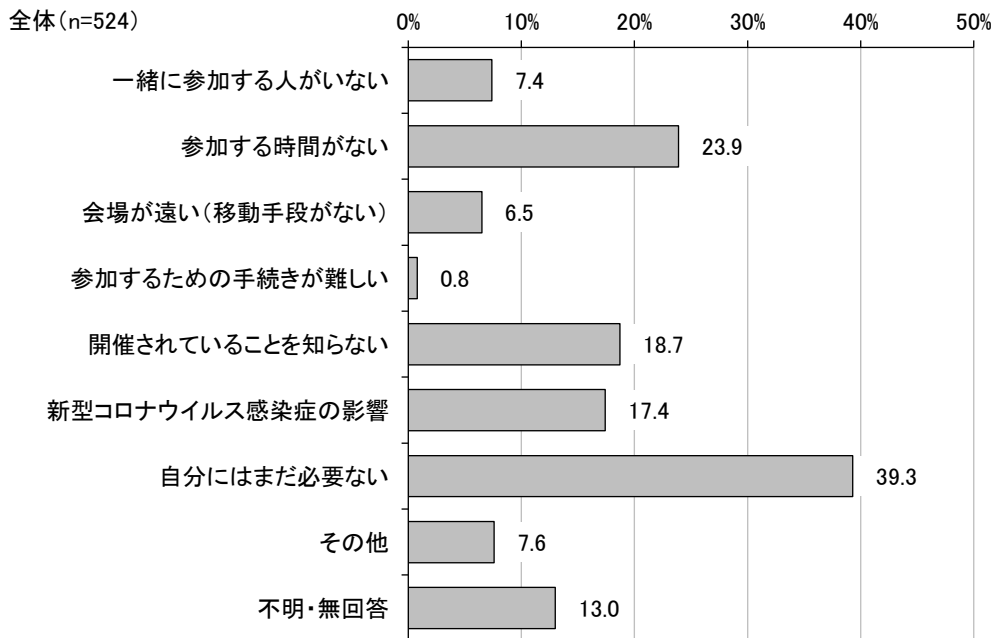
各事業への参加時期についてみると、〔①元気プラス塾〕〔⑥わかやまシニアエクササイズ〕では「現在から半年以内」「現在から5年以上前」、〔②ピンシャン元気教室〕〔③健口教室〕では「現在から5年以上前」、〔④紀の川料理教室〕では「現在から半年以内」、〔⑤フレイルチェック〕〔⑦紀の川歩（てくてく）体操〕では「現在から3年以内」が最も高くなっています。



【問 11（2）で「参加していない」「以前参加していた」と回答した方への質問】

（2）③参加していない理由を教えてください（いくつでも）

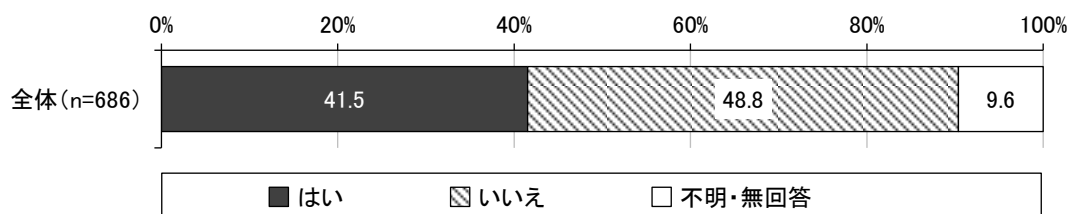
参加していない理由についてみると、「自分にはまだ必要ない」が 39.3%と最も高く、次いで「参加する時間がない」が 23.9%、「開催されていることを知らない」が 18.7%となっています。



問 12 終末期における医療・療養について

(1) 人生の最終段階における医療・療養について、どのような医療や療養を受けたいか、考えたことがありますか (○は1つ)

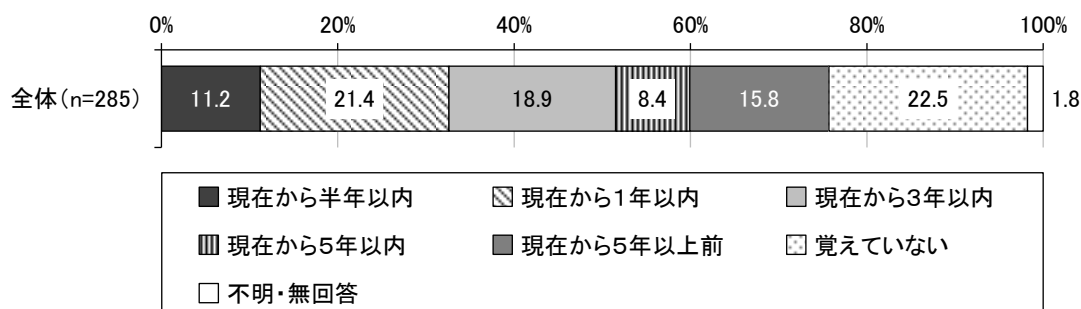
人生の最終段階における医療・療養について、どのような医療や療養を受けたいか、考えたことがあるかについてみると、「はい」が41.5%、「いいえ」が48.8%となっています。



【問 12 (1) で「はい」と回答した方への質問】

(1) ①いつから考え始めましたか (○は1つ)

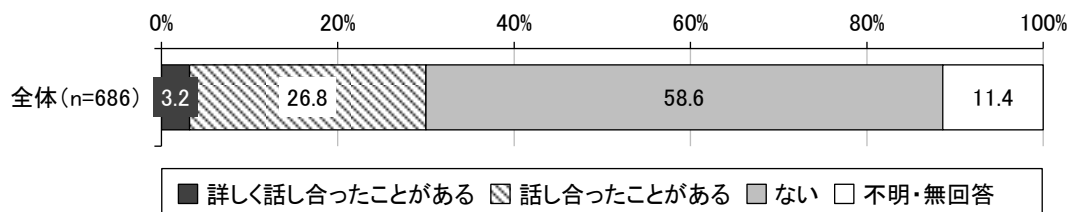
考え始めた時期についてみると、「覚えていない」が22.5%と最も高く、次いで「現在から1年以内」が21.4%、「現在から3年以内」が18.9%となっています。



(2) ご家族などや医療介護の関係者と、受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について話し合ったことがありますか (○は1つ)

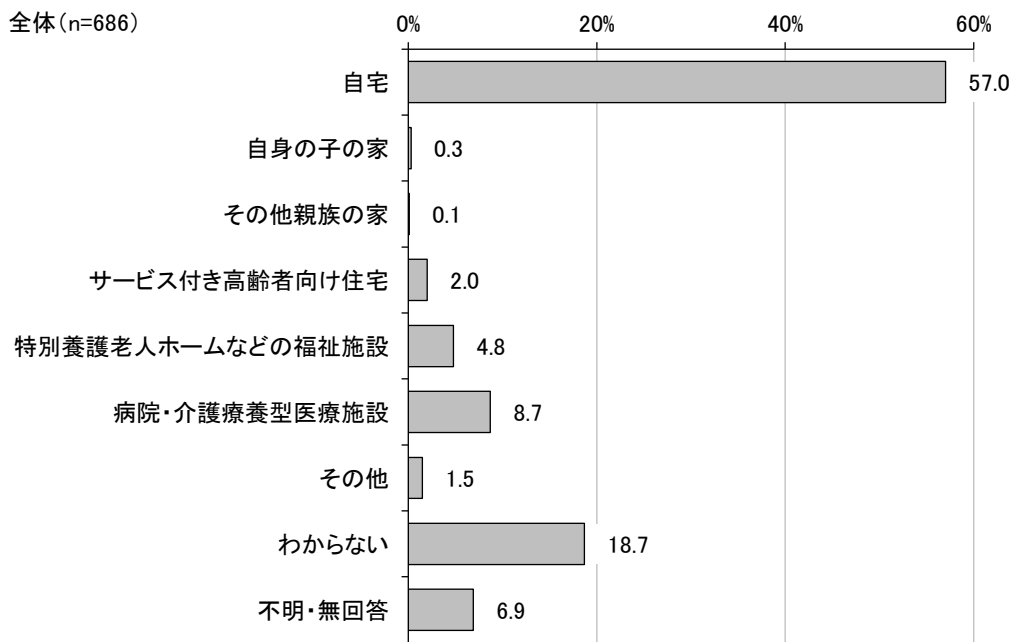
※「ご家族など」の中には、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人 (友人・知人) を含みます

家族などや医療介護の関係者と、受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について話し合ったことがあるかについてみると、「ない」が58.6%と最も高く、次いで「話し合ったことがある」が26.8%、「詳しく話し合ったことがある」が3.2%となっています。



(3) あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと考えていますか (〇は1つ)

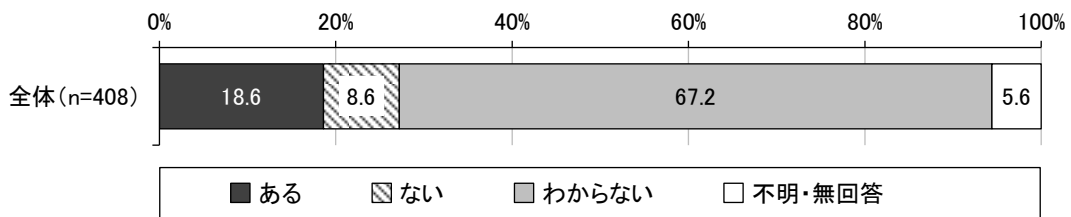
人生の最期をどこで迎えたいと考えているかについてみると、「自宅」が 57.0%と最も高く、次いで「わからない」が 18.7%、「病院・介護療養型医療施設」が 8.7%となっています。



【問 12 (3) で「自宅」「自身の子の家」「その他親族の家」「サービス付き高齢者向け住宅」と回答した方への質問】

(3) ①在宅で最期を迎えることについて、実現する見込みはありますか (〇は1つ)

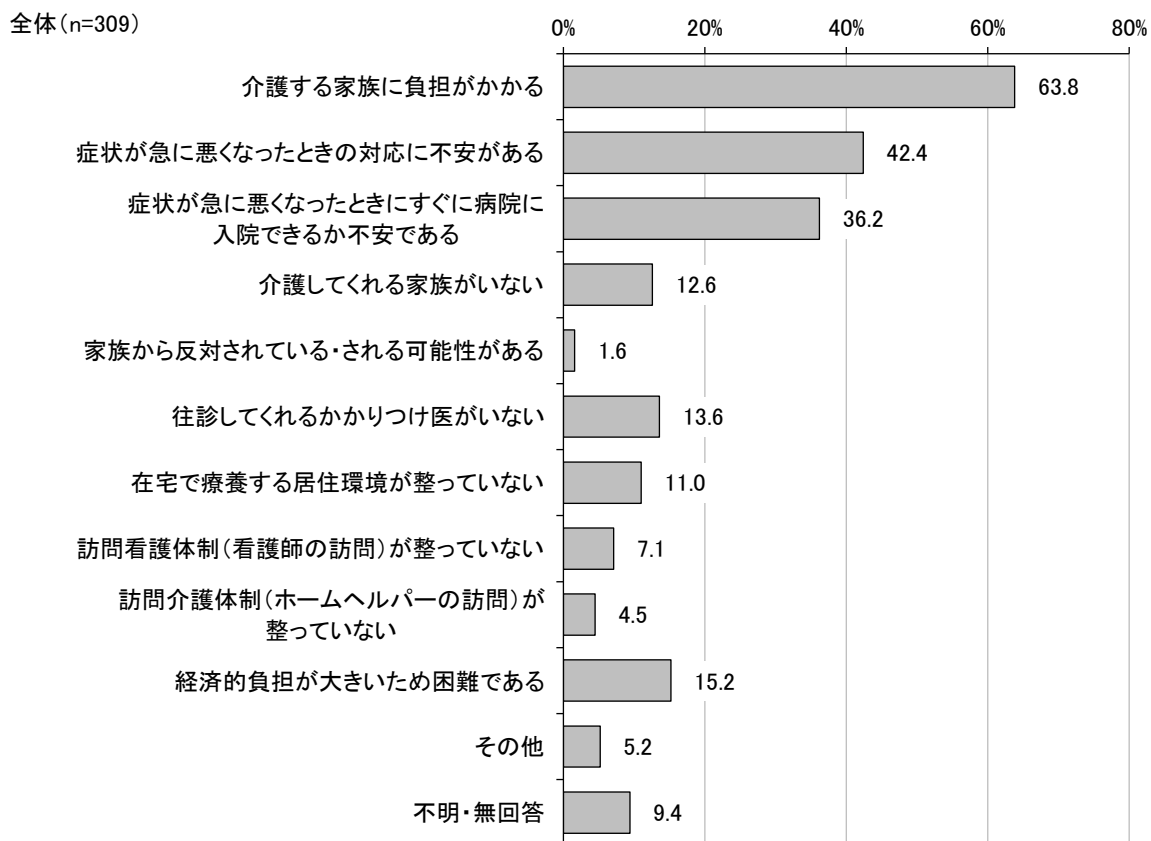
在宅で最期を迎えることについて、実現する見込みはあるかについてみると、「わからない」が 67.2%と最も高く、次いで「ある」が 18.6%、「ない」が 8.6%となっています。



【問12(3)①で「ない」「わからない」と回答した方への質問】

(3)②実現する見込みがない、またはわからない理由について教えてください(いくつでも)

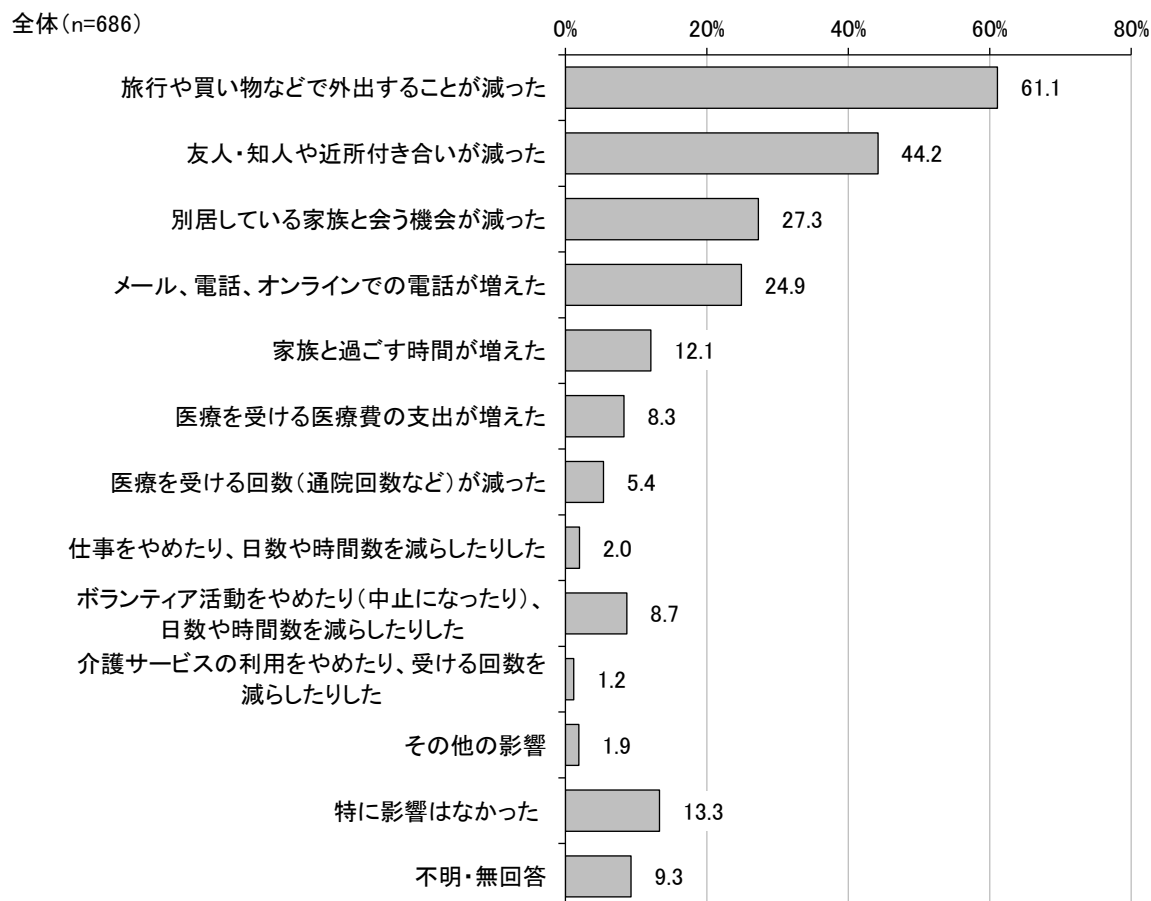
実現する見込みがない、またはわからない理由についてみると、「介護する家族に負担がかかる」が63.8%と最も高く、次いで「症状が急に悪くなったときの対応に不安がある」が42.4%、「症状が急に悪くなったときにすぐに病院に入院できるか不安である」が36.2%となっています。



問 13 新型コロナウイルス感染症について

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大による生活への影響を教えてください (いくつでも)

新型コロナウイルス感染症の拡大による生活への影響についてみると、「旅行や買い物などで外出することが減った」が 61.1%と最も高く、次いで「友人・知人や近所付き合いが減った」が 44.2%、「別居している家族と会う機会が減った」が 27.3%となっています。



2. 生活機能評価項目別の分析結果

i 要支援リスク判定

アンケート調査の回答結果に基づき、以下の7項目について、要支援となるリスクがどの程度あるかを算出しました。判定方法および判定結果は以下の通りです。

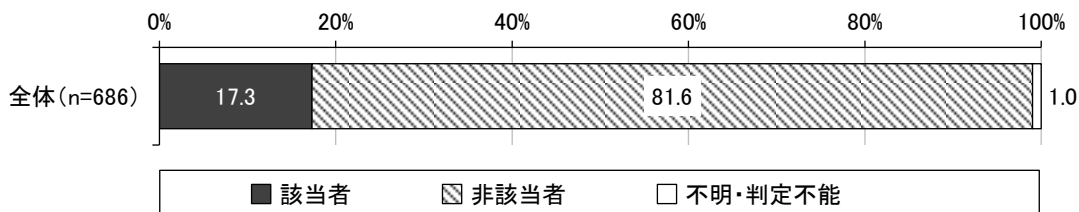
判定項目および判定方法

項目	判定の基となる設問	
(1) 運動器機能の低下	問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに上っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
	問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
	問2 (3) 15分位続けて歩いていますか	
	問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何回もある (2回以上) 2. 1回ある 3. ない
	問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
該当する選択肢 (網掛けの箇所) が3問以上回答された場合リスクあり		
(2) 転倒リスク	問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何回もある (2回以上) 2. 1回ある 3. ない
	該当する選択肢 (網掛けの箇所) が回答された場合リスクあり	
(3) 閉じこもり傾向	問2 (6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
	該当する選択肢 (網掛けの箇所) が回答された場合リスクあり	
(4) 低栄養状態	問3 (1) BMI (身長・体重より算出)	1. BMI18.5未満 2. BMI18.5以上
	問3 (7) この6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ
該当する選択肢 (網掛けの箇所) が2問とも回答された場合リスクあり		
(5) 口腔機能の低下	問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
	問3 (3) お茶や汁物などでむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
	問3 (4) 口の渇きが気になりますか	
該当する選択肢 (網掛けの箇所) が2問以上回答された場合リスクあり		
(6) 認知機能の低下	問4 (1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ
	該当する選択肢 (網掛けの箇所) が回答された場合リスクあり	
(7) うつ傾向	問7 (4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	
	問7 (5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ
該当する選択肢 (網掛けの箇所) が1問以上回答された場合リスクあり		

次に、各項目の判定状況を算出しています。

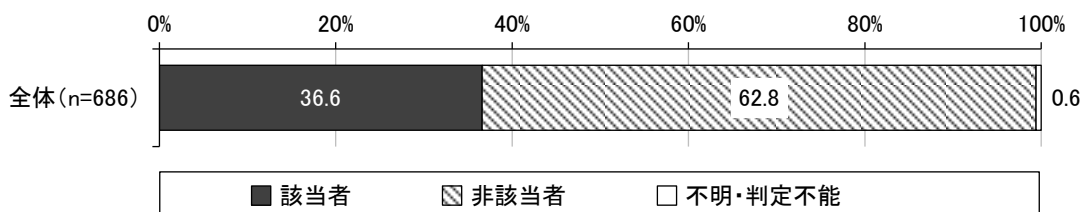
(1) 運動器機能の低下

運動器機能の低下についてみると、「該当者」が17.3%、「非該当者」が81.6%となっています。



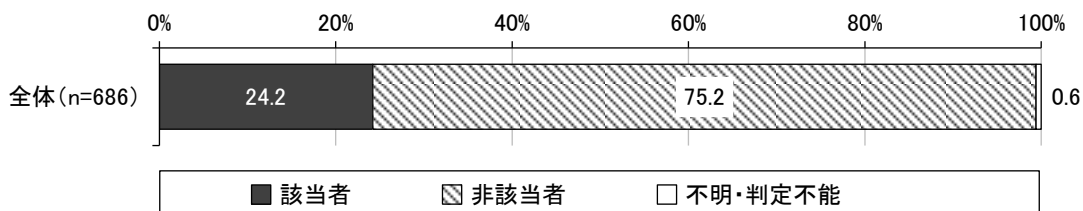
(2) 転倒リスク

転倒リスクについてみると、「該当者」が36.6%、「非該当者」が62.8%となっています。



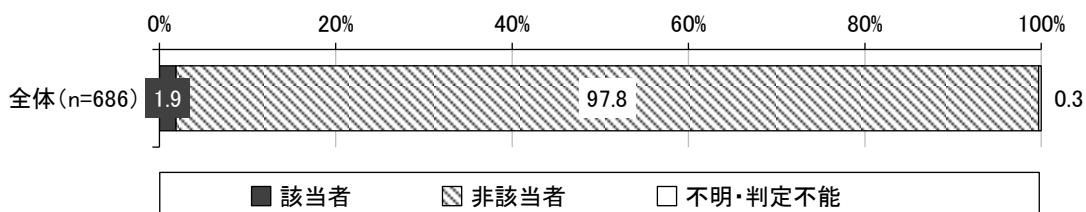
(3) 閉じこもり傾向

閉じこもり傾向についてみると、「該当者」が24.2%、「非該当者」が75.2%となっています。



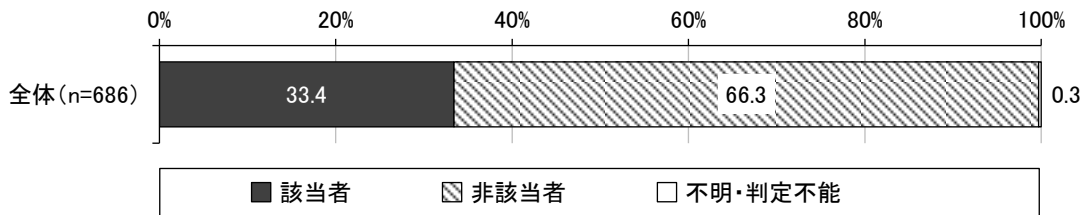
(4) 低栄養状態

低栄養状態についてみると、「該当者」が1.9%、「非該当者」が97.8%となっています。



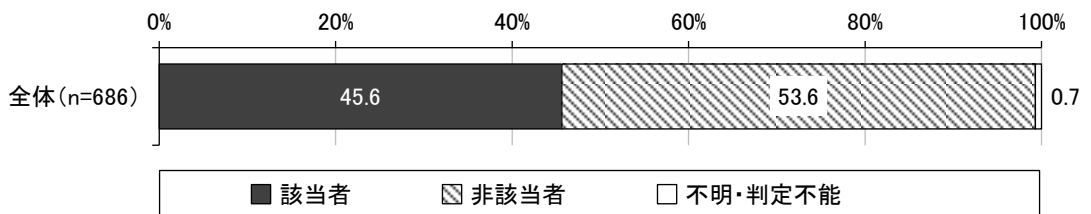
(5) 口腔機能の低下

口腔機能の低下についてみると、「該当者」が 33.4%、「非該当者」が 66.3%となっています。



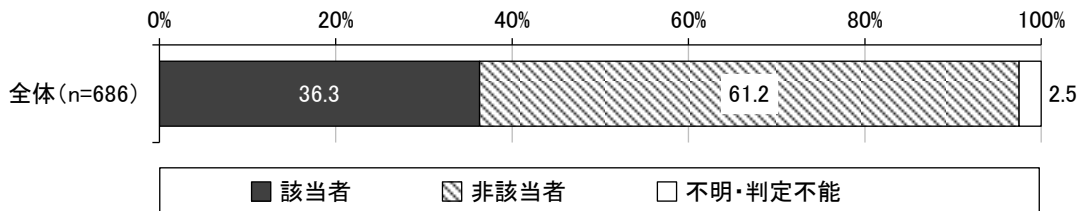
(6) 認知機能の低下

認知機能の低下についてみると、「該当者」が 45.6%、「非該当者」が 53.6%となっています。



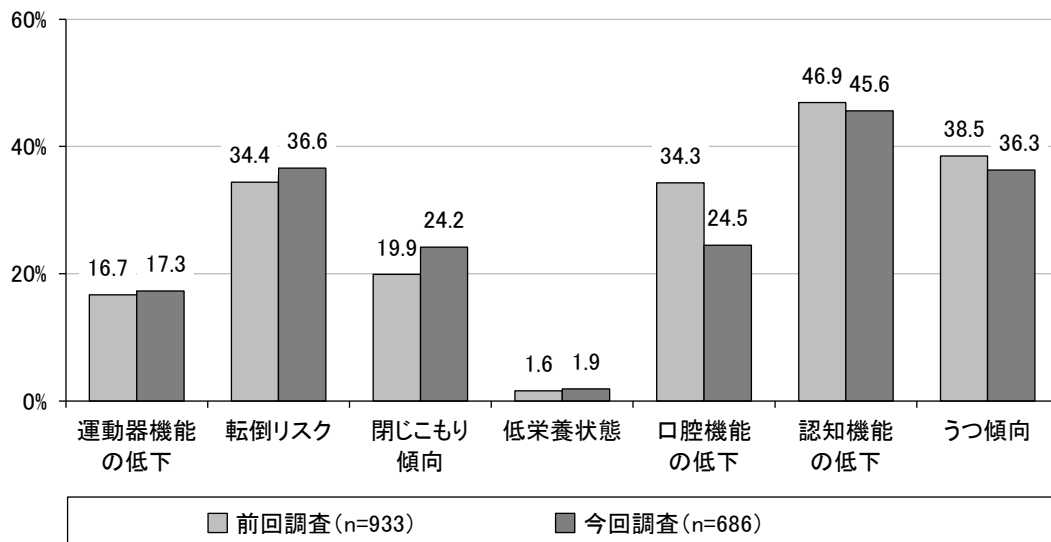
(7) うつ傾向

うつ傾向についてみると、「該当者」が 36.3%、「非該当者」が 61.2%となっています。



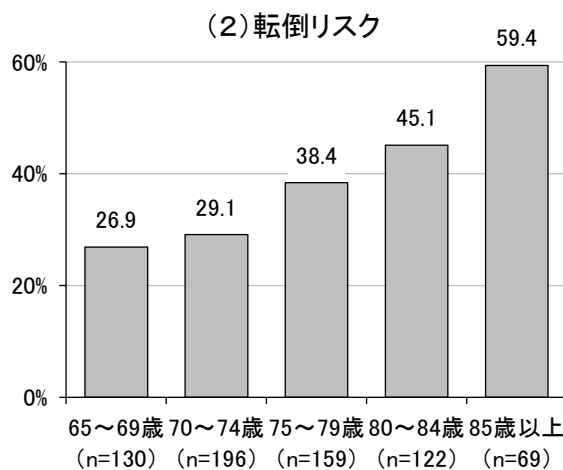
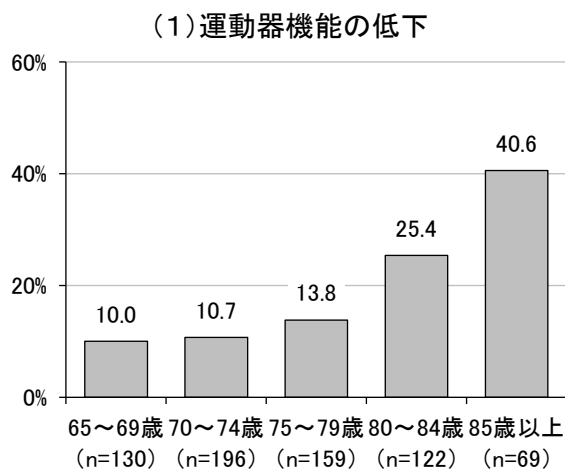
■ 経年比較

リスク判定7項目について前回と比較すると、該当者の割合は「口腔機能の低下」で9.8ポイント減少し、「閉じこもり傾向」で4.3ポイント増加しています。その他の項目では大きな増減はありませんでした。

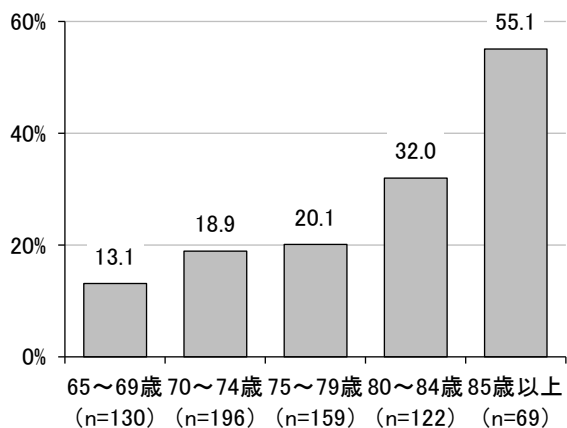


■ 年齢クロス

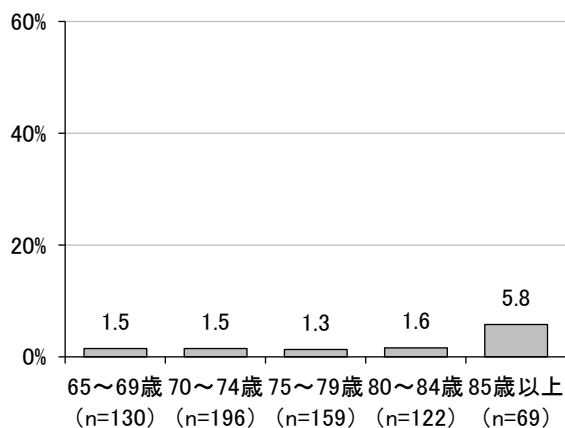
7項目の発生リスクについて、年齢別にみると該当者の割合は、(1)運動器機能の低下～(3)閉じこもり傾向、(5)口腔機能の低下、(6)認知機能の低下では、概ね年齢が上がるにつれて高くなっています。(4)低栄養状態では65～84歳では同程度となっていますが、85歳以上ではやや増加し5.8%となっています。(7)うつ傾向は、70～74歳では28.1%と他の年齢と比べて低くなっています。



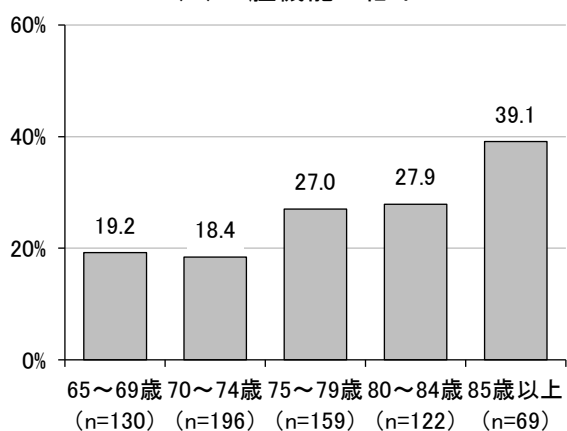
(3) 閉じこもり傾向



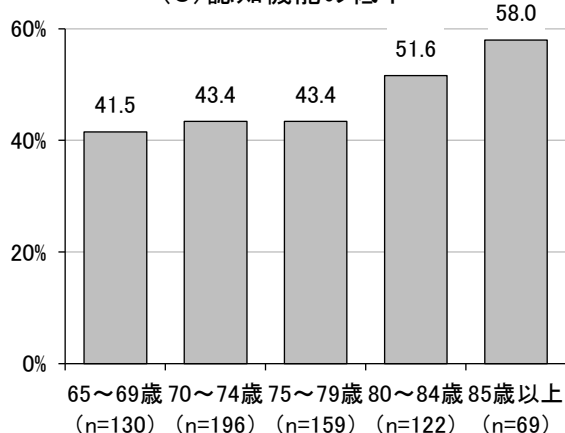
(4) 低栄養状態



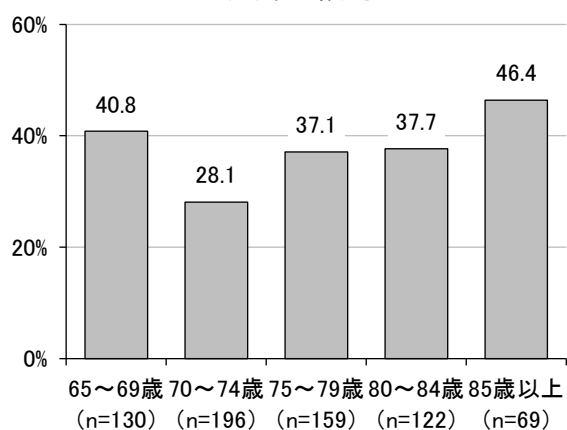
(5) 口腔機能の低下



(6) 認知機能の低下



(7) うつ傾向



ii 老研式活動能力指標による評価

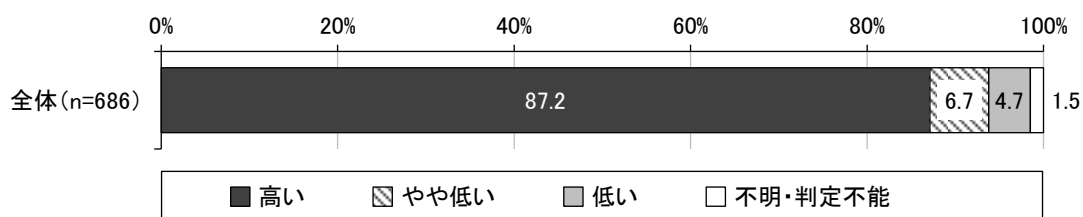
(1) IADL (手段的日常生活動作: instrumental activities of dairy living scale)

IADLの低下について、以下の表の通り判定を進めました。該当する選択肢(表の網掛け箇所)が回答された場合は1点と数え、合計が5点でIADLが「高い」、4点で「やや低い」、0～3点で「低い」と判定されます。

設問内容	選択肢
問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか	
問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか	
問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	

判定結果

IADL (手段的日常生活動作)についてみると、「高い」が87.2%と最も高く、次いで「やや低い」が6.7%、「低い」が4.7%となっています。



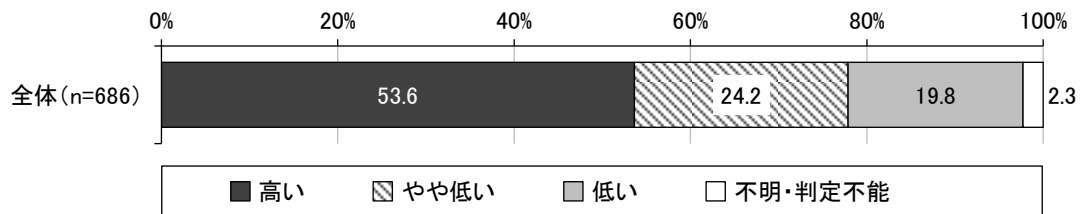
(2) 知的能動性

知的能動性について、以下の表の通り判定を進めました。該当する選択肢（表の網掛け箇所）が回答された場合は1点と数え、合計が4点で知的能動性が「高い」、3点で「やや低い」、0～2点で「低い」と判定されます。

設問内容	選択肢
問4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 2. いいえ
問4 (10) 新聞を読んでいますか	
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか	
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	

判定結果

知的能動性についてみると、「高い」が53.6%と最も高く、次いで「やや低い」が24.2%、「低い」が19.8%となっています。



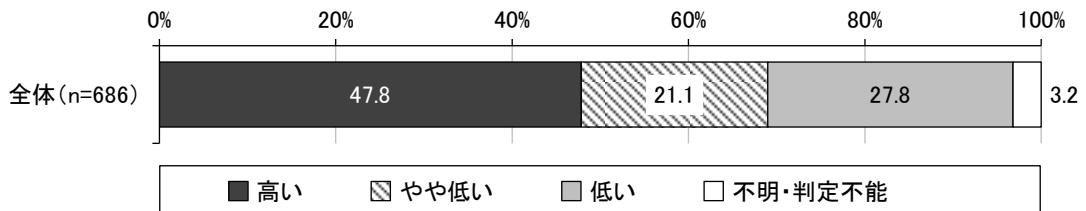
(3) 社会的役割

社会的役割について、以下の表の通り判定を進めました。該当する選択肢（表の網掛け箇所）が回答された場合は1点と数え、合計が4点で社会的役割が「高い」、3点で「やや低い」、0～2点で「低い」と判定されます。

設問内容	選択肢
問4 (13) 友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ
問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか	
問4 (15) 病人を見舞うことができますか	
問4 (17) 若い人に自分から話しかけることがありますか	

判定結果

社会的役割についてみると、「高い」が47.8%と最も高く、次いで「やや低い」が21.1%、「低い」が27.8%となっています。

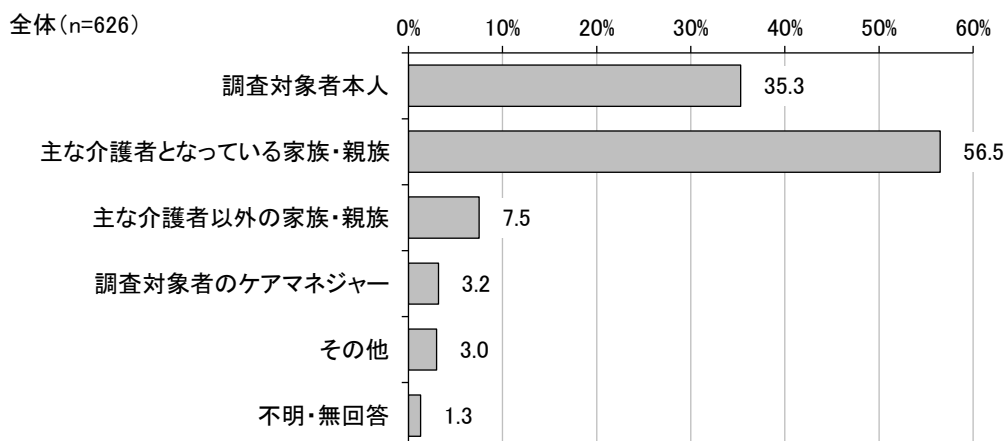


3. 在宅介護実態調査

A票 調査対象者様ご本人について

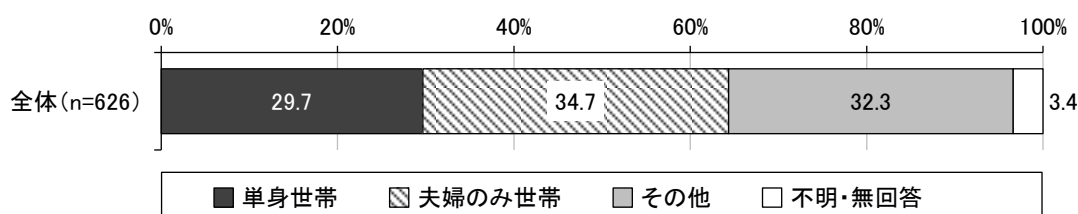
問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか（いくつでも）

調査票の回答者についてみると、「主な介護者となっている家族・親族」が56.5%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が35.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が7.5%となっています。



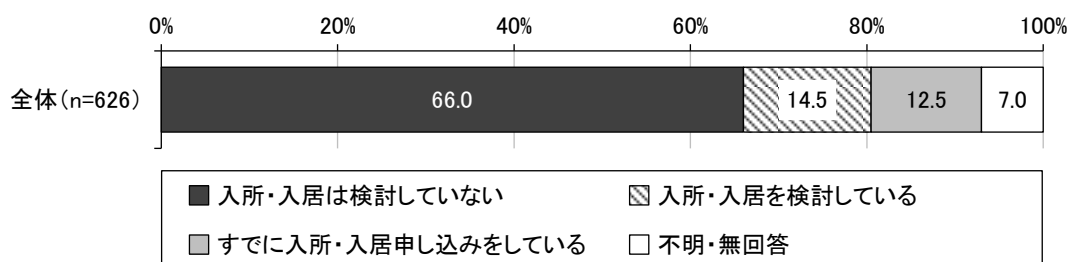
問2 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

世帯類型についてみると、「単身世帯」が29.7%、「夫婦のみ世帯」が34.7%、「その他」が32.3%となっています。



問3 現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

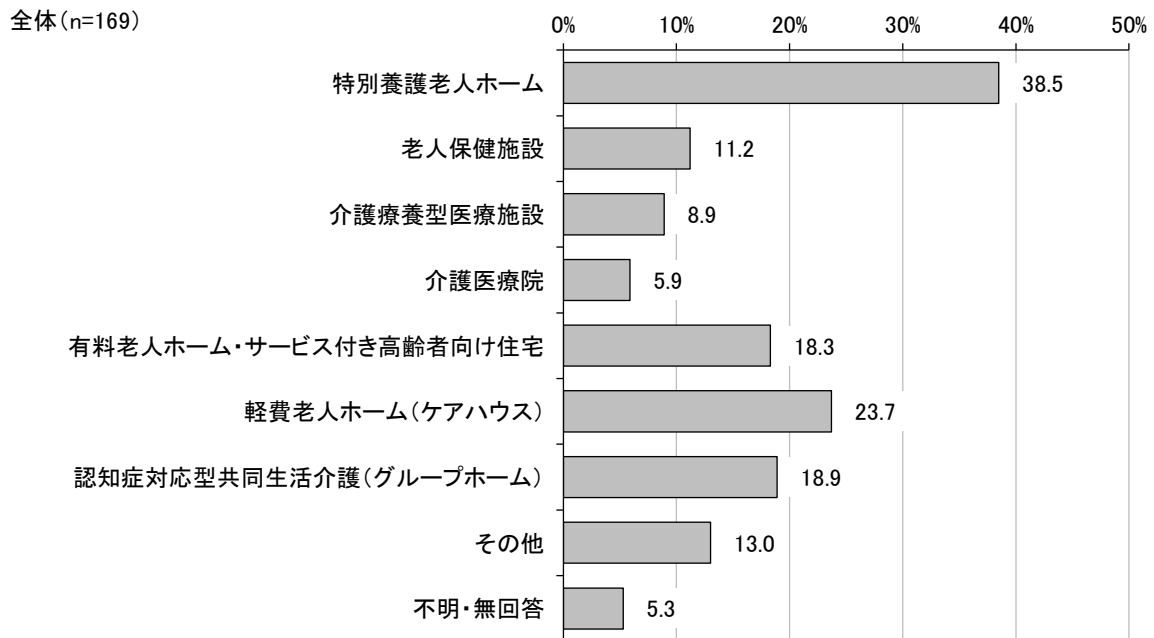
現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況についてみると、「入所・入居は検討していない」が66.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が12.5%となっています。



【施設入所あるいは入居を希望される方への質問】

問4 どのような施設を希望しますか（いくつでも）

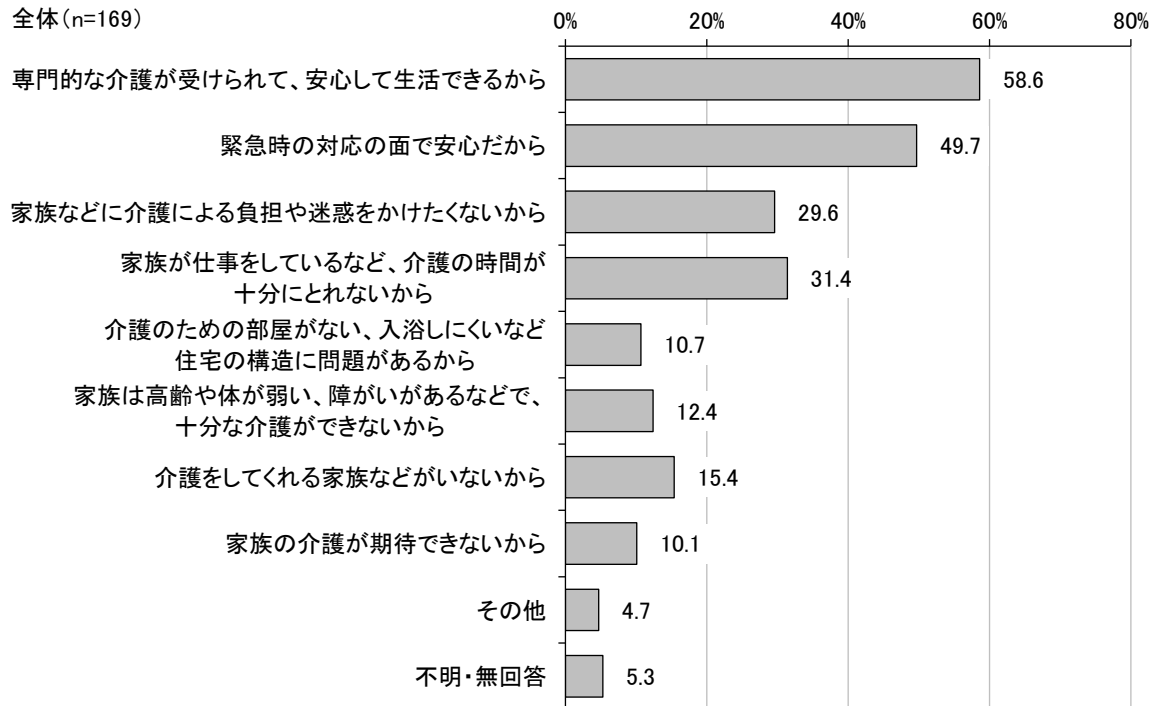
希望する施設についてみると、「特別養護老人ホーム」が38.5%と最も高く、次いで「軽費老人ホーム（ケアハウス）」が23.7%、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が18.9%となっています。



【施設入所あるいは入居を希望される方への質問】

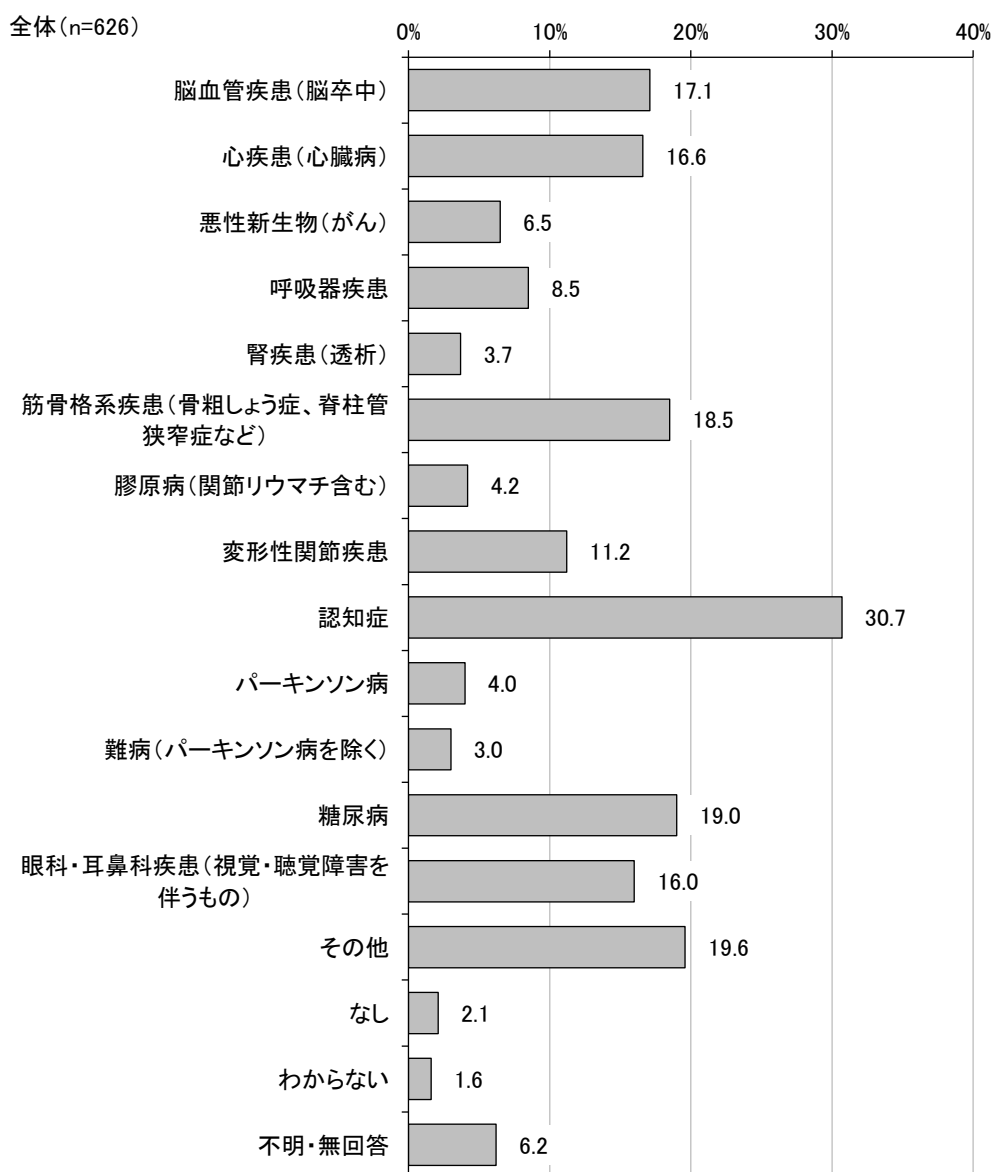
問5 あなたが施設での介護を希望される主な理由は、次のうちどれですか（○は3つまで）

施設での介護を希望する主な理由についてみると、「専門的な介護が受けられて、安心して生活できるから」が58.6%と最も高く、次いで「緊急時の対応の面で安心だから」が49.7%、「家族が仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから」が31.4%となっています。



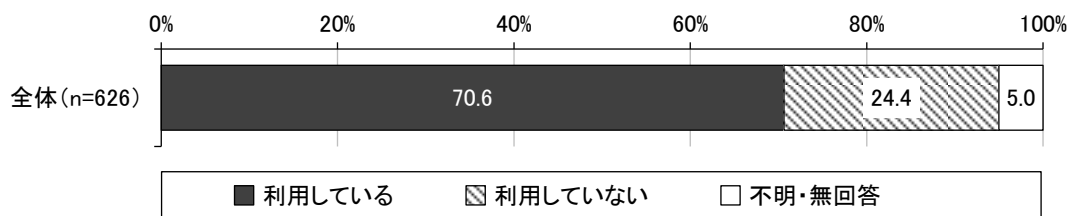
問6 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

本人（調査対象者）が現在抱えている傷病についてみると、「認知症」が30.7%と最も高く、次いで「糖尿病」が19.0%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など）」が18.5%となっています。



問7 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか
(○は1つ)

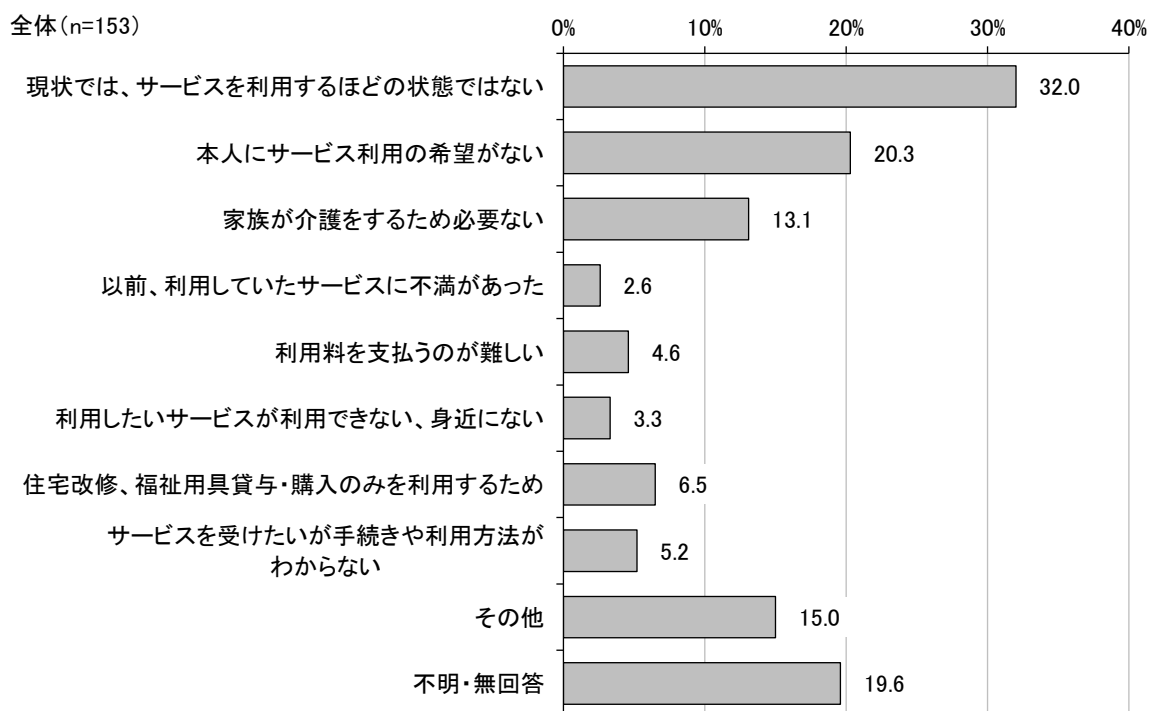
現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しているかについてみると、「利用している」が70.6%、「利用していない」が24.4%となっています。



【問7で「利用していない」と回答した方への質問】

問8 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (いくつでも)

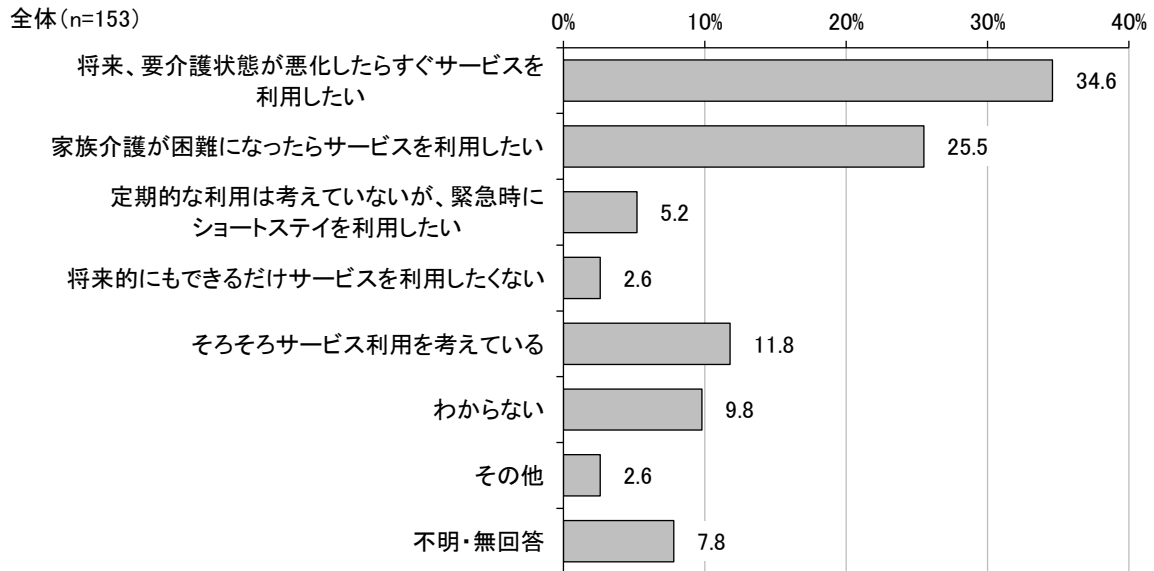
介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が32.0%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が20.3%、「家族が介護をするため必要ない」が13.1%となっています。



【問7で「利用していない」と回答した方への質問】

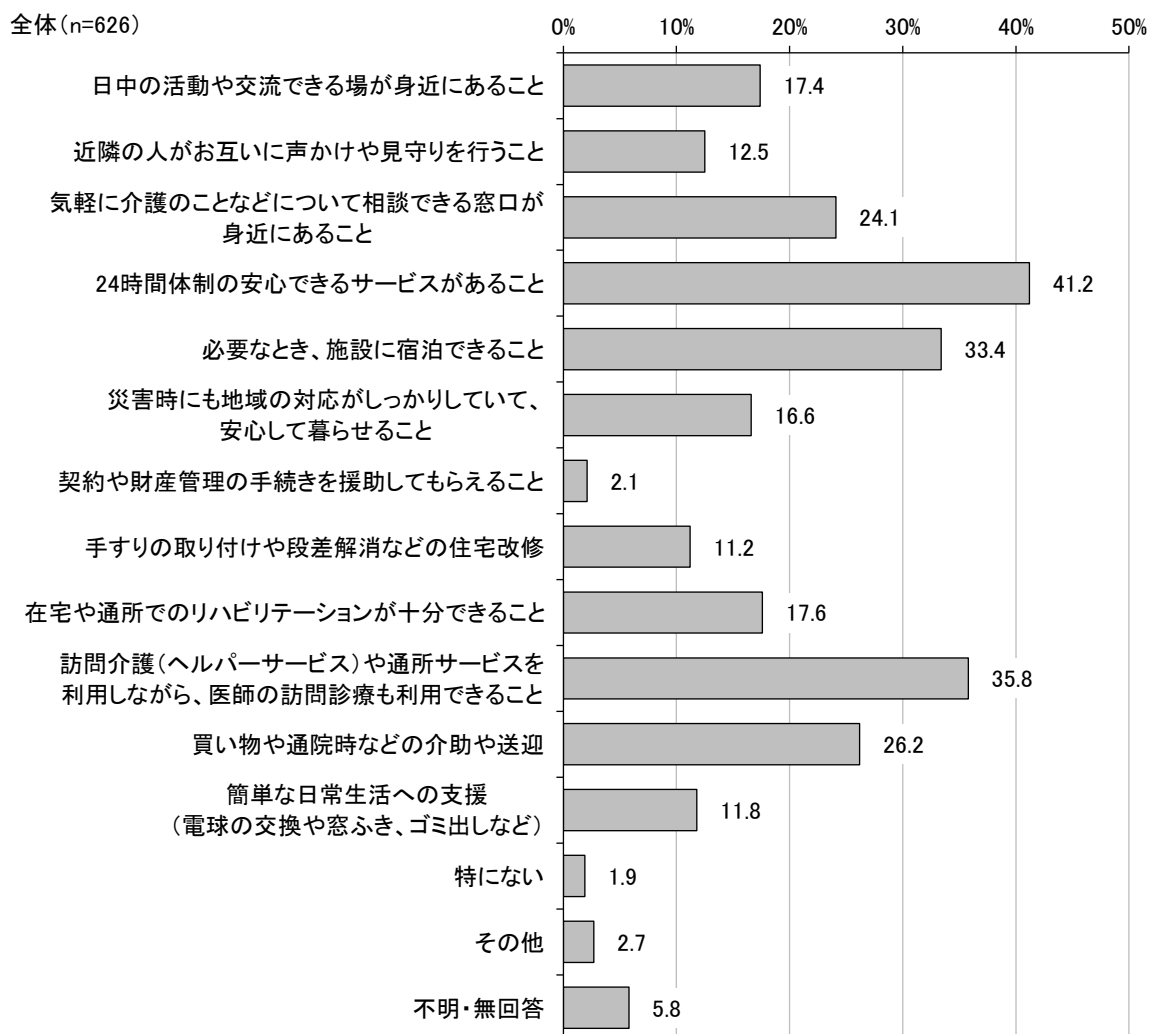
問9 今後の介護保険サービスの利用について、どのようにお考えですか（○は1つ）

今後の介護保険サービスの利用に対する考えについてみると、「将来、要介護状態が悪化したらすぐサービスを利用したい」が34.6%と最も高く、次いで「家族介護が困難になったらサービスを利用したい」が25.5%、「そろそろサービス利用を考えている」が11.8%となっています。



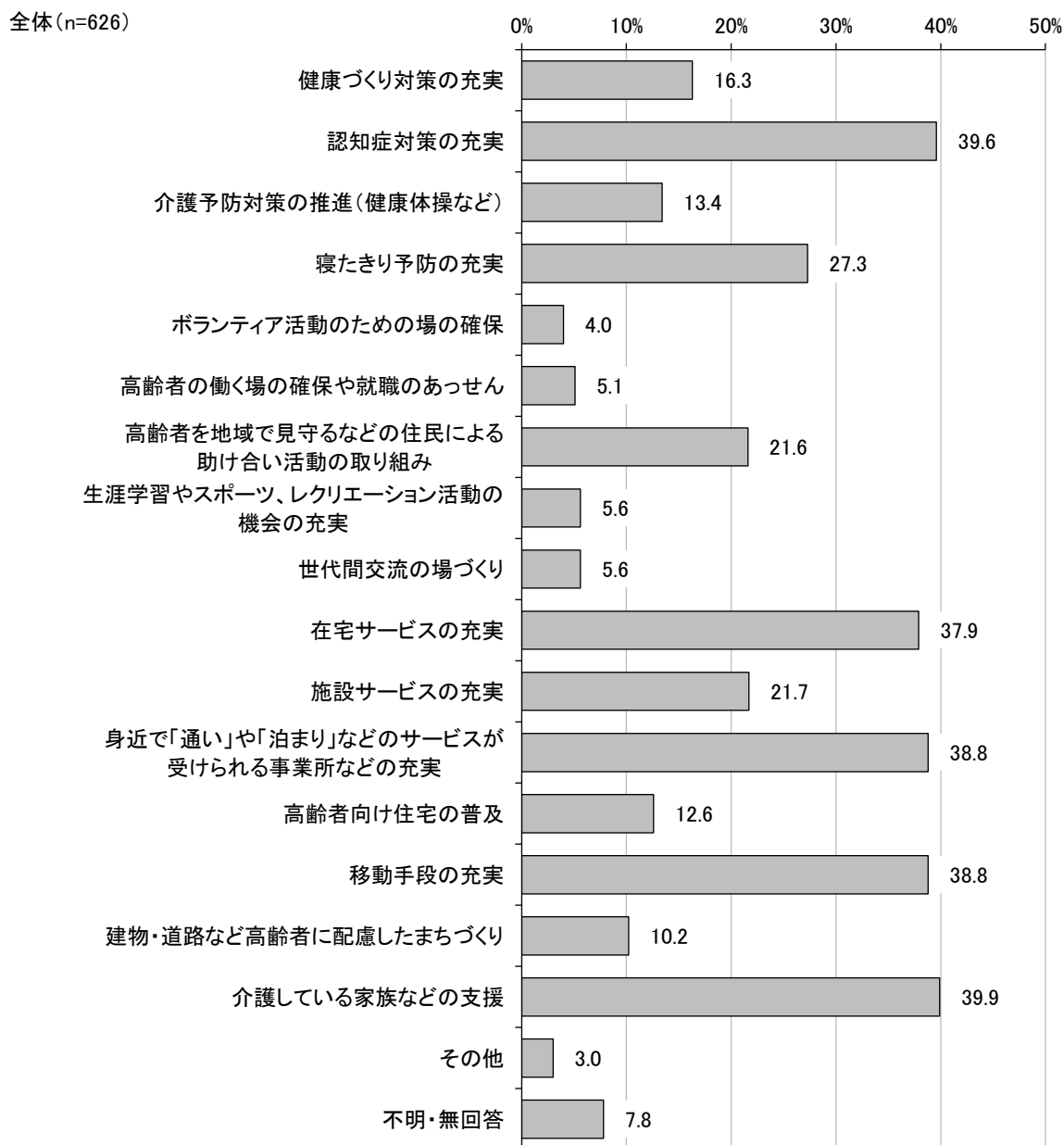
問 10 高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか（〇は3つまで）

高齢者に対してどのような支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができるかについてみると、「24時間体制の安心できるサービスがあること」が41.2%と最も高く、次いで「訪問介護（ヘルパーサービス）や通所サービスを利用しながら、医師の訪問診療も利用できること」が35.8%、「必要なとき、施設に宿泊できること」が33.4%となっています。



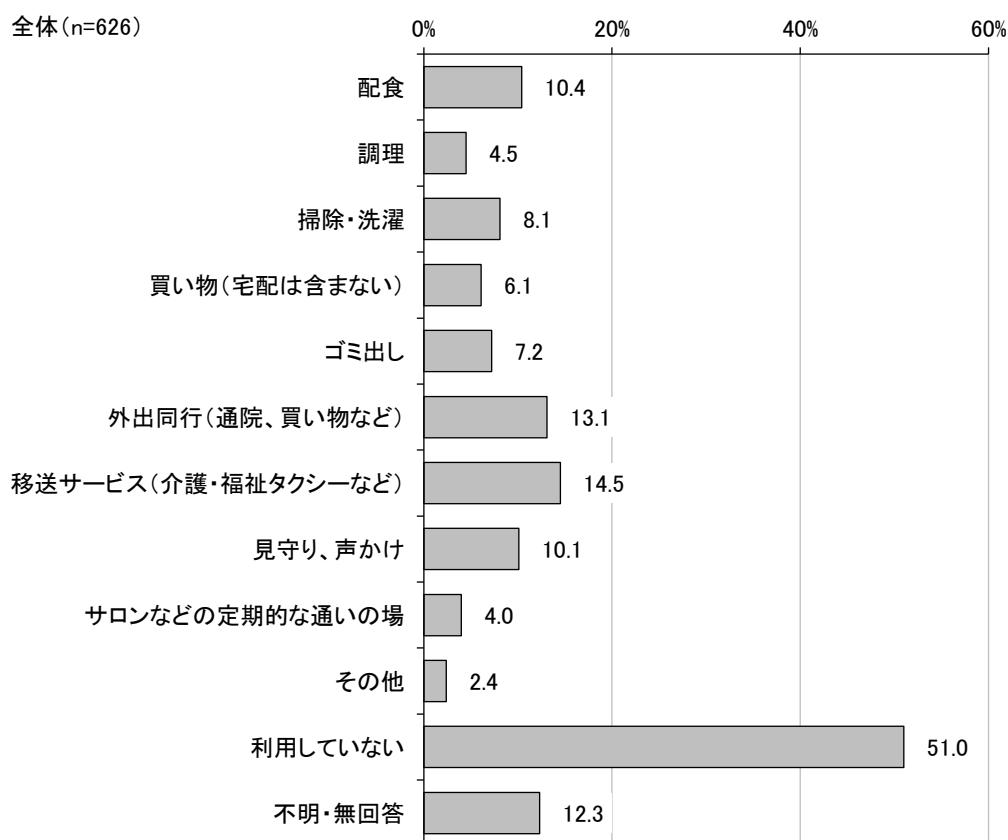
問 11 高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要とお考えですか（いくつでも）

高齢者福祉について、今後どのような施策の拡充が重要かについてみると、「介護している家族などの支援」が 39.9%と最も高く、次いで「認知症対策の充実」が 39.6%、「身近で『通い』や『泊まり』などのサービスが受けられる事業所などの充実」「移動手段の充実」がともに 38.8%となっています。



問 12 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてご回答ください
(いくつでも)

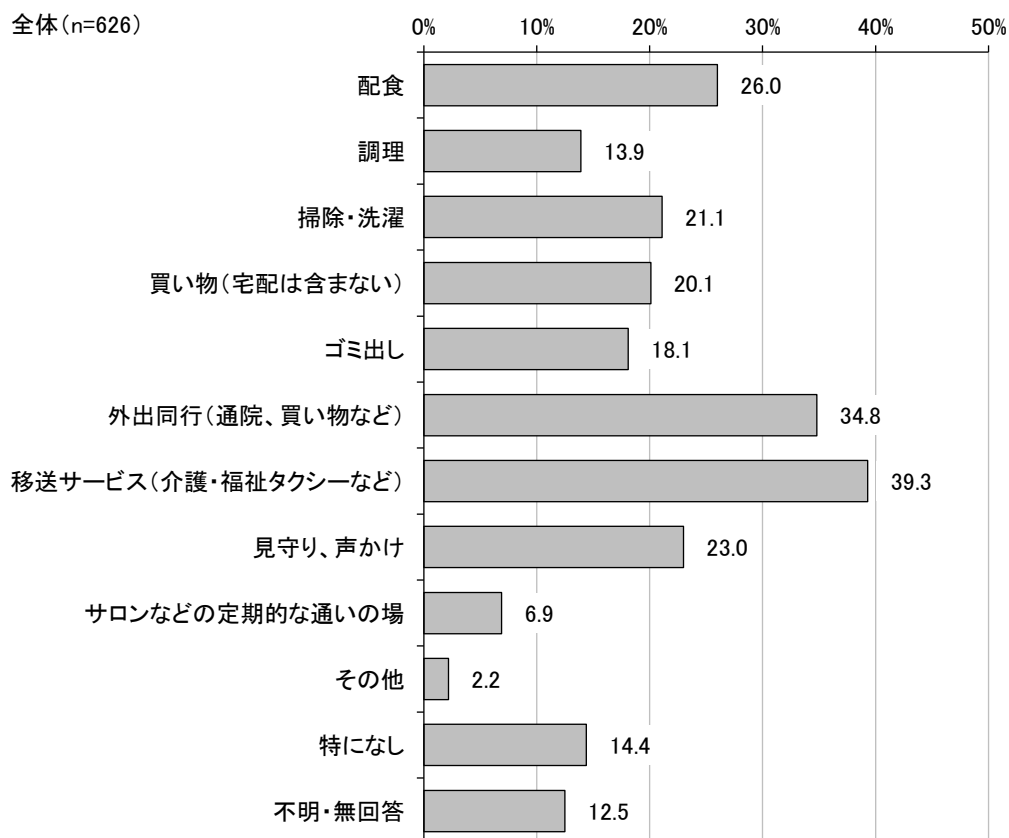
現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「利用していない」が51.0%と最も高くなっています。また、利用している支援・サービスについてみると、「移送サービス(介護・福祉タクシーなど)」が14.5%、「外出同行(通院、買い物など)」が13.1%、「配食」が10.4%となっています。



問 13 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含む

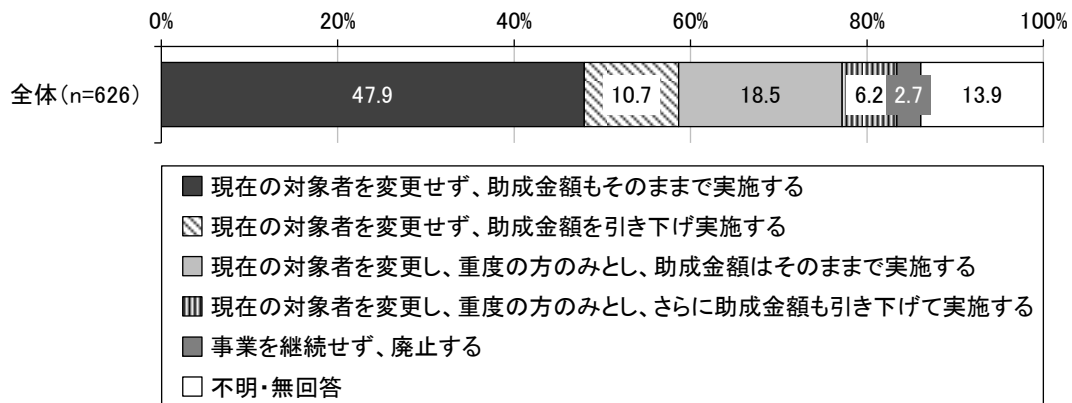
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が 39.3%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 34.8%、「配食」が 26.0%となっています。



問 14 現在、対象者に紙おむつ購入費用の助成を行っていますが、令和5年度でその財源が廃止となります。令和6年度以降の事業のあり方についてどのように思われますか（○は1つ）

※「現在の対象者を変更せず、助成金額もそのまま実施する」場合、所得段階第5段階（基準額）の方で介護保険料が年間1,000円程度上昇します。それ以外の場合、介護保険料の上昇はやや抑えられます。

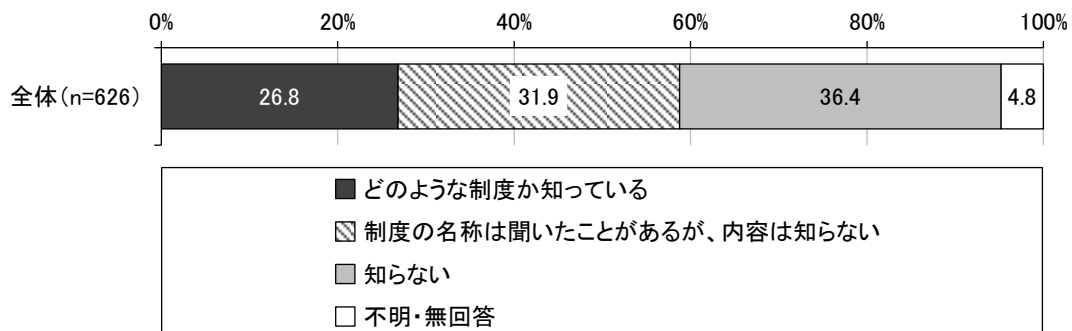
令和6年度以降の紙おむつ購入費用の助成事業のあり方についてどのように思うかについてみると、「現在の対象者を変更せず、助成金額もそのまま実施する」が47.9%と最も高く、次いで「現在の対象者を変更し、重度の方のみとし、助成金額はそのまま実施する」が18.5%、「現在の対象者を変更せず、助成金額を引き下げ実施する」が10.7%となっています。



※現在の対象者：要介護1から5、重度の方：要介護3から5

問 15 成年後見制度を知っていますか（○は1つ）

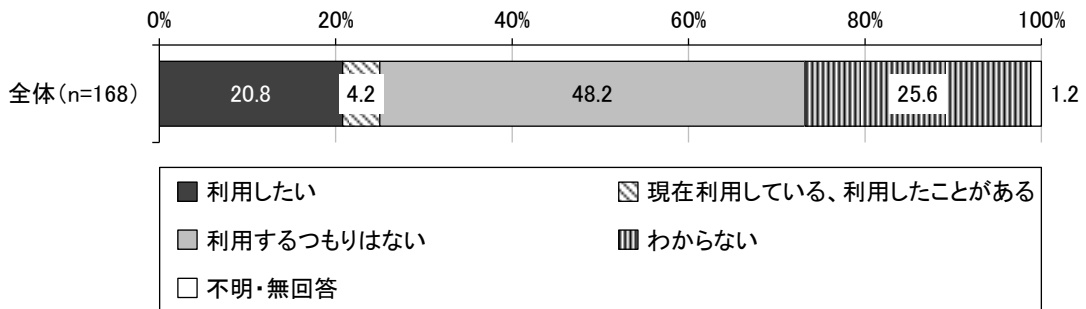
成年後見制度を知っているかについてみると、「知らない」が36.4%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が31.9%、「どのような制度か知っている」が26.8%となっています。



【問 15 で「どのような制度か知っている」と回答した方への質問】

問 16 今後あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思いますか（○は1つ）

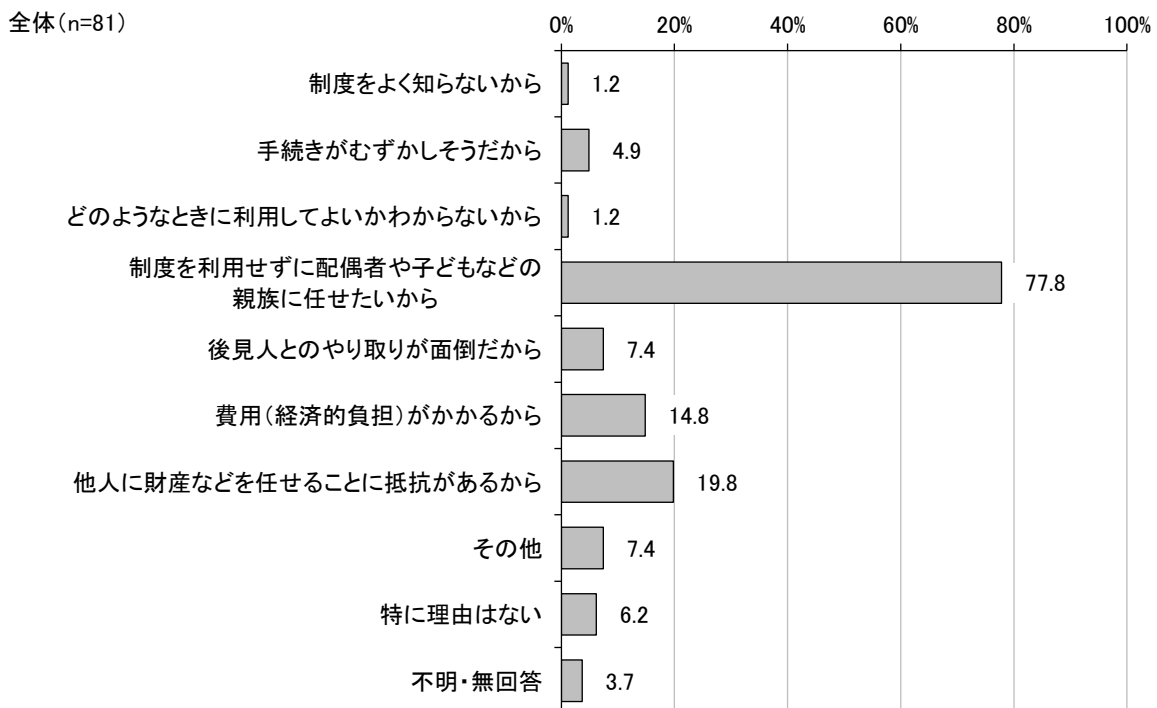
今後自身や家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思うかについてみると、「利用するつもりはない」が48.2%と最も高く、次いで「わからない」が25.6%、「利用したい」が20.8%となっています。



【問 16 で「利用するつもりはない」と回答した方への質問】

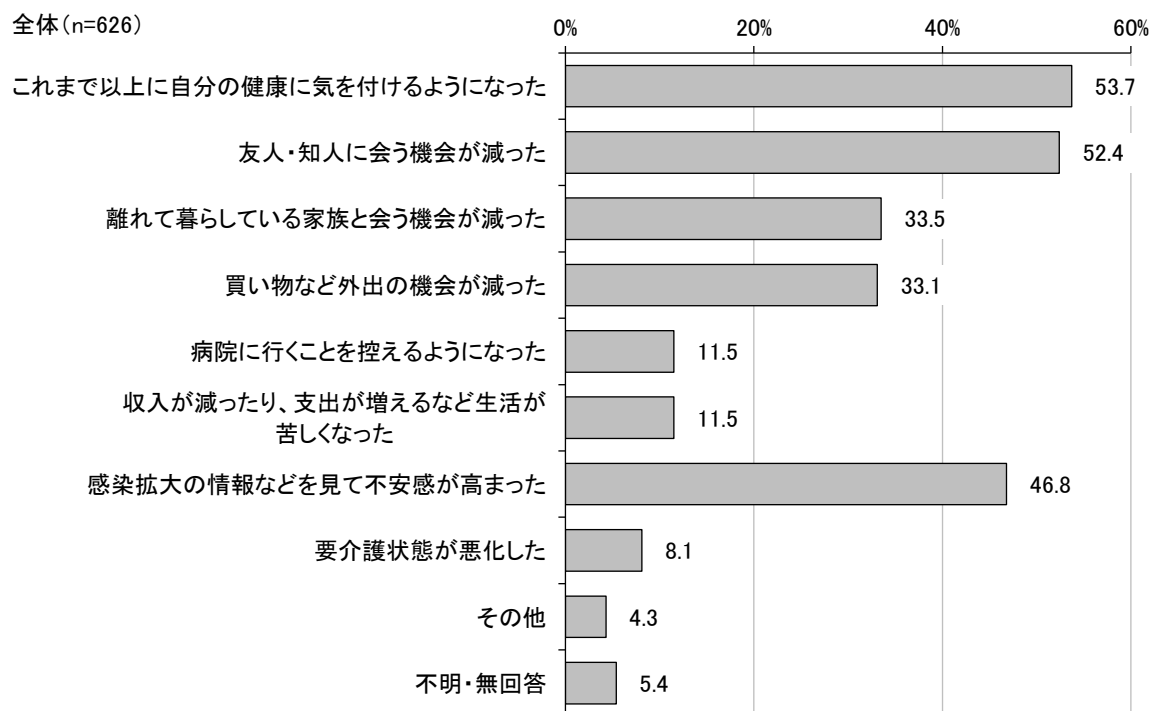
問 17 成年後見制度の利用を考えていない理由は何ですか（いくつでも）

成年後見制度の利用を考えていない理由についてみると、「制度を利用せずに配偶者や子どもなどの親族に任せたいから」が77.8%と最も高く、次いで「他人に財産などを任せることに抵抗があるから」が19.8%、「費用（経済的負担）がかかるから」が14.8%となっています。



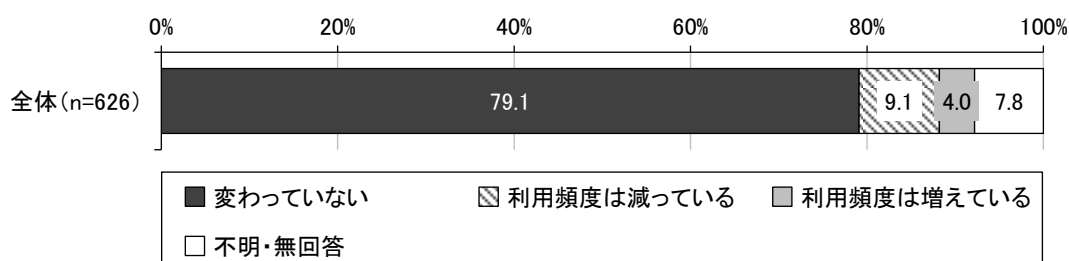
問 18 新型コロナウイルス感染症が流行して以降、あなたの生活や心身の状態はどう変わりましたか（いくつでも）

新型コロナウイルス感染症が流行して以降、自身の生活や心身の状態はどう変わったかについてみると、「これまで以上に自分の健康に気を付けるようになった」が 53.7%と最も高く、次いで「友人・知人に会う機会が減った」が 52.4%、「感染拡大の情報などを見て不安感が高まった」が 46.8%となっています。



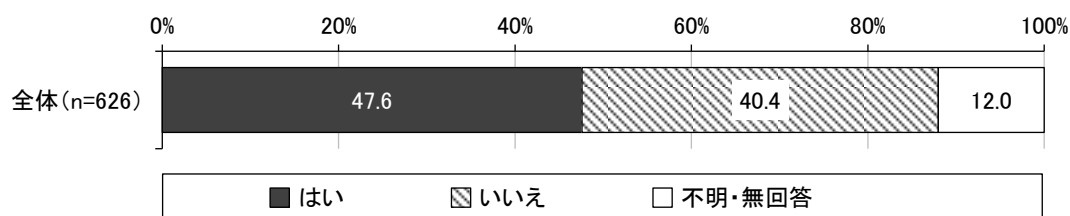
問 19 新型コロナウイルス感染症が流行して以降、介護保険サービスの利用状況に変化はありましたか（○は1つ）

新型コロナウイルス感染症が流行して以降、介護保険サービスの利用状況に変化はあったかについてみると、「変わっていない」が 79.1%と最も高く、次いで「利用頻度は減っている」が 9.1%、「利用頻度は増えている」が 4.0%となっています。



問 20 人生の最終段階における医療・療養について、どのような医療や療養を受けたいか、考えたことがありますか（○は1つ）

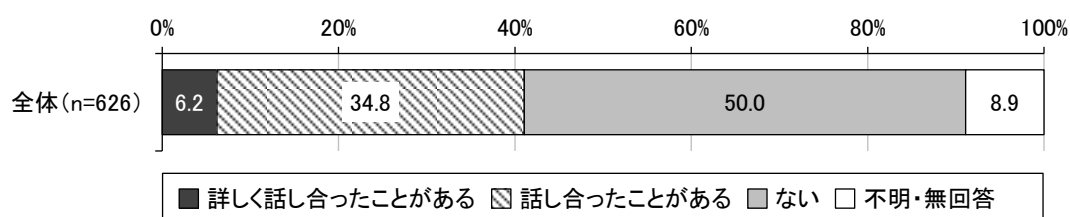
人生の最終段階における医療・療養について、どのような医療や療養を受けたいか、考えたことがあるかについてみると、「はい」が47.6%、「いいえ」が40.4%となっています。



問 21 ご家族などや医療介護の関係者と、受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について話し合ったことがありますか（○は1つ）

※「ご家族など」の中には、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人・知人）を含みます

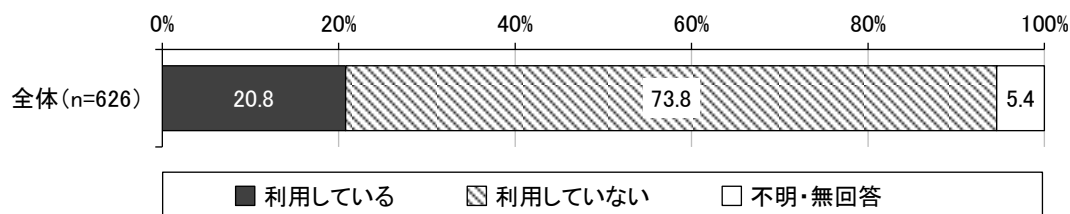
家族などや医療介護の関係者と、受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について話し合ったことがあるかについてみると、「ない」が50.0%と最も高く、次いで「話し合ったことがある」が34.8%、「詳しく話し合ったことがある」が6.2%となっています。



問 22 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導などは含みません

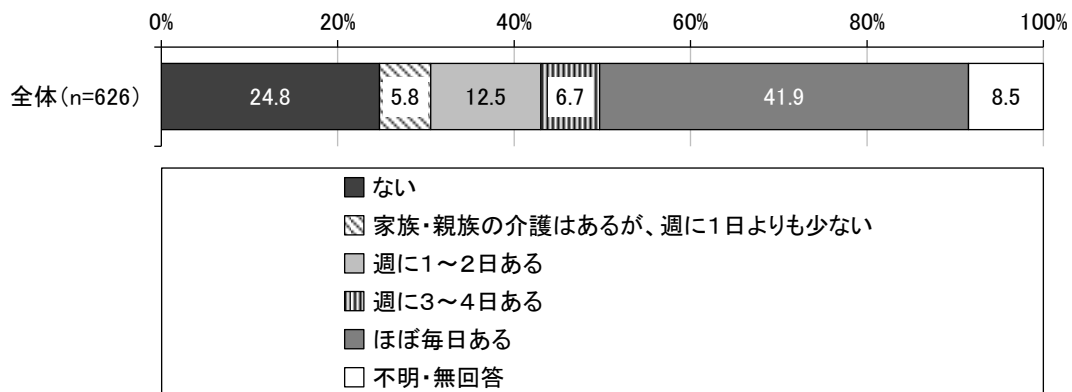
本人（調査対象者）は現在、訪問診療を利用しているかについてみると、「利用している」が20.8%、「利用していない」が73.8%となっています。



問 23 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（○は1つ）

※同居していない子どもや親族などからの介護を含みます

家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかについてみると、「ほぼ毎日ある」が 41.9%と最も高く、次いで「ない」が 24.8%、「週に1～2日ある」が 12.5%となっています。

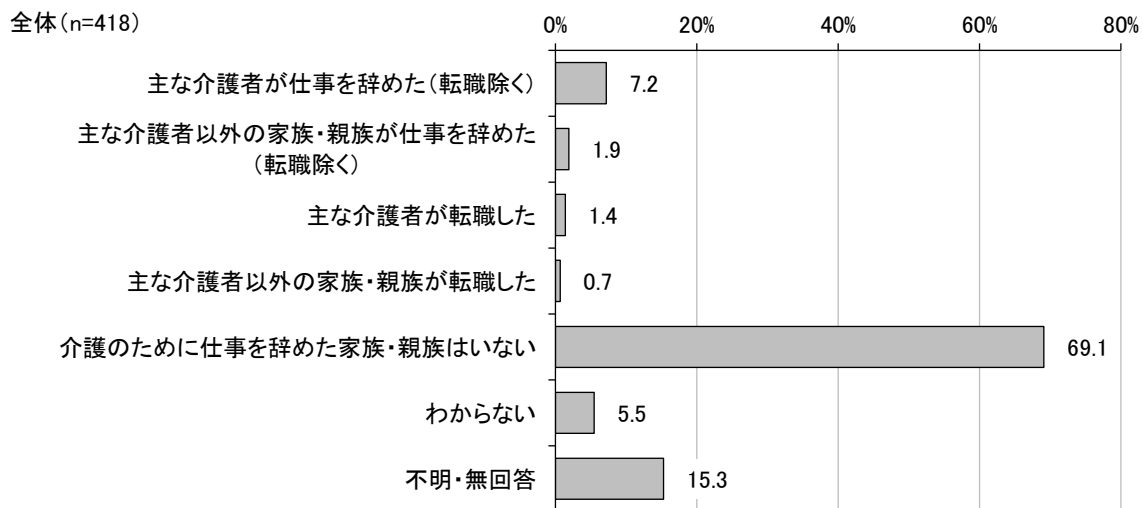


B票 主な介護者の方について

問1 ご家族やご親族の中で、A票の調査対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（いくつでも）

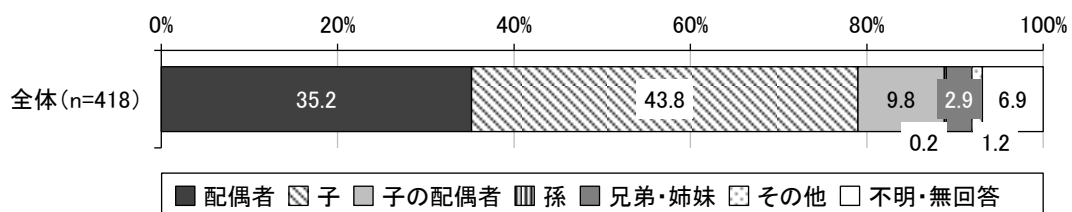
※現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます

家族や親族の中で、A票の調査対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかについてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が69.1%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.2%、「わからない」が5.5%となっています。



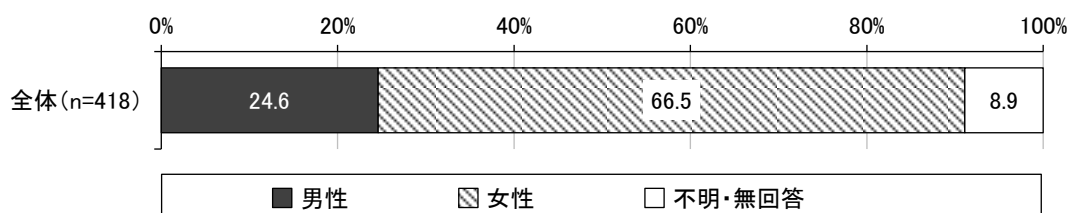
問2 主な介護者の方は、どなたですか（○は1つ）

主な介護者の方についてみると、「子」が43.8%と最も高く、次いで「配偶者」が35.2%、「子の配偶者」が9.8%となっています。



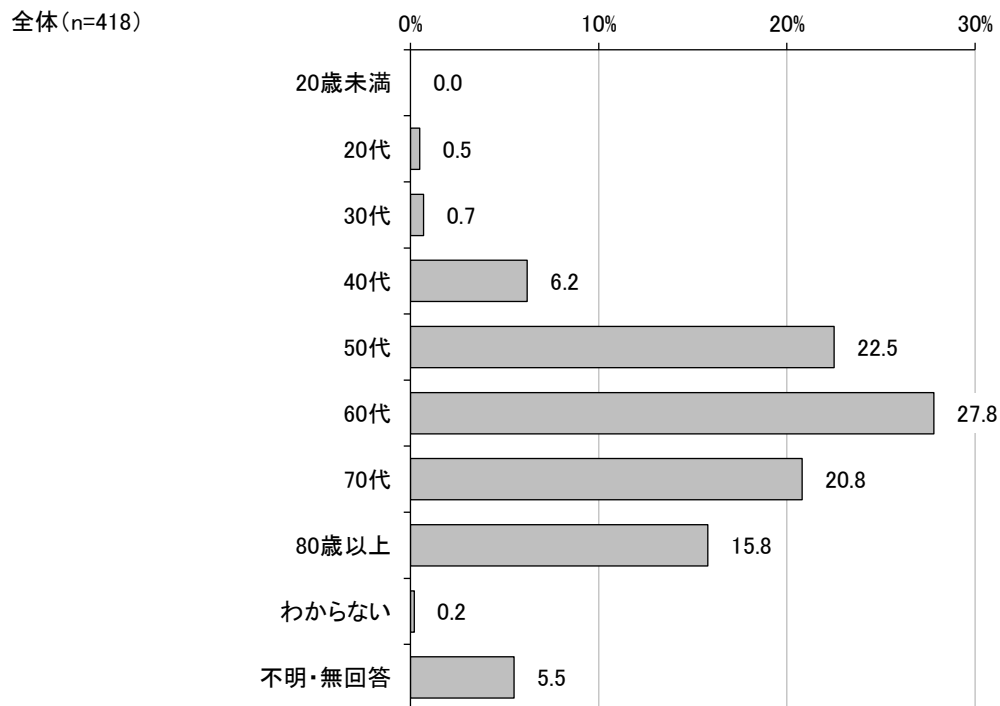
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の方の性別についてみると、「男性」が24.6%、「女性」が66.5%となっています。



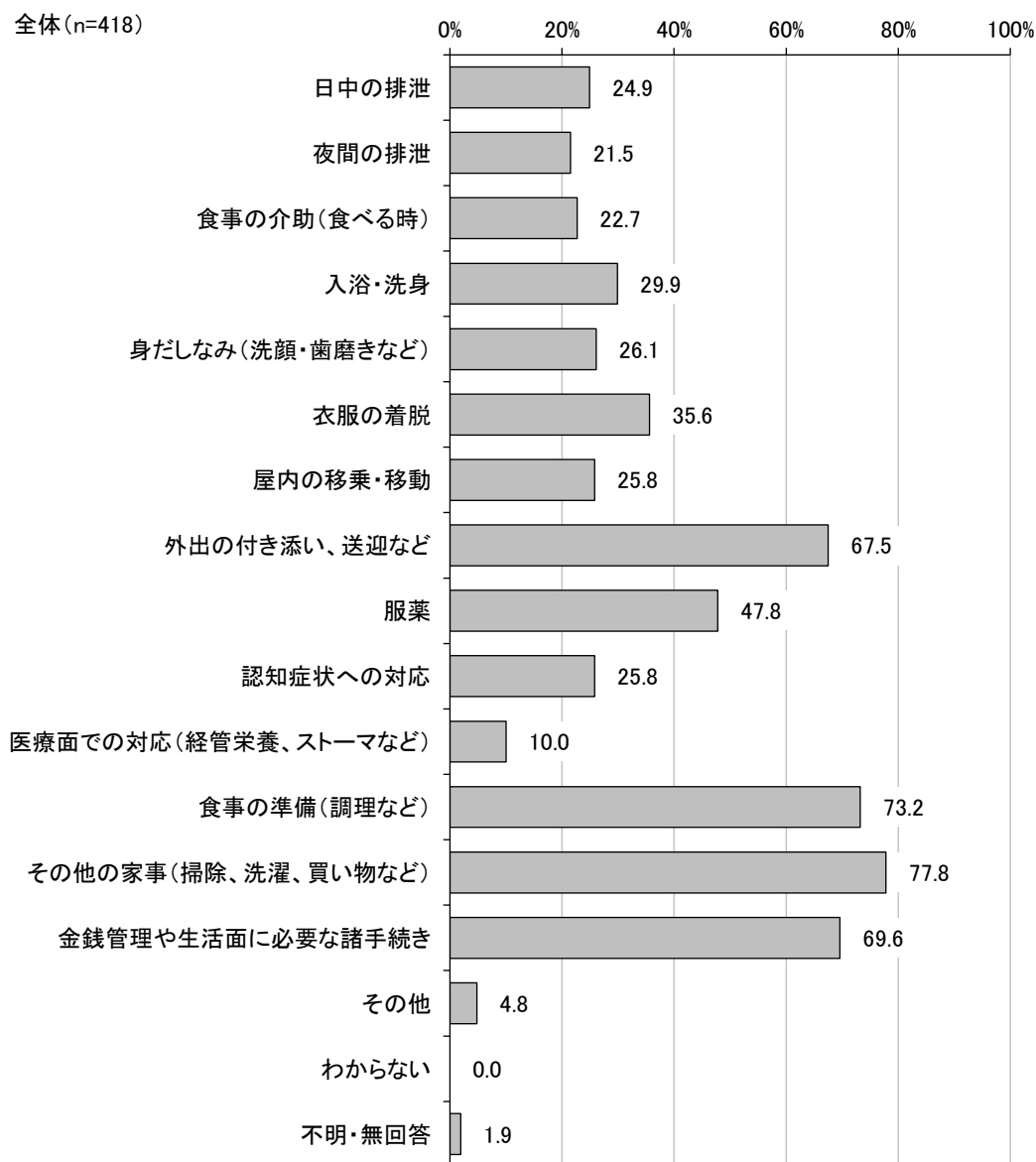
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の方の年齢についてみると、「60代」が27.8%と最も高く、次いで「50代」が22.5%、「70代」が20.8%となっています。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、ご回答ください（いくつでも）

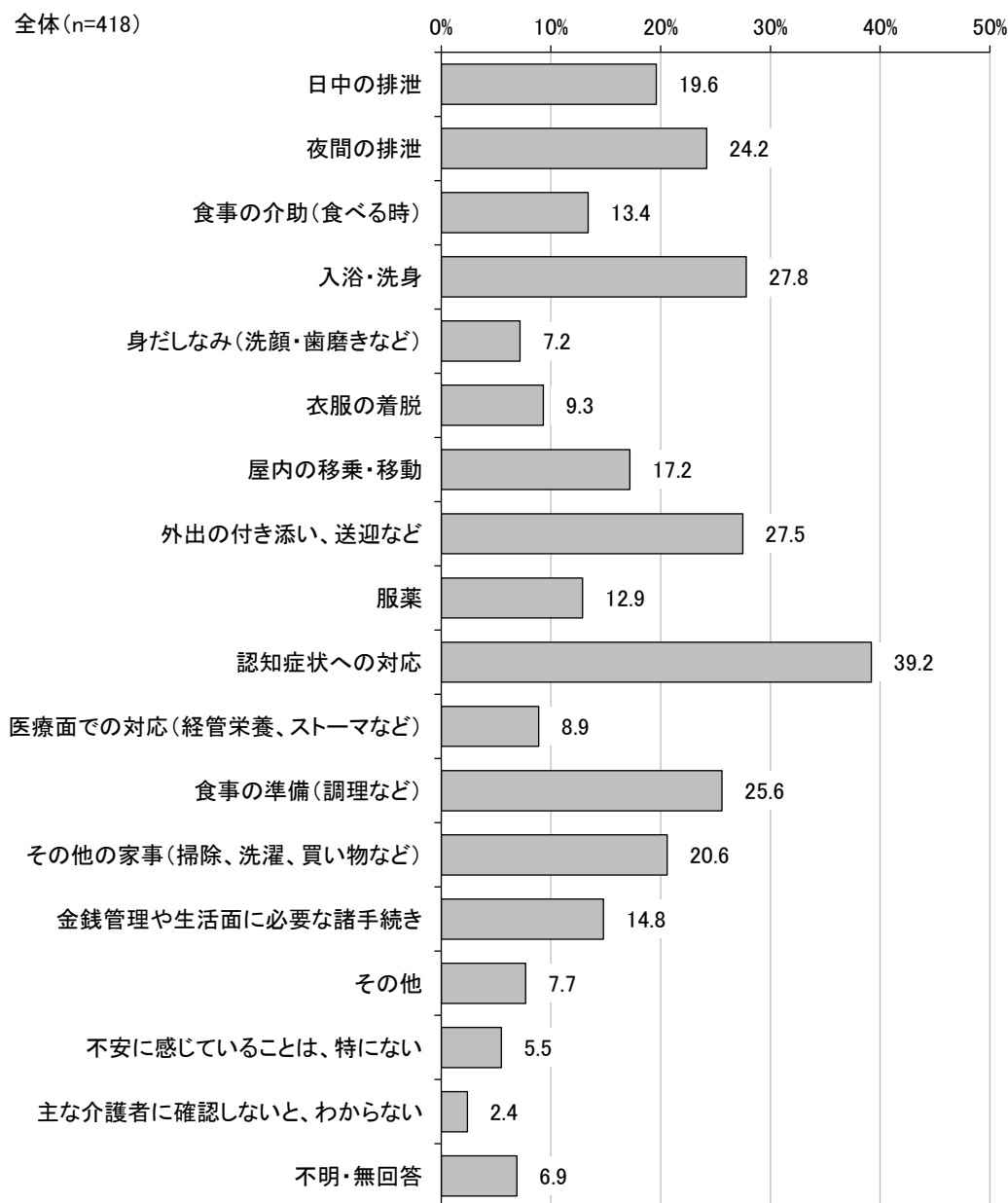
現在、主な介護者の方が行っている介護などについてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が77.8%と最も高く、次いで「食事の準備（調理など）」が73.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.6%となっています。



問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについて、ご回答ください（〇は3つまで）

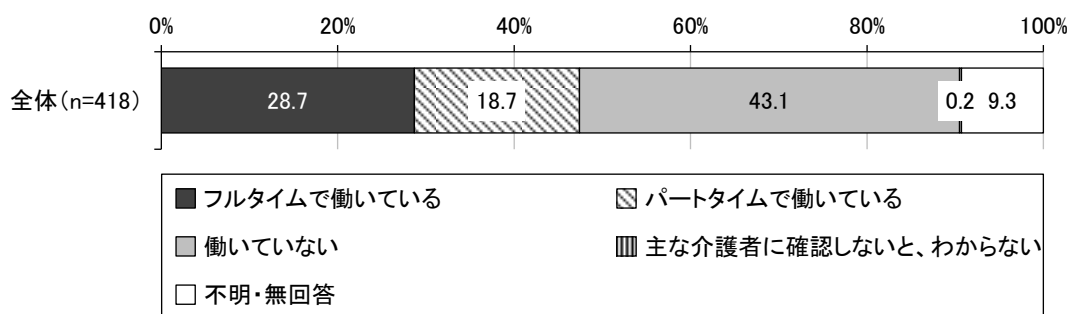
※現状で行っているか否かは問いません

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについてみると、「認知症状への対応」が39.2%と最も高く、次いで「入浴・洗身」が27.8%、「外出の付き添い、送迎など」が27.5%となっています。



問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

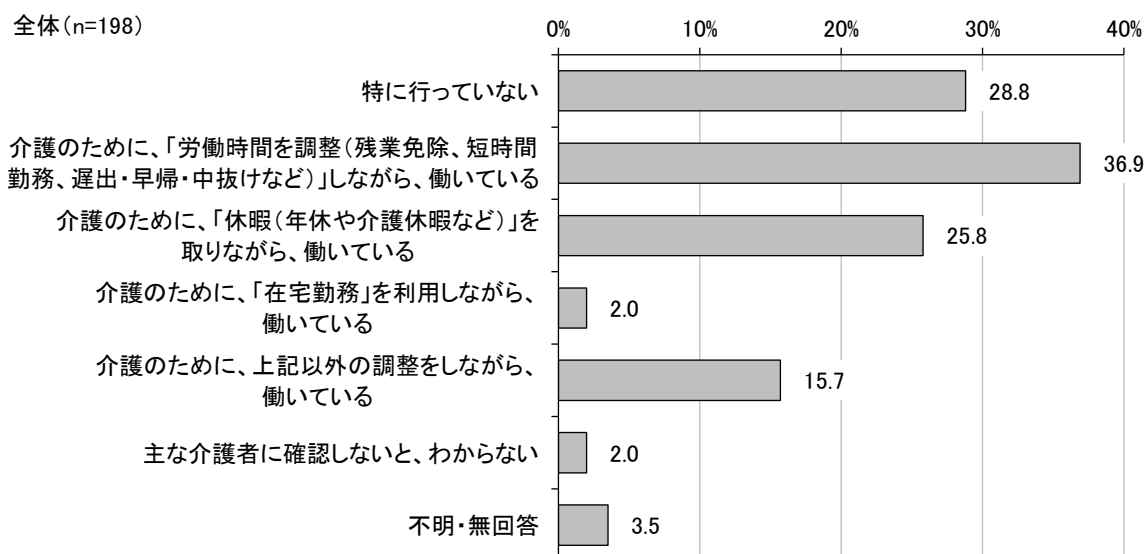
主な介護者の方の現在の勤務形態についてみると、「働いていない」が43.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が28.7%、「パートタイムで働いている」が18.7%となっています。



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方への質問】

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか（いくつでも）

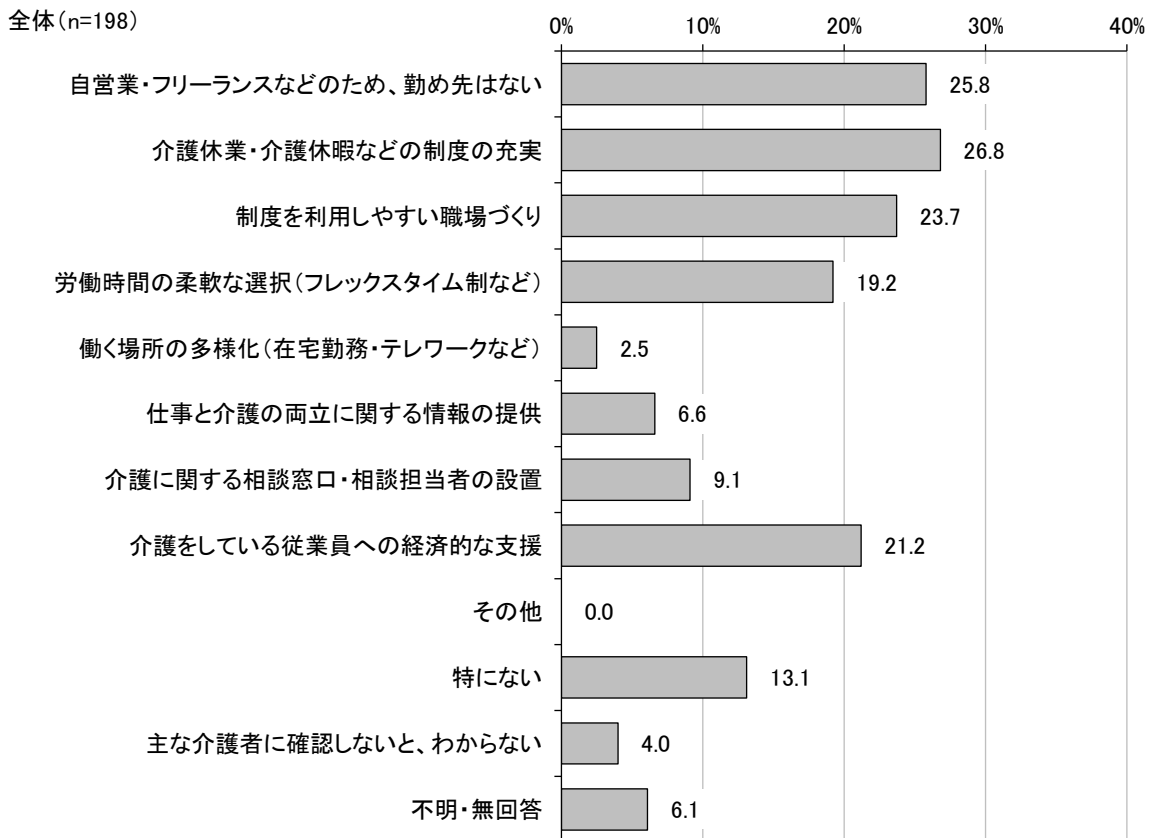
主な介護者の方は、介護をするにあたって、働き方の調整などを行っているかについてみると、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど）』しながら、働いている」が36.9%と最も高く、次いで「特に行っていない」が28.8%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇など）』を取りながら、働いている」が25.8%となっています。



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方への質問】

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

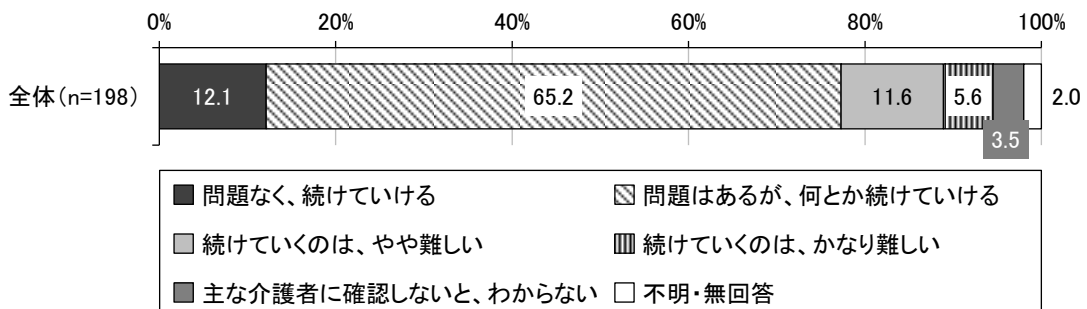
主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについてみると、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が26.8%と最も高く、次いで「自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない」がともに25.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が23.7%となっています。



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方への質問】

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が65.2%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が12.1%、「続けていくのは、やや難しい」が11.6%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.6%となっています。



紀の川市
高齢者実態調査
結果報告書

発行:紀の川市役所 福祉部 高齢介護課
TEL:0736-77-0980
FAX:0736-79-3926

発行年月:令和5年3月